amsc会員企業　御中

AUTOBACS
スーパーGTシリーズ顧客意識動向調査
（2018年 VS 2019年）

AUTOBACS SUPER GT

amsc
AUTOBACS Motorsports Conference

本調査分析レポート配布にあたって

拝啓 日頃よりamsc活動に対する深いご理解と、多大なるご協賛を賜り厚く御礼申し上げます。
本年は新型コロナウイルスによる未曾有の社会的危機に直面し、あらゆる社会活動が制限を受け、当然のことながら
スーパーGTを含む自動車レースイベントも未だ開催されておりません。
今は個々人が対応できる感染防止対策を地道に行うことで、社会的な感染の蔓延を防ぎ、一日でも早く以前のような社会活動が送れることを願ってやみません。

さて、昨年に引き続きまして「AUTOBACS　スーパーGTシリーズ顧客意識動向調査分析レポート」を作成いたしました。
これはスーパーGTレース観戦に来た観客に対して、広範囲にわたったアンケート調査を行うことで、モータースポーツの目線から、自動車マーケットを分析したレポートです。更にそれを前年度と比較・分析することで、その時々におけるマーケットの微妙な変化を示唆する内容となっております。この分析レポートが、日頃よりオートバックスのモータースポーツ活動を支えていただいている会員企業各社様の事業活動の一助として、些少でもお役に立てれば幸いです。

敬具
2020年6月吉日
amsc事務局

目次

P. 3　調査概要

P. 4　調査結果サマリー

P. 7　設問一覧

P. 15　回答者属性

P. 16　FS-1:年齢 ［SA］
P. 17　FS-2-1:性別 ［SA］
P. 18　FS-2-2:既婚有無 ［SA］
P. 19　FS-3:居住地域 ［SA］
P. 19　・・・《鈴鹿》
P. 20　・・・《富士》
P. 21　FS-4:職業 ［SA］

P. 22　調査結果　～SUPER GTに関する意識動向調査～

P. 23　Q-1:①来場観戦経験有無 ［SA］
P. 24　Q-1:②同行者の人数 ［SA］
P. 25　Q-1:③同行者との間柄 ［MA］
P. 26　Q-1:④同行者の年齢層 ［MA］
P. 27　Q-1:⑤「サーキット観戦に行こう」と思ったのは、どちらが当てはまりますか？ ［SA］
P. 28　Q-1:⑥　行こうと思う前の、あなたのSUPER GTの関心度はどれくらいでしたか？ ［SA］
P. 28　・・・A「自発的来場」［SA］
P. 29　・・・B「他者からの勧誘/依頼」［SA］
P. 30　Q-1:⑦サーキット観戦を決めたキッカケは何ですか？ ［MA］
P. 31　Q-1:⑧今回初めてサーキットで観戦してみて、観戦券を自己／家族負担して、今後も観戦しに行きたいと思いましたか？ ［SA］
P. 32　Q-1:⑦観戦券入手方法 ［SA］
P. 33　Q-1:⑦前売りチケット・パス購入先 ［SA］
P. 34　Q-1:⑧今回購入、利用したチケット・パスの種類 ［MA］
P. 35　Q-1:⑨観戦日程 ［SA］
P. 36　Q-1:⑩今大会で実施（出店）された以下の項目を、あなたは観ましたか（もしくは参加、体験されましたか？）［SA］
P. 37　Q-1:⑪今大会で行われた以下のコンテンツを、あなたは参加／体験しましたか？ ［SA］
P. 38　Q-2:①今大会でご覧になった（体験した）各コンテンツを評価してください《利用者ベース》［SA］
P. 39　Q-2:②今大会で体験（参加）した各コンテンツを評価してください《利用者ベース》［SA］
P. 40　Q-3:開催サーキットのサービスや施設を評価してください ［SA］
P. 41　・・・《利用者ベース》［SA］
P. 42　Q-4:SUPER GT の情報入手媒体種類 ［MA］
P. 44　Q-5:コンテンツ別視聴頻度 ［SA］
P. 45　Q-6:スポンサー企業商品の購入有無 ［SA］
P. 46　Q-7:①モータースポーツ以外のスポーツ観戦の有無（テレビ／インターネット観戦を含む）［SA］
P. 47　Q-7:②実際に会場に行って観戦するスポーツはありますか？ ［SA］
P. 48　Q-8:レース展開が面白い（面白くなる）と思うレーストラック ［SA］
P. 49　Q-9:SUPER GT以外に興味のあるレースカテゴリ ［MA］
P. 50　Q-10:①応援している自動車メーカー（GT500）［SA］
P. 51　Q-10:②応援している自動車メーカー（GT300）［SA］
P. 52　Q-10:③応援しているマシン ［MA］
P. 53　Q-10:④好きな選手 ［FA上位10位］
P. 54　Q-10:⑤今後の活躍を期待している選手 ［FA上位10位］
P. 55　Q-11:興味を持った「きっかけ」［MA］
P. 56　Q-12:モータースポーツに興味を持ち始めた年齢 ［SA］
P. 57　Q-13:年代別観戦歴詳細 ［MA］
P. 58　Q-14:①今回のSUPER GTに来場する前、何を楽しみにしていましたか？ ［MA］
P. 59　Q-14:②なぜ他のモータースポーツイベントではなく、SUPER GTの観戦を選んだのですか？ ［MA］
P. 60　Q-14:③2年以上連続で観戦している方にお聞きします。SUPER GTのレースを、サーキットで継続的に観戦するようになった理由は何ですか？ ［MA］
P. 61　Q-15:①サーキット観戦に誘った人数 ［SA］
P. 62　Q-15:②誘った方たちのおおよその年齢（年代）［MA］
P. 63　Q-15:③誘った方たちを「初回に誘った」おおよその時期 ［SA］
P. 64　Q-15:④その中で何割くらいの方がサーキット観戦を継続していますか？ ［SA］
P. 65　Q-15:⑤初めて誘った方たちの中で、SUPER GTへの興味や知識を持っていた方の割合 ［SA］
P. 66　Q-16:①「グランツーリスモ(シリーズ)」を知っていますか？ ［SA］
P. 67　Q-16:②最新ソフト「グランツーリスモSPORT」を持っていますか？ ［SA］
P. 68　Q-15:③「グランツーリスモSPORT」で主にプレイしているモードはどちらですか？ ［SA］
P. 69　Q-15:④「グランツーリスモSPORT」のスポーツモードで行われているFIA公認の「FIAグランツーリスモチャンピオンシップ」について、以下の項目からご自身の経験をお答えください。［MA］

［SA］	:単一回答の設問
［SAマトリクス］	:単一回答の関連設問を纏めた表
［MA］	:複数回答の設問

調査概要

Ⅰ. 調査企画の主旨・目的

「2018 AUTOBACS スーパーGTシリーズ」(2018年実施)及び「2019 AUTOBACS スーパーGTシリーズ」(2019年実施)のアンケート調査結果を比較、分析することにより 店舗様の事業推進にあたっての基礎資料を提供することを目的とする。

Ⅱ. 調査対象

1. 調査対象アンケート

1)「2018 AUTOBACS SUPER GT 顧客意識動向調査結果」(2018年実施)
2)「2019 AUTOBACS SUPER GT 顧客意識動向調査結果」(2019年実施)

2.分析対象項目

※「2019 AUTOBACS SUPER GT 顧客意識動向調査結果」(2019年実施)設問項目に準拠した対象項目を設定した。
本分析はGTAが調査対象とした「富士スピードウェイ」と「鈴鹿サーキット」におけるアンケート調査を比較、分析対象とした。

1. 大会の観戦について

・観戦日程
両サーキットともに、「予選・決勝両日」が最も高い。

・来場経験について
両サーキットともに「初来場（はい）」は1割程度。

・チケットについて
入手方法は両サーキットともに「前売りで購入」が最も高い。2018年に引き続き2019年も大きな差異は見られない。
前売りチケット購入場所は『鈴鹿』は「サーキット」が高く、『富士』では「ローソンチケット」が高い。2018年に引き続き同じ傾向。
また、チケットの種類は両サーキットともに「観戦券」が高い。

・イベント、コンテンツ、サービスの参加率・満足度について
各イベントの参加・観覧率は、『鈴鹿』が「決勝前の警察車両のパレード（交通安全啓発活動）」、『富士』は「自動車メーカーの市販車展示」が最も高い。
各イベントの満足度で「満足」は両サーキットとも「ピエール北川×こにわ トークショー」が最も高い。

・大会認知経路
両サーキットとも「【SNS】SUPER GT公式」が最も高い。

・レース展開が面白いトラック
『鈴鹿』は「鈴鹿サーキット」、『富士』は「富士スピードウェイ」が最も高い。

・SUPER GT以外の関心レースカテゴリ
両サーキットともに「スーパーフォーミュラ」が最も高い。

2. モータースポーツ観戦までの経緯

・モータースポーツへの興味を持ったきっかけと年齢

興味は両サーキットともに「SUPER GT/JGTCのテレビ番組を観て」が7割程度を占めた。
また、半数が『中学生』までには興味を示していた。

・SUPER GT観戦歴

両サーキットは共に、来場者の6割が「2014～2016年」頃から来場している。

・来場前の期待事項

両サーキットとも「レーシングカー／選手などの写真撮影」が8割半程度で最も高い。

・SUPER GTを選んだ理由

『鈴鹿』は「日本を代表する3つの自動車メーカーがマシン開発に凌ぎを削っているから」、『富士』は「選手や監督が魅力的だから」が最も高い。
また、2年以上連続で観戦している方の来場理由は両サーキットともに「生で聞くエキゾーストノート」が9割半程度で最も高い。

・サーキットへ行くことを決めるまで

両サーキットとも「自発的」に観戦が7割以上。
初来場者の来場きっかけは両サーキットとも「テレビ／ネット映像を見て行きたくなった」「応援しているメーカー／マシンの活躍を見たいと思った」「応援している選手／チームの活躍を見たいと思った」がいずれも7割前後。

・同伴者について

両サーキットともに「1人（自分含め2人）」が最も高い。
間柄は両サーキットともに「知人・友人」が最も高い。
同伴者の年齢層は、両サーキットともに「社会人（40歳代）」が4割を占めた。
誘った人数は両サーキットとも「1～2名」が3割半程度、年齢は「30～39歳」が4割程度で最多。
始めて誘った時期は両サーキットとも「昨年～2年前」が3割半程度で最も高い。
誘った方の継続割合は両サーキットとも「10割」が3割近くを占める。
興味・知識がある人を誘う割合は『鈴鹿』で4割、『富士』で3割半程度。

3. 好きなメーカー・マシン・選手

・応援している自動車メーカー　GT500 クラス
『鈴鹿』は「ホンダ」、『富士』は「レクサス」が最も高い。

・応援している自動車メーカー　GT300 クラス
両サーキットともに「スバル」が最も高い。

・応援しているマシン
『鈴鹿』は「RAYBRIG NSX-GT」、『富士』は「MOTUL AUTECH GT-R」が最も高い。

・好きな・活躍を期待している選手
好きな選手：『鈴鹿』は「山本 尚貴」が最も高い。『富士』は「立川 祐路」が最も高い。
活躍を期待している選手：『鈴鹿』は「阪口 晴南」が最も高い。『富士』は「坪井 翔」が最も高い。

4. メディアについて

・SUPER GT映像視聴メディア（コンテンツ別）
「SUPER GT プラス」の視聴率（よく観る）は両サーキットともに6割程度。

5. スポンサーについて

・レーススポンサー商品購入経験
両サーキットともに「はい（購入経験有）」が6割半程度で「いいえ（購入経験無）」を上回る。

6. グランツーリスモについて

・グランツーリスモ認知度
両サーキットともに認知度は9割以上と極めて高い。

・グランツーリスモSPORTについて
所持率は『鈴鹿』が2割半程度、『富士』が3割程度。
プレイモードは両サーキットともに「アーケードモード」が7割程度。

・FIAグランツーリスモチャンピオンシップについて
両サーキットともに「名称を見たり聞いたりしたことがある」は6割半程度。
「自身が出場者として参加したことがある」は両サーキットとも5％未満と少数。

設問一覧 -1

'19年	'18年	報告書内設問

※ [SA]:単一回答の設問　[～マトリクス]:同一選択肢による複数の関連設問まとめ　[MA]:複数回答可の設問　[N]:数値で回答する設問　[FA]:自由回答

	FS-1 :年齢 [SA]
10代	10代
20代	20代
30代	30代
40代	40代
50代	50代
60代	60代
70歳以上	
	FS-2-1 :性別 [SA]
男性	男性
女性	女性
	FS-2-2 :既婚有無 [SA]
既婚男性	既婚男性
未婚男性	未婚男性
既婚女性	既婚女性
未婚女性	未婚女性

FS-3 :居住地域 [SA]	
北海道	北海道
青森県	青森県
岩手県	岩手県
宮城県	宮城県
秋田県	秋田県
山形県	山形県
福島県	福島県
茨城県	茨城県
栃木県	栃木県
群馬県	群馬県
埼玉県	埼玉県
千葉県	千葉県
東京都	東京都
神奈川県	神奈川県
新潟県	新潟県
富山県	富山県
石川県	石川県
福井県	福井県
山梨県	山梨県
長野県	長野県
岐阜県	岐阜県
静岡県	静岡県
愛知県	愛知県
三重県	三重県
滋賀県	滋賀県
京都府	京都府
大阪府	大阪府
兵庫県	兵庫県
奈良県	奈良県
和歌山県	和歌山県
鳥取県	鳥取県
島根県	島根県
岡山県	岡山県
広島県	広島県
山口県	山口県
徳島県	徳島県
香川県	香川県
愛媛県	愛媛県
高知県	高知県
福岡県	福岡県
佐賀県	佐賀県
長崎県	長崎県
熊本県	熊本県
大分県	大分県
宮崎県	宮崎県
鹿児島県	鹿児島県
沖縄県	沖縄県

設問一覧 -2

'19年	'18年	報告書内設問

※ [SA]:単一回答の設問　[～マトリクス]:同一選択肢による複数の関連設問まとめ　[MA]:複数回答可の設問　[N]:数値で回答する設問　[FA]:自由回答

FS-4 :職業 [SA]	
会社員 ・公務員 営業 ・サービス ・事務系等)	会社員 ・公務員 営業 ・サービス ・事務系等)
会社員 ・公務員 (エンジニア ・技術系等)	会社員 ・公務員 (エンジニア ・技術系等)
パート・アルバイト	パート・アルバイト
自営 ・自由業 (フリーランス等)	自営 ・自由業 (フリーランス等)
中学 ・高校 ・短大 ・専門学校 ・大学生	中学 ・高校 ・短大 ・専門学校 ・大学生
会社経営者 ・会社役員	会社経営者 ・会社役員
派遣 ・契約社員	派遣 ・契約社員
その他	その他
Q-1 :①来場観戦経験有無 [SA]	
はい	はい
いいえ	いいえ
Q-1 :②同行者の人数 [SA]	
同行者無し	同行者無し
1人 (自分含め2人)	1人 (自分含め2人)
2人 (自分含め3人)	2人 (自分含め3人)
3人 (自分含め4人)	3人 (自分含め4人)
4人 (自分含め5人)	4人 (自分含め5人)
5人以上 (自分含め6人以上)	5人以上 (自分含め6人以上)
Q-1 :③同行者との間柄 [MA]	
友人 ・知人	友人 ・知人
子供	子供
夫 ・妻	夫 ・妻
親族	親族
彼氏 ・彼女	彼氏 ・彼女
その他	その他
Q-1 :④同行者の年齢層 [MA]	
乳幼児	乳幼児
小学生 (低学年)	小学生 (低学年)
小学生 (高学年)	小学生 (高学年)
中学生	中学生
高校生 (または15～18歳)	高校生 (または15～18歳)
大学 ・短大 ・専門学校生 (または18歳以上)	大学 ・短大 ・専門学校生 (または18歳以上)
社会人 (20歳代)	社会人 (20歳代)
社会人 (30歳代)	社会人 (30歳代)
社会人 (40歳代)	社会人 (40歳代)
社会人 (50歳以上)	社会人 (50歳以上)

Q-01 :⑥行こうと思う前のあなたのSUPER GTの関心度はどれくらいでしたか？自発的来場(A)	
情報収拾もしていて関心もあった	
情報はある程度知っていたが、それほど関心はなかった	
存在は知っていたが、ほとんど知識はなかった	
Q-01 :⑥行こうと思う前の、あなたのSUPER GTの関心度はどれくらいでしたか？勧誘／依頼で来場(B)	
情報収拾もしていて関心もあった	
情報はある程度知っていたが、それほど関心はなかった	
存在は知っていたが、ほとんど知識はなかった	
知らなかった	
Q-01 :⑦サーキット観戦を決めたキッカケは何ですか？	
テレビ／ネット映像を見て行きたくなった	
応援しているメーカー／マシンの活躍を見たいと思った	
応援している選手／チームの活躍を見たいと思った	
インターネットのニュース記事を見て行きたくなった	
SUPER GTが関係するイベント／展示会を見て、興味を持ったから	
SNSを通してSUPER GTの話題に触れて行きたくなった	
新聞／雑誌の記事を見て行きたくなった	
SUPER GTの公式テストを見て、本番のレースも見たくなった	
大学生以上の家族、友人、知人からの勧誘／依頼	
レース以外の楽しみや目的があったから	
気になるレースクイーンがいるから	
会社、職場、店舗など、法人や団体からの勧誘／依頼	
高校生以下の家族 (友人)からの依頼／勧誘	
観戦券の費用負担がかからないから (券の譲り受け／当選／招待など)	
その他	
Q-1 :⑧今回初めてサーキットで観戦してみて、観戦券を自己／家族負担して、今後も観戦しに行きたいと思いましたか？ [SA]	
ぜひ行きたいと思った	
行きたいとは思わなかった	
条件次第	
Q-1 :⑥今回のチケットの購入について [SA]	
前売りで購入	前売りで購入
もらった (招待券含む)	もらった (招待券含む)
当日サーキットで購入	当日サーキットで購入

設問一覧 -3

'19年	'18年	報告書内設問

※ [SA]:単一回答の設問　[～マトリクス]:同一選択肢による複数の関連設問まとめ　[MA]:複数回答可の設問　[N]:数値で回答する設問　[FA]:自由回答

Q-1 :⑦前売りチケット・パス購入先 [SA]	
サーキット	サーキット
e+（イープラス）	e+（イープラス）
ローソンチケット	ローソンチケット
SUPER GTサポーターズクラブ	SUPER GTサポーターズクラブ
チケットぴあ	チケットぴあ
購入先不明	購入先不明
チーム	チーム
その他	その他

Q-1 :⑧今回購入、利用したチケット・パスの種類 [MA]	
観戦券	観戦券
一般駐車券	駐車券
パドックパス	パドックパス
V2指定席券（V2アウトレット指定席券含む）	V2指定席券
B・Qエリア付き観戦券	B・Qエリア付き観戦券
ピットウォークパス	ピットウォーク券
GT・10H観戦券セット「GT10プラス」	
SUBARUファンシート	SUBARUファンシート
LEXUSファンシート	LEXUSファンシート
ARTAファンシート	ARTAファンシート
ホスピタリティラウンジ	ホスピタリティラウンジ
Hondaファンシート	Hondaファンシート
ホスピタリティテラス	ホスピタリティテラス
SUPER GTシリーズクレデンシャルパス（年間パス）	SUPER GTシリーズクレデンシャルパス（年間パス）
VIPスイート・プレミアム	VIPスイート・プレミアム
Kehinファンシート	Kehinファンシート
V1アウトレット席観戦セット	
Hondaプレミアムファンシート	
ホスピタリティテラス "Special"	
パノラマルーム	パノラマルーム
その他	その他
指定駐車券	指定駐車券
パドックパス＋グリッド入場券	
グランドスタンド2階指定席A	グランドスタンド2階指定席
第1コーナー指定席	第1コーナー指定席
グランドスタンド2階指定席B	
パドックラウンジパス	パドックラウンジパス
サーキットサファリ	サーキットサファリ
グランドスタンドマルチスペース	グランドスタンドマルチスペース
プラチナペアルームパス	プラチナペアルームパス
グランドスタンドグループシート	グランドスタンドグループシート
	GT・10H観戦券セット「GT10」
	V2アウトレット指定席券
	V1アウトレット席観戦セット
	ファミリーラウンジ
	パノラマテラス

⑧今回の観戦日程	
予選・決勝の2日間	予選・決勝の2日間
決勝日のみ	決勝日のみ
予選日のみ	予選日のみ
その他	その他

Q-1 :⑩今大会で実施（出店）された以下の項目を、あなたは観ましたか（もしくは参加、体験されましたか？ [SAマトリクス]	
J SPORTS予選TOP3ドライバートークショー（SUPER GTオフィシャルステージ）	J SPORTS予選TOP3ドライバートークショー（SUPER GTオフィシャルステージ）
	小林可夢偉選手＆ジェンソン・バトン選手トークショー（SUPER GTオフィシャルステージ）
チームスポンサー（レースクイーン）ステージ（SUPER GTオフィシャルステージ）	チームスポンサー（レースクイーン）ステージ（SUPER GTオフィシャルステージ）
集まれkids！プレゼント抽選会（SUPER GTオフィシャルステージ）	集まれkids！プレゼント抽選会（SUPER GTオフィシャルステージ）
ピエール北川×こにわ トークショー（SUPER GTオフィシャルステージ）	ピエール北川×こにわ トークショー（SUPER GTオフィシャルステージ）
10H トークショー（SUPER GTオフィシャルステージ）	
自動車メーカーの市販車展示	自動車メーカーの市販車展示
様々な企業のPRブースやステージの訪問	様々な企業のPRブースやステージの訪問
SUPER GTオフィシャルグッズショップ	SUPER GTオフィシャルグッズショップ
決勝前の警察車両のパレード（交通安全啓発活動）	決勝前の警察車両のパレード（交通安全啓発活動）
決勝前の全ドライバー紹介の演出	決勝前の全ドライバー紹介の演出
表彰式	表彰式
観た（参加・体験した）	観た（参加・体験した）
観ていない（参加・体験していない）	観ていない（参加・体験していない）

Q-1 :⑪今大会で行われた以下のコンテンツを、あなたは参加／体験しましたか？ [SAマトリクス]	
オープンピット（公開車検）	オープンピット（公開車検）
サーキットサファリ	サーキットサファリ
ピットウォーク	ピットウォーク
GTキッズウォーク	GTキッズウォーク
グリッドウォーク	グリッドウォーク
参加／体験した	参加／体験した
参加／体験していない	参加／体験していない

設問一覧 -4

'19年	'18年	報告書内設問

※ [SA]:単一回答の設問　[～マトリクス]:同一選択肢による複数の関連設問まとめ　[MA]:複数回答可の設問　[N]:数値で回答する設問　[FA]:自由回答

Q-2 :①今大会でご覧になった（体験した）各コンテンツを評価してください（利用者ベース）[SAマトリクス]	
J SPORTS予選TOP3ドライバートークショー（SUPER GTオフィシャルステージ）	
	J SPORTS予選TOP3ドライバートークショー（SUPER GTオフィシャルステージ）
チームスポンサー（レースクイーン）ステージ（SUPER GTオフィシャルステージ）	小林可夢偉選手＆ジェンソン・バトン選手トークショー（SUPER GTオフィシャルステージ）
集まれkids！プレゼント抽選会（SUPER GTオフィシャルステージ）	チームスポンサー（レースクイーン）ステージ（SUPER GTオフィシャルステージ）
ピエール北川×こにわ トークショー（SUPER GTオフィシャルステージ）	集まれkids！プレゼント抽選会（SUPER GTオフィシャルステージ）
10Hトークショー（SUPER GTオフィシャルステージ）	
自動車メーカーの市販車展示	自動車メーカーの市販車展示
様々な企業のPRブースやステージの訪問	様々な企業のPRブースやステージの訪問
SUPER GTオフィシャルグッズショップ	SUPER GTオフィシャルグッズショップ
決勝前の警察車両のパレード（交通安全啓発活動）	決勝前の警察車両のパレード（交通安全啓発活動）
決勝前の全ドライバー紹介の演出	決勝前の全ドライバー紹介の演出
表彰式	表彰式
満足	満足
普通	普通
不満	不満

Q-2 :②今大会で体験（参加）した各コンテンツを評価してください（利用者ベース）[SAマトリクス]	
オープンピット（公開車検）	オープンピット（公開車検）
サーキットサファリ	サーキットサファリ
ピットウォーク	ピットウォーク
GTキッズウォーク	GTキッズウォーク
グリッドウォーク	グリッドウォーク
満足	満足
普通	普通
不満	不満

Q-3 :開催サーキットのサービスや施設を評価してください [SAマトリクス]	
チケットの価格	チケットの価格
休憩所の数	休憩所の数
駐車場の誘導	駐車場の誘導
インフォメーションの数／質	インフォメーションの数
飲食店の数	飲食店の数
トイレの数	トイレの数
シャトルバスの本数	シャトルバスの本数
係員の対応	係員の対応
満足	満足
普通	普通
不満	不満
判断不可・観てない	判断不可・利用していない

Q-4 :SUPER GTの情報入手媒体種類 [MA]	
SUPER GTオフィシャルウェブサイト	SUPER GTオフィシャルウェブサイト
オートスポーツweb	オートスポーツweb
サーキット公式	サーキット公式
選手監督チーム	選手監督チーム
Yahoo!ニュース	Yahoo!ニュース
自動車メーカー（モータースポーツページ）	自動車メーカー（モータースポーツページ）
motorsport.com	motorsport.com
スポンサー（モータースポーツページ）	スポンサー（モータースポーツページ）
レスポンス	レスポンス
タイヤメーカー（モータースポーツページ）	タイヤメーカー（モータースポーツページ）
JAFモータースポーツ	JAFモータースポーツ
その他	その他
あてはまるものはない	あてはまるものはない
SUPER GT公式	SUPER GT公式
サーキット公式	サーキット公式
オートスポーツweb	オートスポーツweb
選手監督チーム	選手監督チーム
自動車メーカー公式	自動車メーカー公式
motorsport.com	motorsport.com
JAF公式	JAF公式
その他	その他
あてはまるものはない	あてはまるものはない
J SPORTS オンデマンド	J SPORTSオンデマンド
SUPER GTオフィシャルモバイルサイト	SUPER GTオフィシャルモバイルサイト
モータースポーツチャンネル	モータースポーツチャンネル
SUPER GT2019 live Timing App	SUPER GT2018 live Timing App
トーチュウF1 Express	トーチュウF1 Express
その他	その他
あてはまるものはない	あてはまるものはない
SUPER GT プラス（テレビ東京系列）	SUPER GT プラス（テレビ東京系列）
予選・決勝のレース中継（J SPORTS）	予選・決勝のレース中継（J SPORT）
GTV（J SPORTS）	GTV（J SPORT）
テレビCM	テレビCM
ラジオ	ラジオ
その他	その他
あてはまるものはない	あてはまるものはない
オートスポーツ	オートスポーツ
SUPER GTオフィシャルガイドブック	SUPER GTオフィシャルガイドブック
大会公式プログラム	大会公式プログラム
クルマ雑誌	クルマ雑誌
東京中日スポーツ（トーチュウ）	東京中日スポーツ（トーチュウ）
SUPER GT file	SUPER GT file
新聞	新聞
その他	その他
あてはまるものはない	あてはまるものはない
レースに詳しい家族友人知人	レースに詳しい友人・知人・家族
サーキット以外でのモータースポーツイベント	サーキット以外でのモータースポーツイベン
チラシ・無料観戦ガイド等	チラシ・無料観戦ガイド等
ポスター	ポスター
パブリックビューイング	パブリックビューイング
その他	その他
あてはまるものはない	あてはまるものはない

設問一覧 -5

'19年	'18年	報告書内設問

※ [SA]:単一回答の設問　[～マトリクス]:同一選択肢による複数の関連設問まとめ　[MA]:複数回答可の設問　[N]:数値で回答する設問　[FA]:自由回答

Q-5 :コンテンツ別視聴頻度 [SAマトリクス]	
インターネット上のニュースや映像	インターネット上のニュースや映像
SUPER GT公式SNSの投稿	SUPER GT公式SNSの投稿
雑誌（オートスポーツなど）の記事や特集	雑誌（オートスポーツなど）の記事や特集
SUPER GT公式DVD	SUPER GT公式DVD
ラップタイムのLIVE配信（SUPER GT公式アプリ／オフィシャルモバイルサイト）	ラップタイムのLIVE配信（SUPER GT公式アプリ／オフィシャルモバイルサイト）
SUPER GTプラス（テレビ東京系列）	SUPER GTプラス（テレビ東京系列）
CS／BS／ケーブルテレビで契約したJ SPORTSの予選／決勝の生中継	CS／BS／ケーブルテレビで契約したJ SPORTSの予選／決勝の生中継
J SPORTSオンデマンドで契約した予選／決勝のLIVE配信	J SPORTSオンデマンドで契約した予選／決勝のLIVE配信
新聞（トーチュウなど）の記事	新聞（トーチュウなど）の記事
選手や監督、チームなどのSNSの投稿	選手やチームなどのSNSの投稿
パブリックビューイング	パブリックビューイング
よく観る	よく観る
時々観る	時々観る
観ない／観られない	観ない／観られない

Q-6 :スポンサー企業商品の購入有無 [SA]	
はい	はい
いいえ	いいえ

Q-7 :①モータースポーツ以外のスポーツ観戦の有無（テレビ／インターネット観戦を含む） [SA]	
観戦する	
観戦しない	

Q-7 :②実際に会場に行って観戦するスポーツはありますか？ [SA]	
よく観戦に行くスポーツがある	
たまに観戦に行くスポーツがある	
数年に1回程度は行くことがある	
ない	

Q-8 :レース展開が面白い（面白くなる）と思うレーストラック [SA]	
鈴鹿サーキット	鈴鹿サーキット
スポーツランドSUGO	スポーツランドSUGO
富士スピードウェイ	富士スピードウェイ
岡山国際サーキット	岡山国際サーキット
ツインリンクもてぎ	ツインリンクもてぎ
オートポリス	オートポリス
チャン・インターナショナル・サーキット	チャン・インターナショナル・サーキット
特にない	特にない

Q-9 :SUPER GT以外の関心レースカテゴリ [MA]	
スーパーフォーミュラ	スーパーフォーミュラ
F1	F1
ルマン24時間・WEC	ルマン24時間・WEC
スーパー耐久	スーパー耐久
WRC	WRC
DTM	DTM
鈴鹿8時間耐久レース（8耐）	鈴鹿8時間耐久レース（8耐）
インディカー	インディカー
MotoGP	MotoGP
フォーミュラE	フォーミュラE
WTCR（旧WTCC）	WTCR（旧WTCC）
D1グランプリ	D1グランプリ
全日本ロードレース選手権（JRR）	全日本ロードレース選手権（JRR）
ダカールラリー	ダカールラリー
SBK	SBK
NASCAR	NASCAR
その他	その他

Q-10 :①応援している自動車メーカー（GT500） [SA]	
レクサス	レクサス
日産	日産
ホンダ	ホンダ
特にない	特にない

Q-10 :②応援している自動車メーカー（GT300） [SA]	
スバル	スバル
ホンダ	ホンダ
メルセデス・ベンツ	メルセデス・ベンツ
日産	日産
トヨタ	トヨタ
レクサス	レクサス
マクラーレン	
アストンマーチン	
アウディ	アウディ
ランボルギーニ	ランボルギーニ
ポルシェ	ポルシェ
ロータス	ロータス
	BMW
	ベントレー
特にない	特にない

設問一覧 -6

'19年	'18年	報告書内設問

※ [SA]:単一回答の設問　[～マトリクス]:同一選択肢による複数の関連設問まとめ　[MA]:複数回答可の設問　[N]:数値で回答する設問　[FA]:自由回答

Q-10 :③応援しているマシン [MA上位10位]	
1 RAYBRIG NSX-GT	23 MOTUL AUTECH GT-R
23 MOTUL AUTECH GT-R	100 RAYBRIG NSX-GT
38 ZENT CERUMO LC500	38 ZENT CERUMO LC500
4 グッドスマイル 初音ミクAMG	0 グッドスマイル 初音ミクAMG
12 カルソニック IMPUL GT-R	6 WAKO'S 4CR LC500
61 SUBARU BRZ R&D SPORT	12 カルソニック IMPUL GT-R
6 WAKO'S 4CR LC500	3 CRAFTSPORTS MOTUL GT-R
36 au TOM'S LC500	61 SUBARU BRZ R&D SPORT
37 KeePer TOM'S LC500	1 KeePer TOM'S LC500
8 ARTA NSX-GT	17 KEIHIN NSX-GT
Q-10 :④好きな選手 [FA上位10位]	
坪井 翔	坪井 翔
阪口 晴南	ジェンソン・バトン
牧野 任祐	千代 勝正
ジェンソン・バトン	宮田 莉朋
関口 雄飛	松井 孝允
福住 仁嶺	高星 明誠
宮田 莉朋	佐々木 大樹
佐々木 大樹	山下 健太
平手 晃平	関口 雄飛
山本 尚貴	山本 尚貴
Q-10 :⑤今後の活躍を期待している選手 [FA上位10位]	
千代 勝正	坪井 翔
松井 孝允	ジェンソン・バトン
山下 健太	千代 勝正
関口 雄飛	宮田 莉朋
佐々木 大樹	松井 孝允
山本 尚貴	高星 明誠
坪井 翔	佐々木 大樹
平川 亮	山下 健太
ジェンソン・バトン	関口 雄飛
ヤン・マーデンボロー	山本 尚貴

Q-11 :モータースポーツに興味を持った「きっかけ」 [SA]	
SUPER GT／JGTCのテレビ番組を観て	SUPER GT／JGTCのテレビ番組を観て
F1のテレビ番組や中継を観て	F1のテレビ番組や中継を観て
レースに興味を持つ家族・友人・知人などに影響されて	レースに興味を持つ家族・友人・知人などに影響されて
雑誌でレースに関する記事や写真を観て	雑誌でレースの記事や写真を観て
インターネットでレースに関する記事・写真・映像を観て	インターネットでレースの映像・写真・記事を観て
モーターショー、オートサロン、オートメッセの会場でレーシングカーを観て	モーターショー、オートサロン、オートメッセの会場でレーシングカーを観て
サーキットに連れて行ってもらって	サーキットに連れて行ってもらって
ミニカーやプラモデル等の玩具でレーシングカーに接して	ミニカーやプラモデル等の玩具でレーシングカーに接して
TVゲームでレースゲームをプレイして	TVゲームでレースゲームをプレイして
マンガやアニメでクルマやレースの話を観て	マンガやアニメでクルマやレースの話を観て
新聞でレースの記事や写真を観て	新聞でレースの記事や写真を観て
偶然やっていたモータースポーツのイベントに接して	偶然やっていたモータースポーツのイベントに接して
遊園地やテーマパーク等でゴーカートに乗って	遊園地やテーマパーク等でゴーカートに乗って
映画・ドラマ・ドキュメンタリーでレースの話を観て	映画・ドラマ・ドキュメンタリーでレースの話を観て
書籍でレースの実話や小説を読んで	書籍でレースの実話や小説を読んで
ラジオでレースの話題を聴いて	ラジオでレースの話題を聴いて
その他	その他
Q-12 :モータースポーツに興味を持ち始めた年齢 [SA]	
幼少時	幼少時
小学生	小学生
中学生	中学生
16歳～18歳（高校生）	16歳～18歳（高校生）
19歳～22歳	19歳～22歳
23歳～29歳	23歳～29歳
30歳～39歳	30歳～39歳
40歳～49歳	40歳～49歳
50歳以上	50歳以上

設問一覧 -7

'19年	'18年	報告書内設問

※ [SA]:単一回答の設問　[～マトリクス]:同一選択肢による複数の関連設問まとめ　[MA]:複数回答可の設問　[N]:数値で回答する設問　[FA]:自由回答

Q-13 :年代別観戦歴詳細 [MA]	
1994年～1996年の頃（JGTC黎明期）	1994年～1996年の頃（JGTC黎明期）
1997年～2000年の頃（GT500にメーカー3社がそろう・高橋国光／長谷見昌弘引退）	1997年～2000年の頃（GT500にメーカー3社がそろう・高橋国光／長谷見昌弘引退）
2001年～2004年の頃（マレーシアでのシリーズ戦開始・星野一義／土屋圭市引退）	2001年～2004年の頃（マレーシアでのシリーズ戦開始・星野一義／土屋圭市引退）
2005年～2008年の頃（富士スピードウェイ改修・SC430登場・ZからR35GT-Rへ）	2005年～2008年の頃（富士スピードウェイ改修・SC430登場・ZからR35GT-Rへ）
2009年～2013年の頃（GT500が2009年車両規定に・2010年からHSV-010GT登場）	2009年～2013年の頃（GT500が2009年車両規定に・2010年からHSV-010GT登場）
2014年～2016年の頃（GT500が2014年車両規定に・RC FとNSX Concept-GTが登場）	2014年（シリーズ優勝 GT500 松田・ウインタレッリ／GT300 谷口・片岡）
	2015年（シリーズ優勝 :GT500 松田・クインタレッリ／GT300 A.クード）
	2016年（シリーズ優勝 :GT500 コバライネン・平手／GT300 土屋・松井））
2017年（シリーズ優勝 :GT500 平川・キャシディ／GT300 谷口・片岡）	2017年（シリーズ優勝 :GT500 平川・キャシディ／GT300 谷口・片岡）
2018年（シリーズ優勝 :GT500 山本・バトン／GT300 黒澤・蒲生）	2018年（今回の第3戦鈴鹿大会を含む）
2019年（今回の第2戦 富士スピードウェイ大会を含む）	

Q-14 :①今回のSUPER GTに来場する前、何を楽しみにしていましたか？ [MA]	
レースグッズのショッピング（ウィンドウショッピング含む）	レースグッズのショッピング（ウィンドウショッピング含む）
レーシングカー／選手などの写真撮影	レーシングカー／選手などの写真撮影
様々な企業のPRブースやステージへの訪問またはイベント参加	様々な企業のPRブースやステージへの訪問またはイベント参加
応援している選手や監督、チームとの交流	応援している選手や監督、チームとの交流
自動車メーカーの市販車展示	自動車メーカーの市販車展示
屋台（仮説飲食ブース）などでの飲食	多様なメニューが提供される屋台での飲食
決勝前の全ドライバー紹介演出（SUPER GT 選手紹介）	決勝前の全ドライバー紹介演出
SUPER GTオフィシャルステージの観覧	SUPER GTオフィシャルステージの観覧
パドックやプレミアムエリアへの訪問（オープンピット、ピットウォーク、キッズウォーク、グリッドウォーク含む）	パドックやプレミアムエリアへの訪問（オープンピット、ピットウォーク、キッズウォーク、グリッドウォーク含む）
レース会場で家族友人知人との交流	レース会場で家族友人知人との交流
レースクイーン	レースクイーン
屋台BBQや車中泊	屋台BBQや車中泊
その他	その他

Q-14 :②なぜ他のモータースポーツイベントではなく、SUPER GTの観戦を選んだのですか？ [MA]	
日本を代表する3つの自動車メーカーがマシン開発に凌ぎを削っているから	日本を代表する3つの自動車メーカーがマシン開発に凌ぎを削っているから
選手や監督が魅力的だから	選手や監督が魅力的だから
JAF-GTやFIA GT3マシンなど多種多様なマシンが参戦しているから	JAF-GTやFIA GT3マシンなど多種多様なマシンが参戦しているから
コース上でオーバーテイクが数多く展開されているから	コース上でオーバーテイクが数多く展開されているから
複数のタイヤメーカーが参戦していてコンペティションがあるから	複数のタイヤメーカーが参戦していてコンペティションがあるから
性能調整（BoP）やウエイトハンデなどSUPER GT独自のルールがあるから	性能調整（BoP）やウエイトハンデなどSUPER GT独自のルールがあるから
日本で今一番人気のあるレースだから	日本で今一番人気のあるレースだから
レース以外にサーキットで楽しめることが充実しているから	レース以外にサーキットで楽しめることが充実しているから
GTA製マザーシャシー使用チームの参戦でレース観戦の楽しみが増えたから	GTA製マザーシャシー使用チームの参戦でレース観戦の楽しみが増えたから
他のレースに比べスタンド裏のイベント広場が賑わっているから	他のレースに比べスタンド裏のイベント広場が賑わっているから
DTMとの統一シャシー導入など世界とつながるレースだから	DTMとの統一シャシー導入など世界とつながるレースだから
その他	その他

Q-14 :③2年以上連続で観戦している方にお聞きします。SUPER GTのレースを、サーキットで継続的に観戦するようになった理由は何ですか？ [MA]	
生で聞くエキゾーストノート	生で聞くエキゾーストノート
生で見るオーバーテイクシーンの緊迫感	生で見るオーバーテイクシーンの緊迫感
多種多様なマシンと参加台数の多さ	多種多様なマシンと参加台数の多さ
生で見るコーナリングテクニックと速さ	生で見るコーナリングテクニックと速さ
生で見るストレートスピードの速さ	サーキットの開放感や会場の雰囲気
サーキットの開放感や会場の雰囲気	生で見るストレートスピードの速さ
レースフィニッシュ時の感動	レースフィニッシュ時の感動
スタート直前の緊張感	スタート直前の緊張感
ピエール北川さんの場内実況	ピエール北川さんの場内実況
チームや選手のファンサービスに触れて	チームや選手のファンサービスに触れて
レース観戦以外の楽しみが豊富	レース観戦以外の楽しみが豊富
その他	その他

設問一覧 -8

'19年	'18年	報告書内設問

※ ［SA］:単一回答の設問　［～マトリクス］:同一選択肢による複数の関連設問まとめ　［MA］:複数回答可の設問　［N］:数値で回答する設問　［FA］:自由回答

Q-15 :①サーキット観戦に誘った人数 ［SA］	
1～2名	1～2名
3～5名	3～5名
6～9名	6～9名
10名以上	10名以上
誘ったことがない	誘ったことが無い
Q-15 :②誘った方たちのおおよその年齢（年代） ［MA］	
幼児（5歳以下）	幼児（5歳以下）
小学校低学年（1～3学年）	小学校低学年（1～3学年）
小学校高学年（4～6学年）	小学校高学年（4～6学年）
中学生	中学生
16～18歳（高校生）	16～18歳（高校生）
19～22歳	19～22歳
23～29歳	23～29歳
30～39歳	30～39歳
40～49歳	40～49歳
50歳以上	50歳以上
Q-15 :③誘った方たちを「初回に誘った」おおよその時期 ［MA］	
今回	
今回以外の年内	
昨年～2年前	
3～5年前	
5～10年前	
10年以上前	
Q-15 :④その中で何割くらいの方がサーキット観戦を継続していますか？ ［SA］	
0割（誰も継続していない）	0割（誰も継続していない）
1割以下	1割以下
2～3割	2～3割
4～5割	4～5割
6～7割	6～7割
8～9割	8～9割
10割（全員継続）	10割（全員継続）
Q-15 :⑤初めて誘った方たちの中で、SUPER GTへの興味や知識を持っていた方の割合 ［SA］	
興味・知識を持っていない人だけを誘った	
興味・知識を持っていない人を多く誘った	
半々くらい	
興味・知識を持っていた人を多く誘った	
興味・知識を持っていた人だけを誘った	

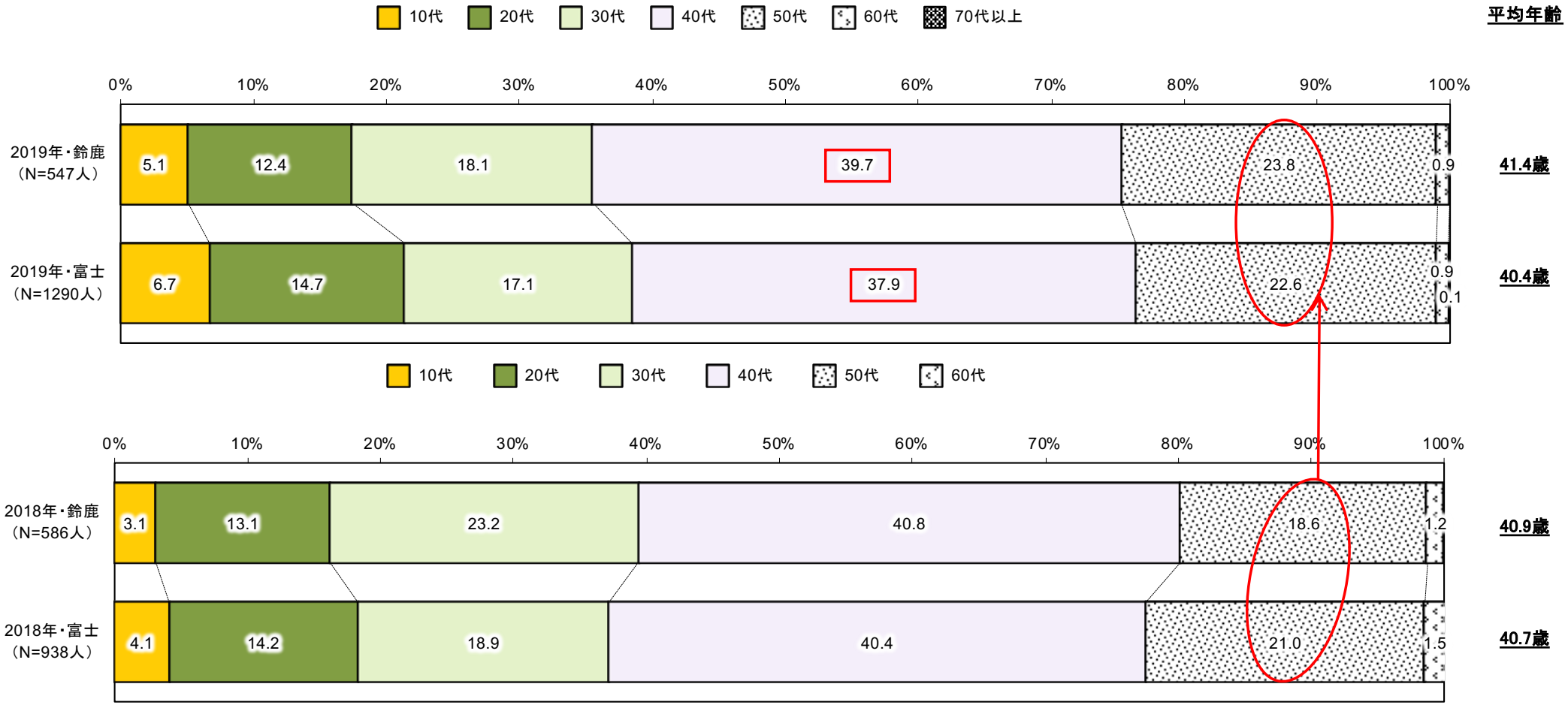
Q-16 :①「グランツーリスモ(シリーズ)」を知っていますか？ ［SA］	
はい	はい
いいえ	いいえ
Q-16 :②最新ソフト「グランツーリスモSPORT」を持っていますか？ ［SA］	
いいえ	はい
いいえ	いいえ
Q-16 :③「グランツーリスモSPORT」で主にプレイしているモードはどちらですか？ ［SA］	
アーケードモード	アーケードモード
スポーツモード（オンラインレース）	スポーツモード（オンラインレース）
Q-16 :④「グランツーリスモSPORT」のスポーツモードで行われているFIA公認の「FIAグランツーリスモチャンピオンシップ」について、以下の項目からご自身の経験をお答えください。 ［MA］	
名称を見たり聞いたりしたことがある	名称を見たり聞いたりしたことがある
テレビやインターネット等で話題を目にしたことがある	テレビやインターネット等で話題を目にしたことがある
身の回りの話題になったことがある	身の回りの話題になったことがある
ネット動画やテレビ、競技会場で観戦したことがある	ネット動画やテレビ、競技会場で観戦したことがある
自分は参加したことはないが、周りに出場経験者がいる	自身が参加したことはないが、周りに出場経験者がいる
自分は出場者として参加したことがある	自身が出場者として参加したことがある

回　答　者　属　性

	鈴鹿	富士
	AUTOBACS SUPER GT 第3戦 SUZUKA GT 300km FAN FESTIVAL	AUTOBACS SUPER GT 第2戦 FUJI GT 500km RACE
天候:	予選日:晴れ　決勝日:曇り	予選日:晴れ　決勝日:雨／曇り
入場者:	予選日(5月25日):21,000人 決勝日(5月26日):36,000人	予選日(5月3日):35,800人 決勝日(5月4日):56,000人
回答使用端末:	総回答者614人中 今大会に来場した547人を抽出集計 パソコン: 18.9% スマートフォン:76.2% タブレット:4.7% その他端末:0.2%	総回答者1,414人中 今大会に来場した1,290人を抽出集計 パソコン: 15.3% スマートフォン:80.1% タブレット:4.5% その他:0.1%
回答数:	547人	1,290人

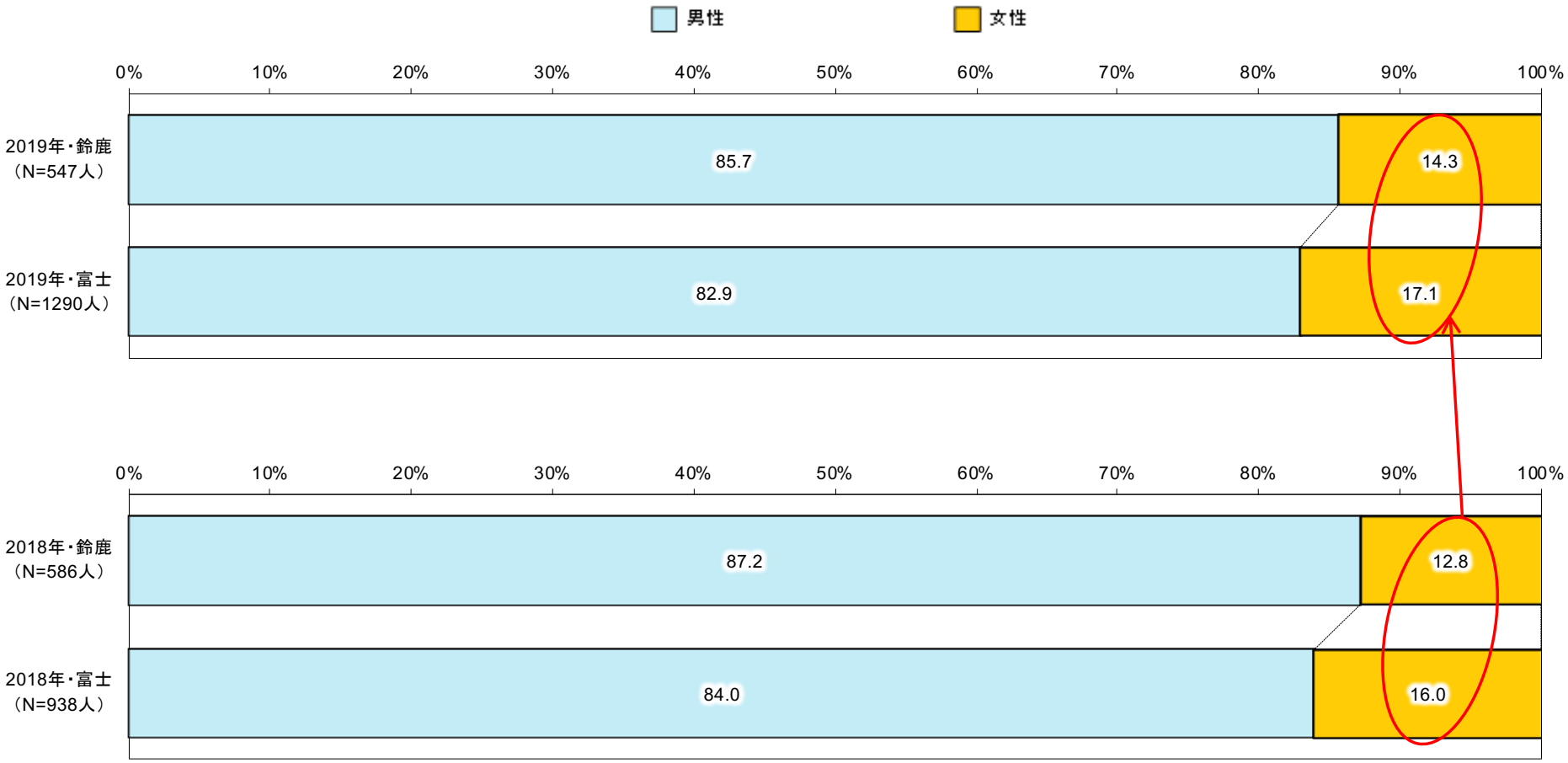
FS-1：年齢 [SA]

2018年に引き続き2019年の両サーキットとも、「40代」が主な来場者層となった。また両サーキットとも「50代」の比率がやや上がっている。
平均年齢は、2018年（鈴鹿：40.9歳、富士：40.7歳）から2019年（鈴鹿：41.4歳、富士：40.4歳）となっている。



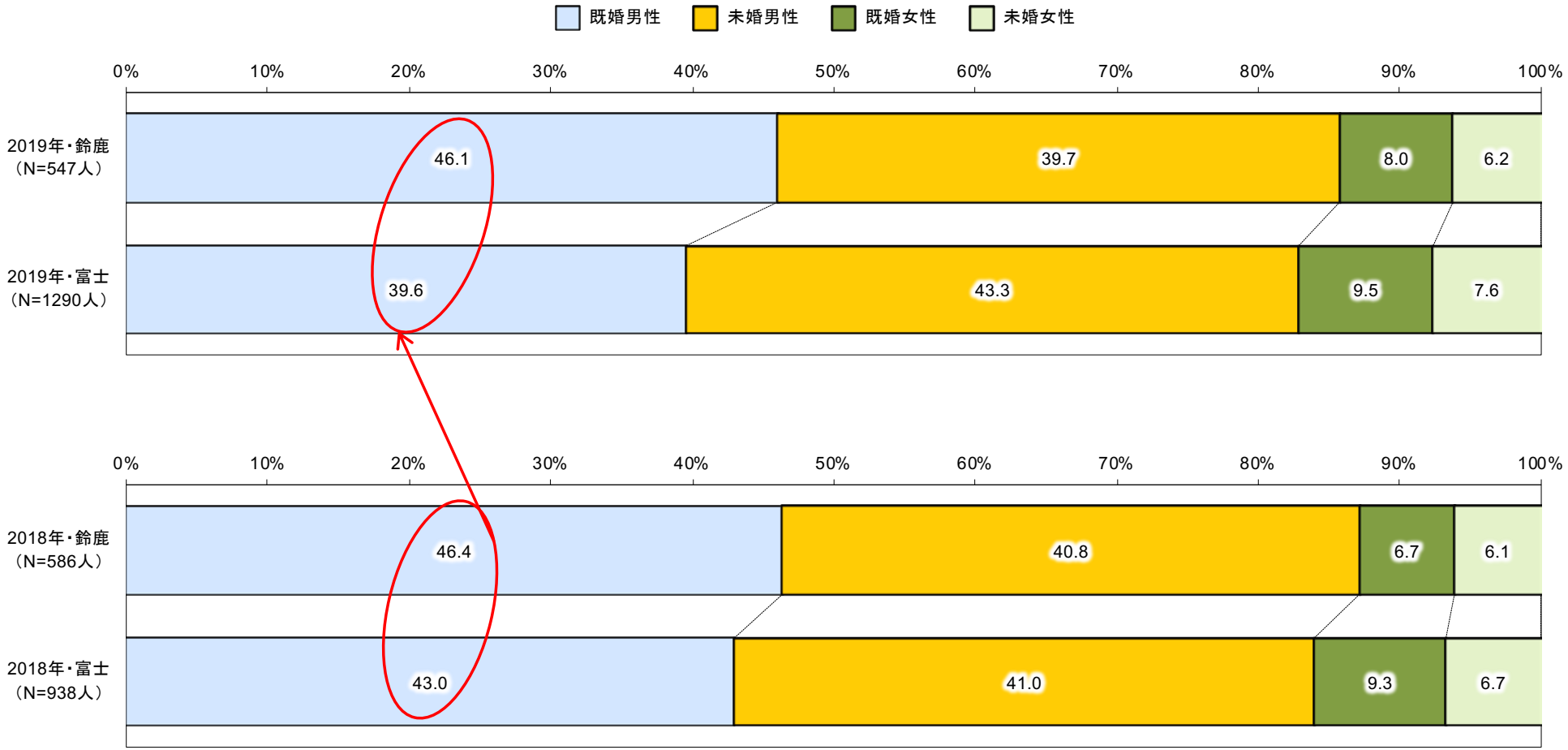
FS-2-1：性別 [SA]

女性比は2018年から2019年にかけて『鈴鹿』が1.5ポイント、『富士』が1.1ポイント両サーキットとも増加している。



FS-2-2:既婚有無 [SA]

2019年の『鈴鹿』と『富士』を比較すると、「既婚男性」は『富士』が39.6%、『鈴鹿』が46.1%と『鈴鹿』が高い。
2018年から2019年にかけて、「既婚男性」の比率が『鈴鹿』で0.3ポイント減、『富士』で3.4ポイント減となっている。

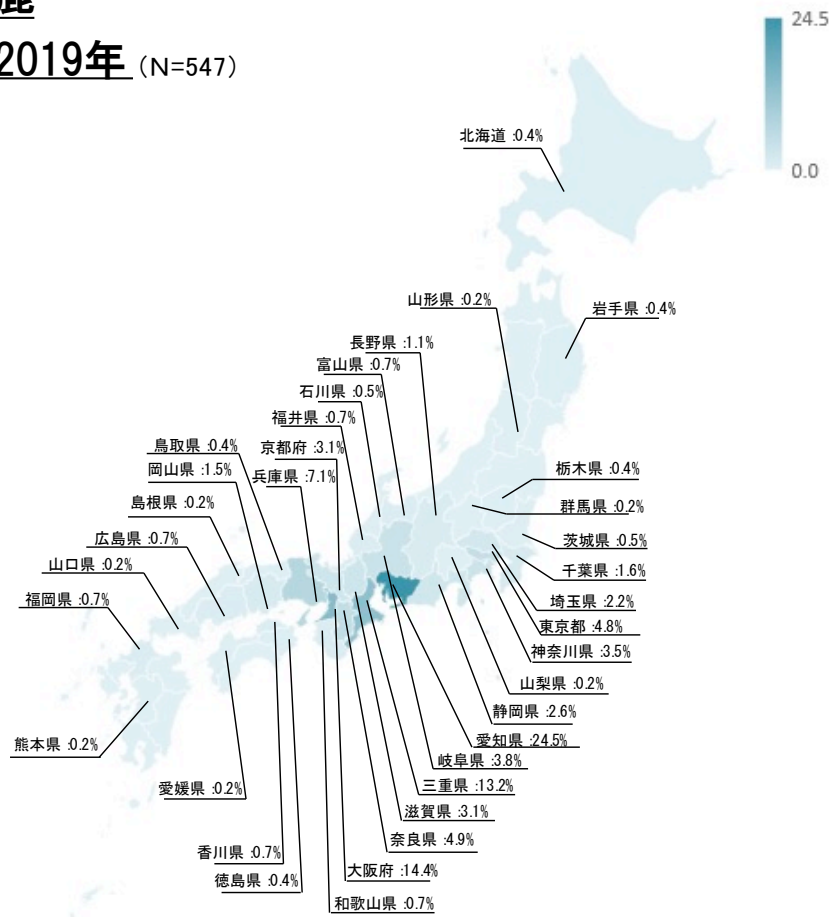


FS-3:居住地域《鈴鹿》 [SA]

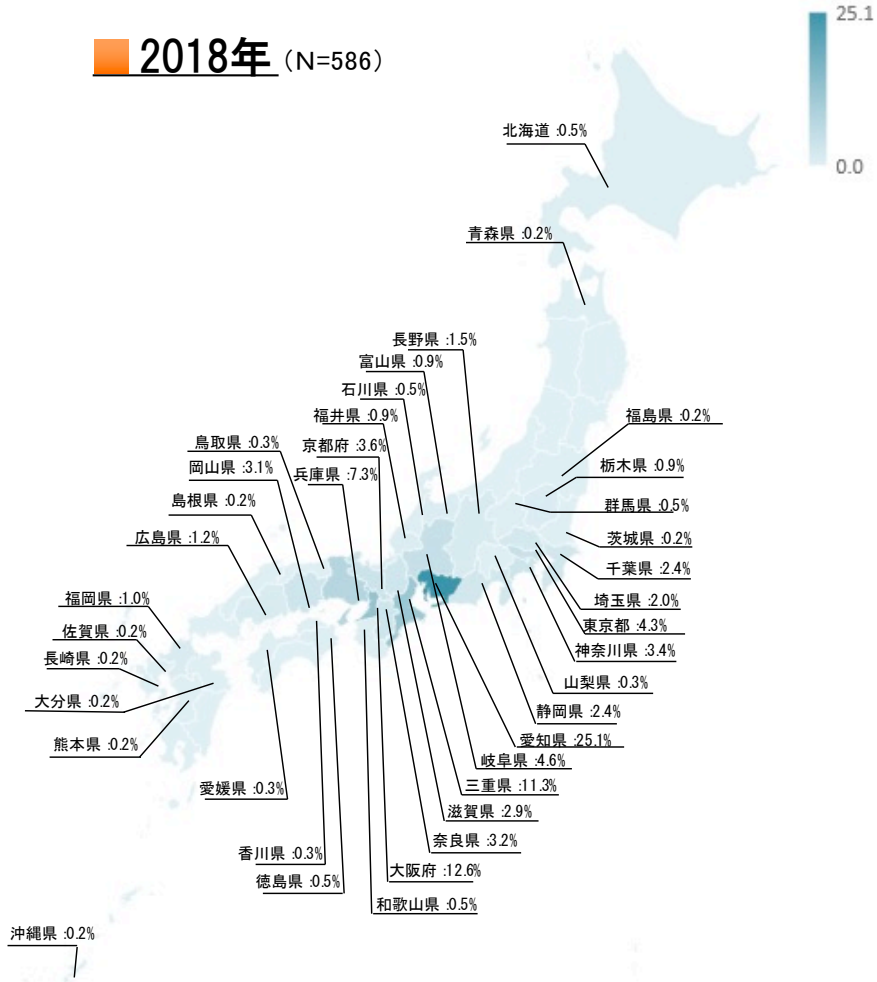
『鈴鹿』の2019年を見ると、「愛知県」「大阪府」「三重県」からの来場者が多く、3県で52%を占めた。また「兵庫県」「奈良県」「東京都」からも来場者が多数みられた。

◆鈴鹿

2019年 (N=547)



2018年 (N=586)



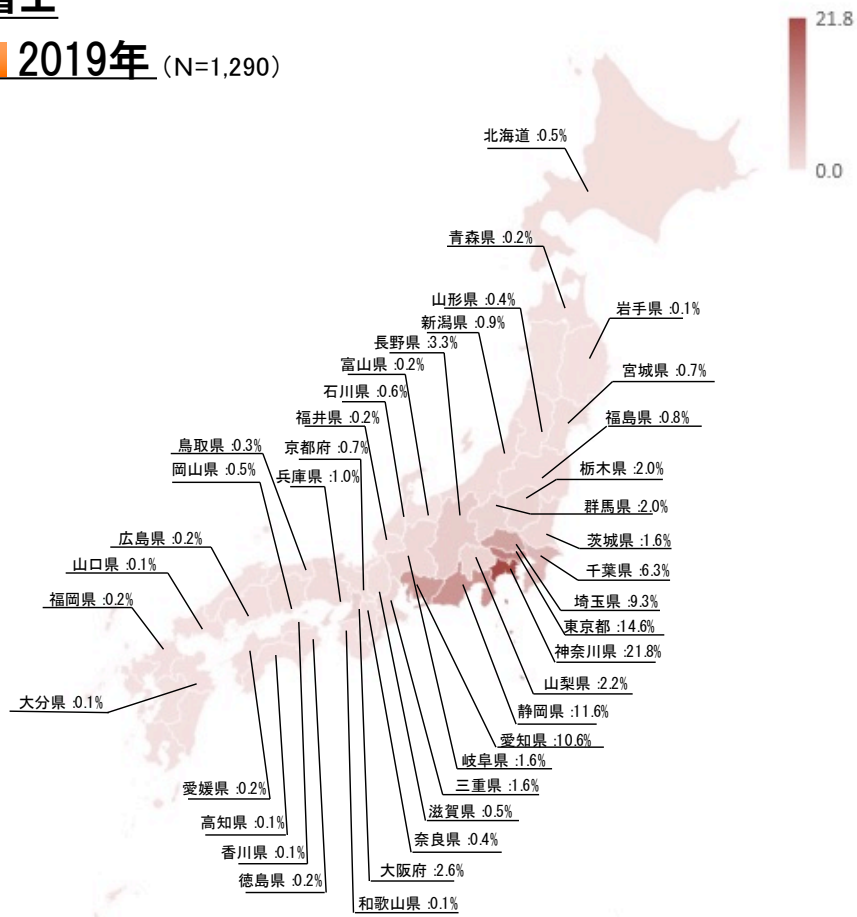
鈴鹿 %)	2018年	2019年
N	586	547
北海道	0.5	0.4
青森県	0.2	0.0
岩手県	0.0	0.4
宮城県	0.0	0.0
秋田県	0.0	0.0
山形県	0.0	0.2
福島県	0.2	0.0
茨城県	0.2	0.5
栃木県	0.9	0.4
群馬県	0.5	0.2
埼玉県	2.0	2.2
千葉県	2.4	1.6
東京都	4.3	4.8
神奈川県	3.4	3.5
新潟県	0.0	0.0
富山県	0.9	0.7
石川県	0.5	0.5
福井県	0.9	0.7
山梨県	0.3	0.2
長野県	1.5	1.1
岐阜県	4.6	3.8
静岡県	2.4	2.6
愛知県	25.1	24.5
三重県	11.3	13.2
滋賀県	2.9	3.1
京都府	3.6	3.1
大阪府	12.6	14.4
兵庫県	7.3	7.1
奈良県	3.2	4.9
和歌山県	0.5	0.7
鳥取県	0.3	0.4
島根県	0.2	0.2
岡山県	3.1	1.5
広島県	1.2	0.7
山口県	0.0	0.2
徳島県	0.5	0.4
香川県	0.3	0.7
愛媛県	0.3	0.2
高知県	0.0	0.0
福岡県	1.0	0.7
佐賀県	0.2	0.0
長崎県	0.2	0.0
熊本県	0.2	0.2
大分県	0.2	0.0
宮崎県	0.0	0.0
鹿児島県	0.0	0.0
沖縄県	0.2	0.0
無回答	0.0	0.0

FS-3:居住地域《富士》[SA]

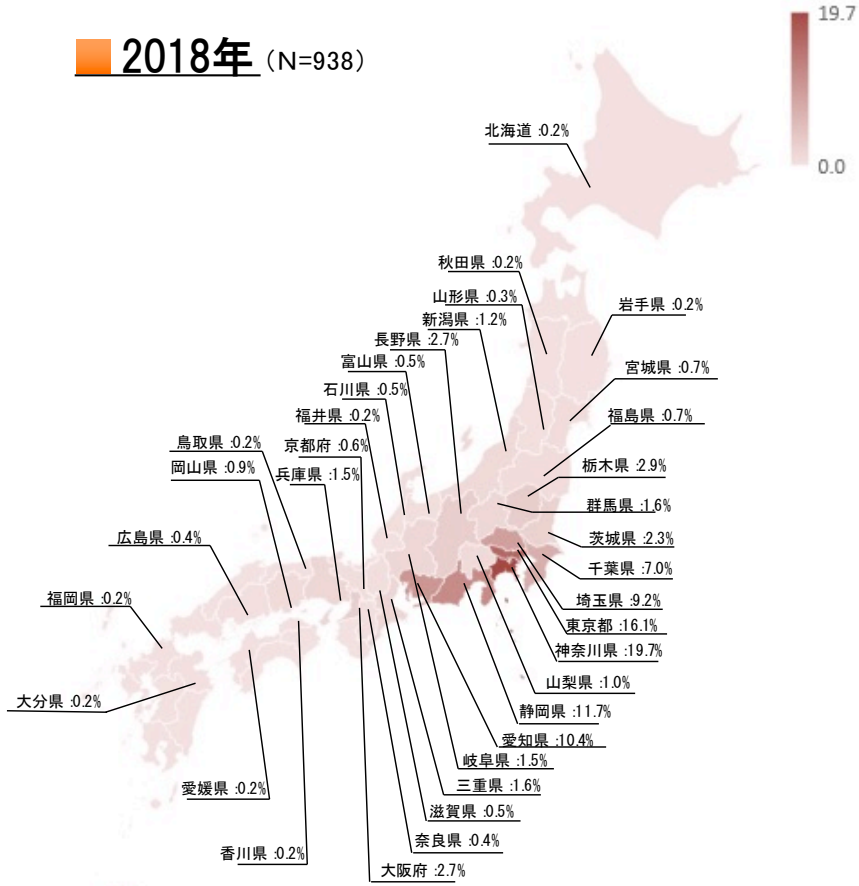
『富士』の2019年を見ると、「埼玉県」「千葉県」「神奈川県」「東京都」の関東圏から計52.0%(2018年:52.0%)、「静岡県」「愛知県」から計22.2%(2018年:22.1%)の参加率が目立った。また、「大阪府」「兵庫県」の関西からは3.6%となった。

◆富士

2019年 (N=1,290)



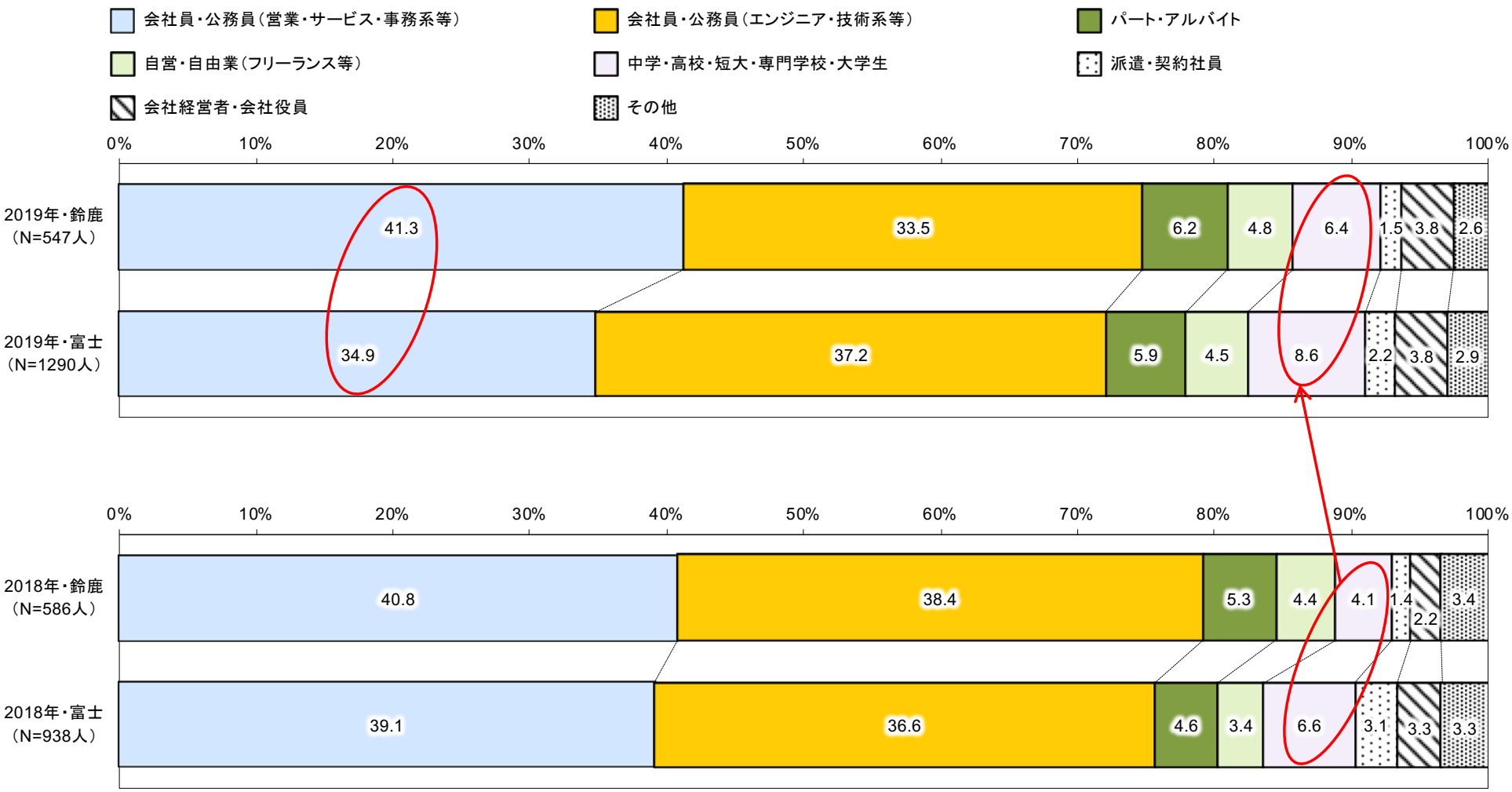
2018年 (N=938)



富士 %)	2018年	2019年
N	938	1,290
北海道	0.2	0.5
青森県	0.0	0.2
岩手県	0.2	0.1
宮城県	0.7	0.7
秋田県	0.2	0.0
山形県	0.3	0.4
福島県	0.7	0.8
茨城県	2.3	1.6
栃木県	2.9	2.0
群馬県	1.6	2.0
埼玉県	9.2	9.3
千葉県	7.0	6.3
東京都	16.1	14.6
神奈川県	19.7	21.8
新潟県	1.2	0.9
富山県	0.4	0.2
石川県	0.5	0.6
福井県	0.2	0.2
山梨県	1.0	2.2
長野県	2.7	3.3
岐阜県	1.5	1.6
静岡県	11.7	11.6
愛知県	10.4	10.6
三重県	1.6	1.6
滋賀県	0.5	0.5
京都府	0.6	0.7
大阪府	2.7	2.6
兵庫県	1.5	1.0
奈良県	0.4	0.4
和歌山県	0.0	0.1
鳥取県	0.2	0.3
島根県	0.0	0.0
岡山県	0.9	0.5
広島県	0.4	0.2
山口県	0.0	0.1
徳島県	0.0	0.2
香川県	0.2	0.1
愛媛県	0.2	0.2
高知県	0.0	0.1
福岡県	0.2	0.2
佐賀県	0.0	0.0
長崎県	0.0	0.0
熊本県	0.0	0.0
大分県	0.2	0.1
宮崎県	0.0	0.0
鹿児島県	0.0	0.0
沖縄県	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0

FS-4：職業 [SA]

2019年の『鈴鹿』と『富士』を比較すると、「会社員・公務員（営業・サービス・事務系等）」では『富士』が34.9%に対し、『鈴鹿』は41.3%と差がみられた。
2018年と比べ、『鈴鹿』『富士』ともに「中学・高校・短大・専門学校・大学生」の割合が増加した。



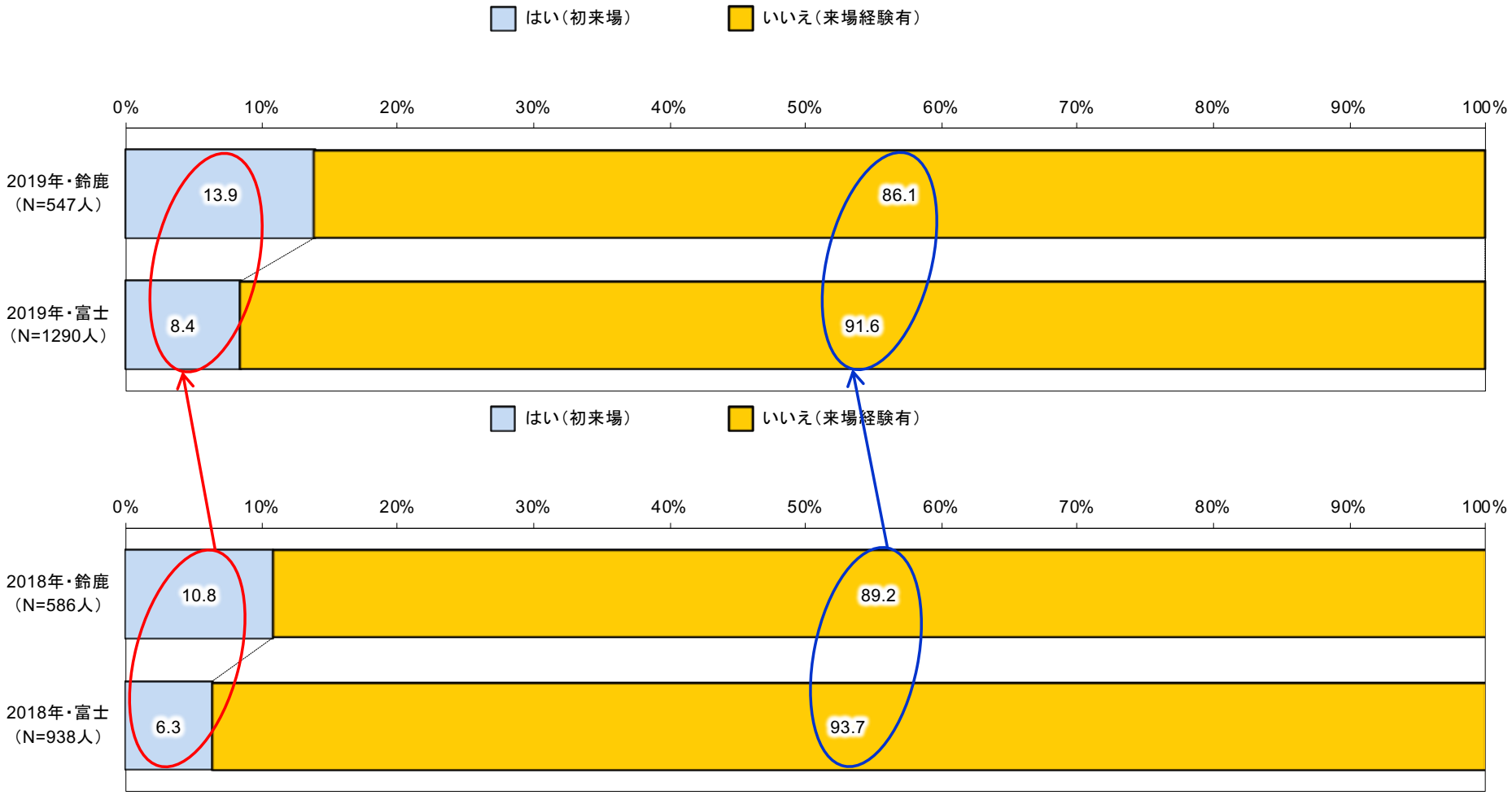
調　査　結　果

アンケート１

～SUPER GTに関する意識動向調査～

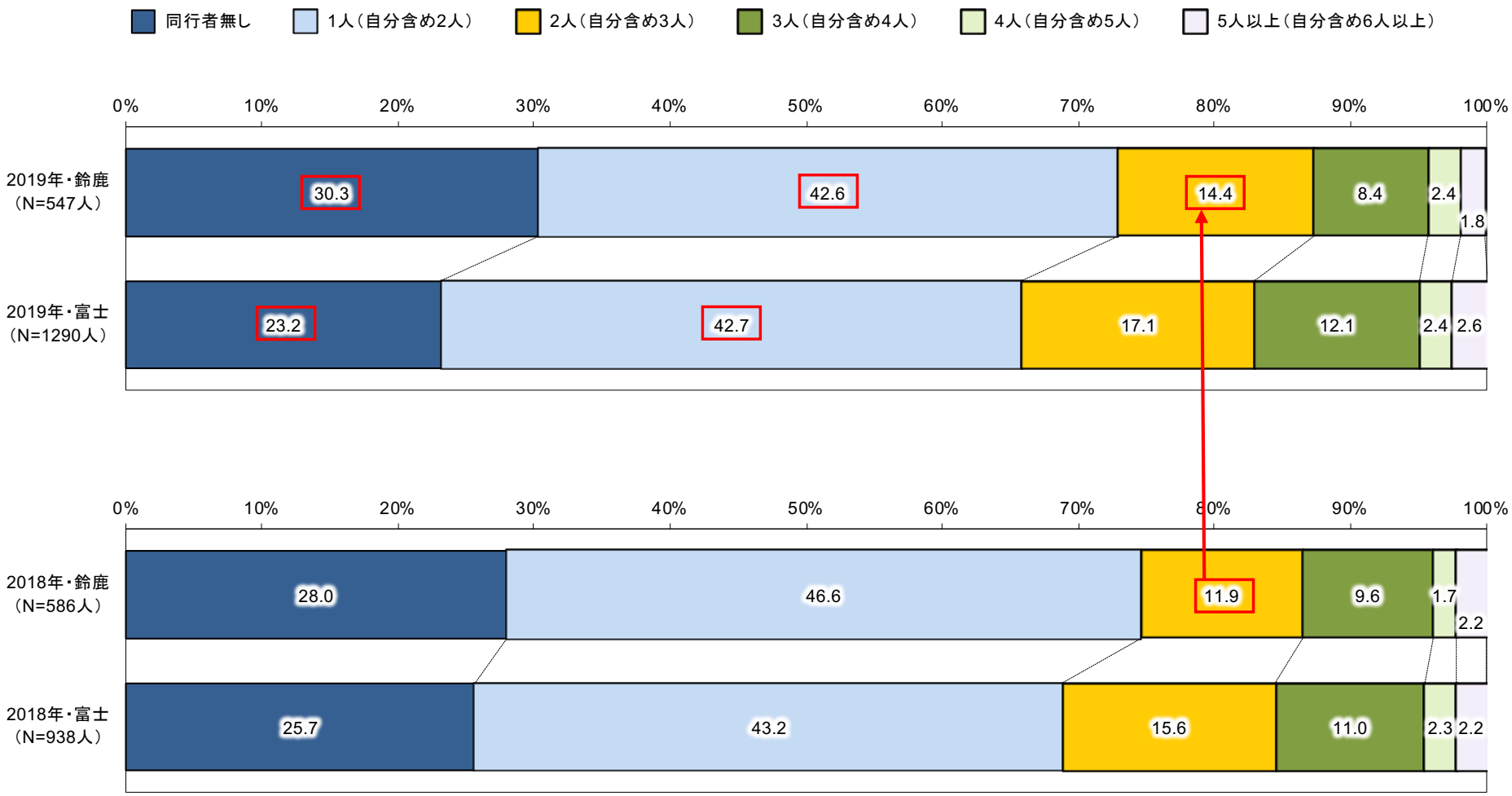
Q-1:①来場観戦経験有無 [SA]

両サーキットとも「いいえ（来場経験有）」が9割程度となった。また、2018年と比べ、『鈴鹿』『富士』ともに「はい（初来場）」が増加。



Q-1:②同行者の人数 [SA]

2019年の両サーキットにおいて「1人（自分含め2人）」での観戦が4割を占めた。また、「同行者無し」も両サーキットで2割半程度と少人数での観戦が目立った。
2018年と比べ、『鈴鹿』は「2人（自分含め3人）」が2.5ポイント増加した。

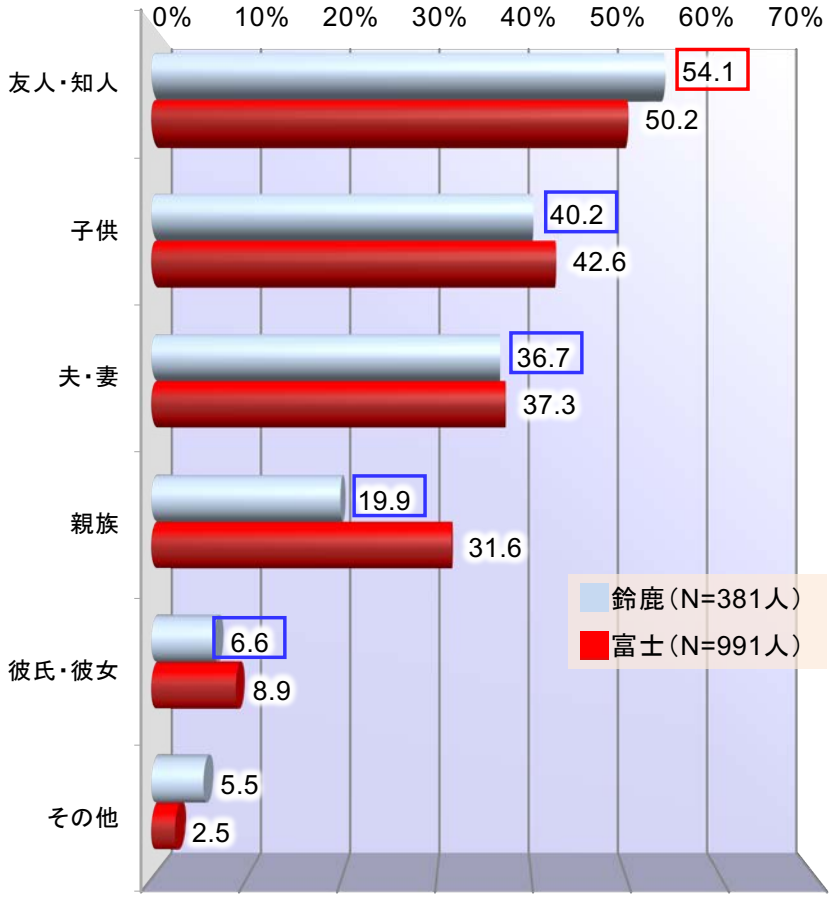


Q-1：③同行者との間柄 ［MA］

②同行者の人数で「一人」以上をお選びの方

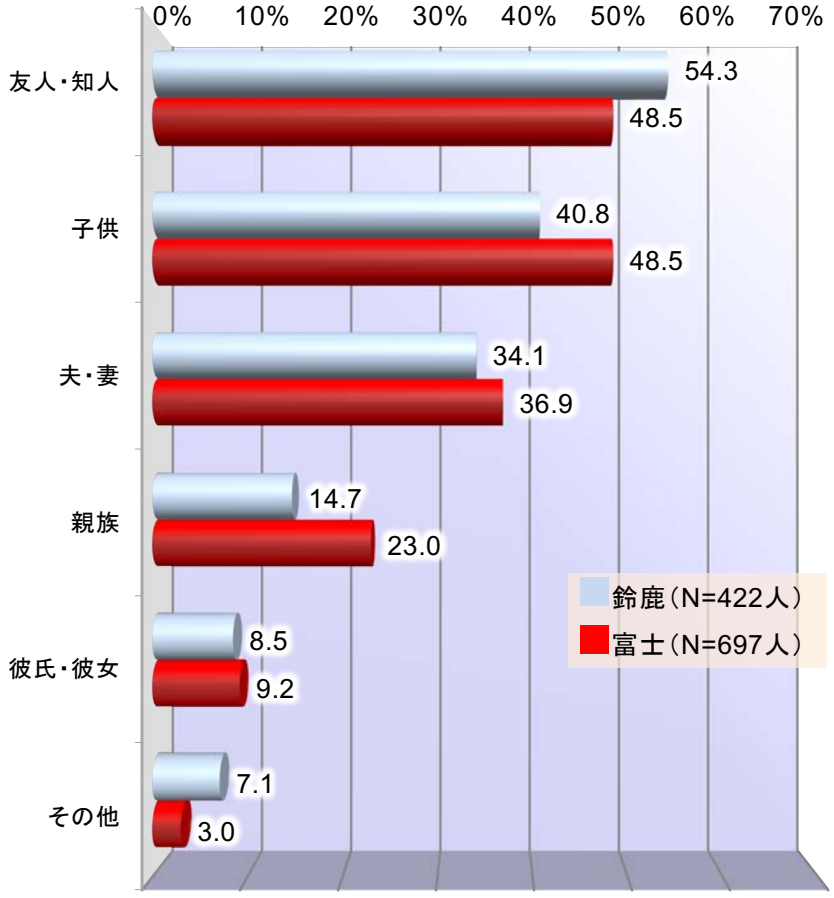
2019年の『鈴鹿』は『富士』に比べ「友人・知人」の割合が高く、「子供」「夫・妻」「親族」「彼氏・彼女」の割合が低い。

2019年



※ 鈴鹿・富士の比率合計の高い順

2018年



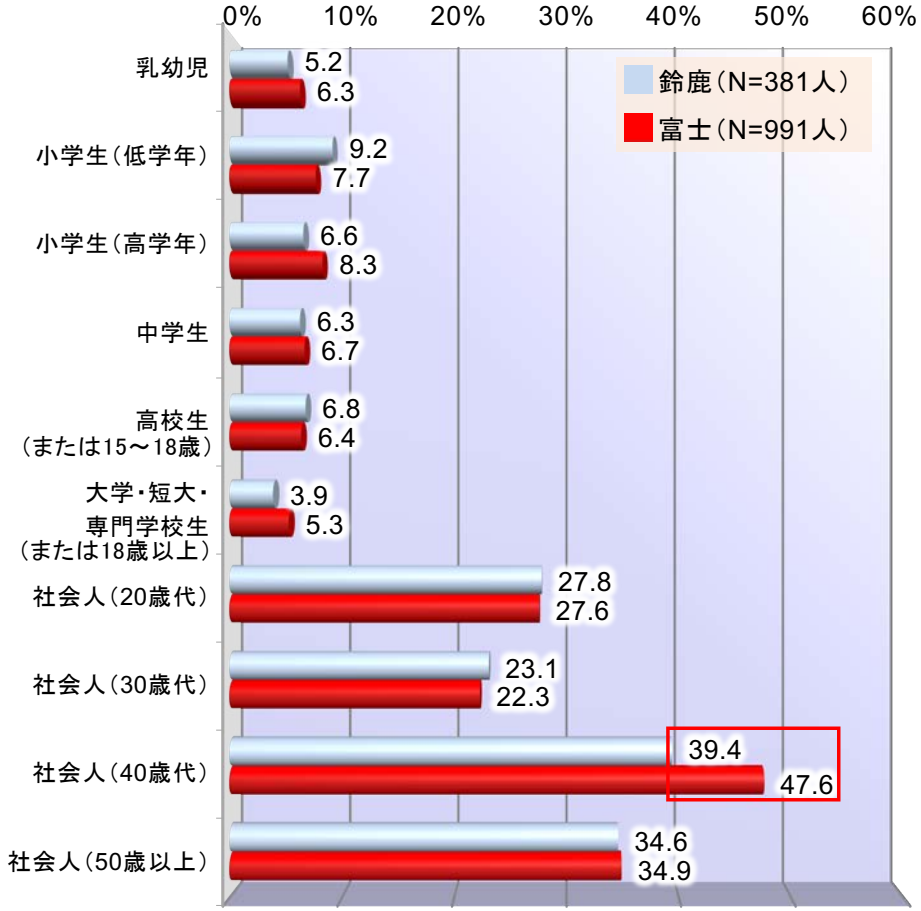
※ 2019年順

Q-1：④同行者の年齢層 ［MA］

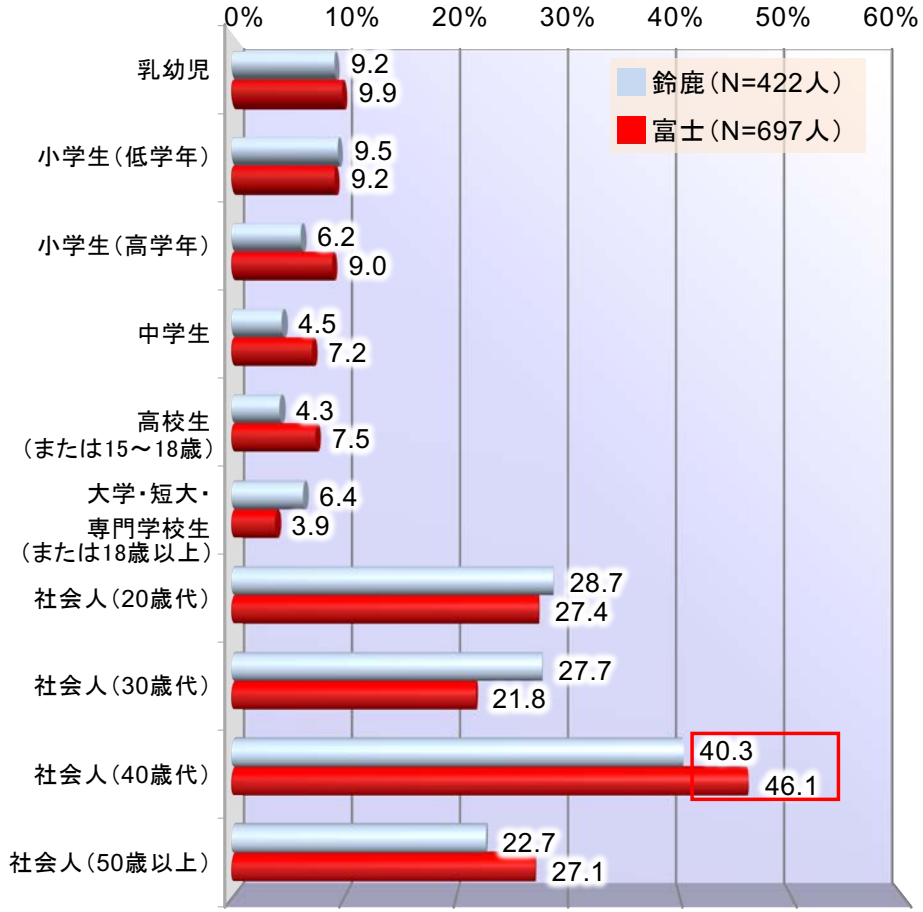
②同行者の人数で「一人」以上をお選びの方

2018年から引き続き2019年でも両サーキットともに「社会人（40歳代）」が4割前後で最も高い。
2019年の『富士』は『鈴鹿』に比べ「社会人（40歳代）」の割合が特に高い。

2019年



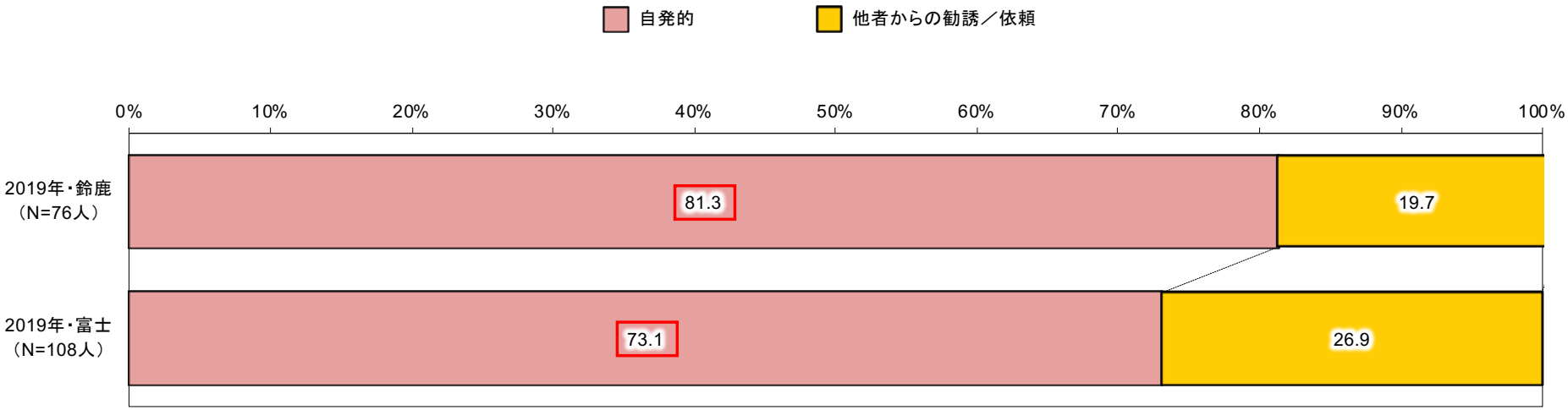
2018年



Q-1：⑤「サーキット観戦に行こう」と思ったのは、どちらが当てはまりますか？ ［SA］

①来場観戦経験有無で「はい（初来場）」をお選びの方

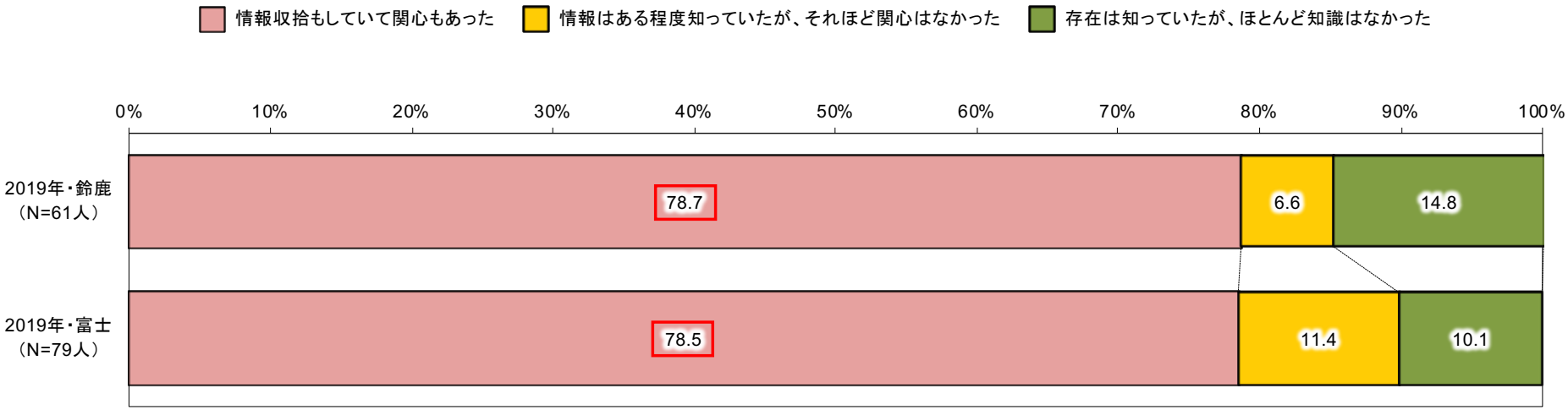
両サーキットとも「自発的」が7割以上を占めた。『鈴鹿』は『富士』に比べ「自発的」の割合が高い。



Q-1：⑥A　行こうと思う前の、あなたのSUPER GTの関心度はどれくらいでしたか？ ［SA］

⑥来場関心で「自発的来場」をお選びの方

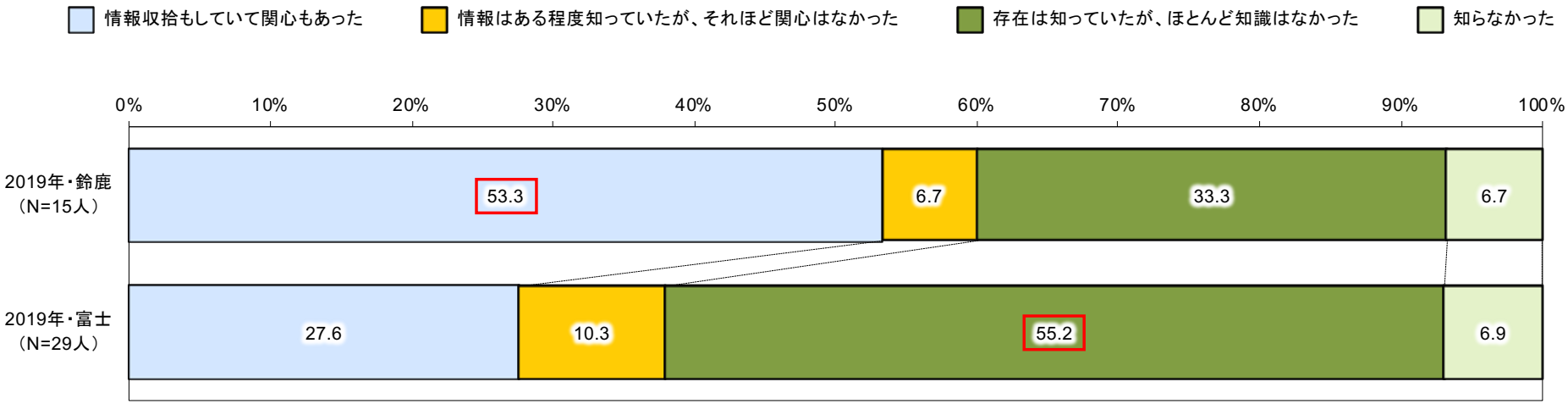
両サーキットとも「情報収拾もしていて関心があった」が8割近くを占めた。『鈴鹿』は『富士』に比べ「存在は知っていたが、ほとんど知識はなかった」の割合が高く、『富士』は『鈴鹿』に比べ「情報はある程度知っていたが、それほど関心はなかった」の割合が高い。



Q-1：⑥B　行こうと思う前の、あなたのSUPER GTの関心度はどれくらいでしたか？ ［SA］

⑥来場関心で「他者からの勧誘/依頼」をお選びの方

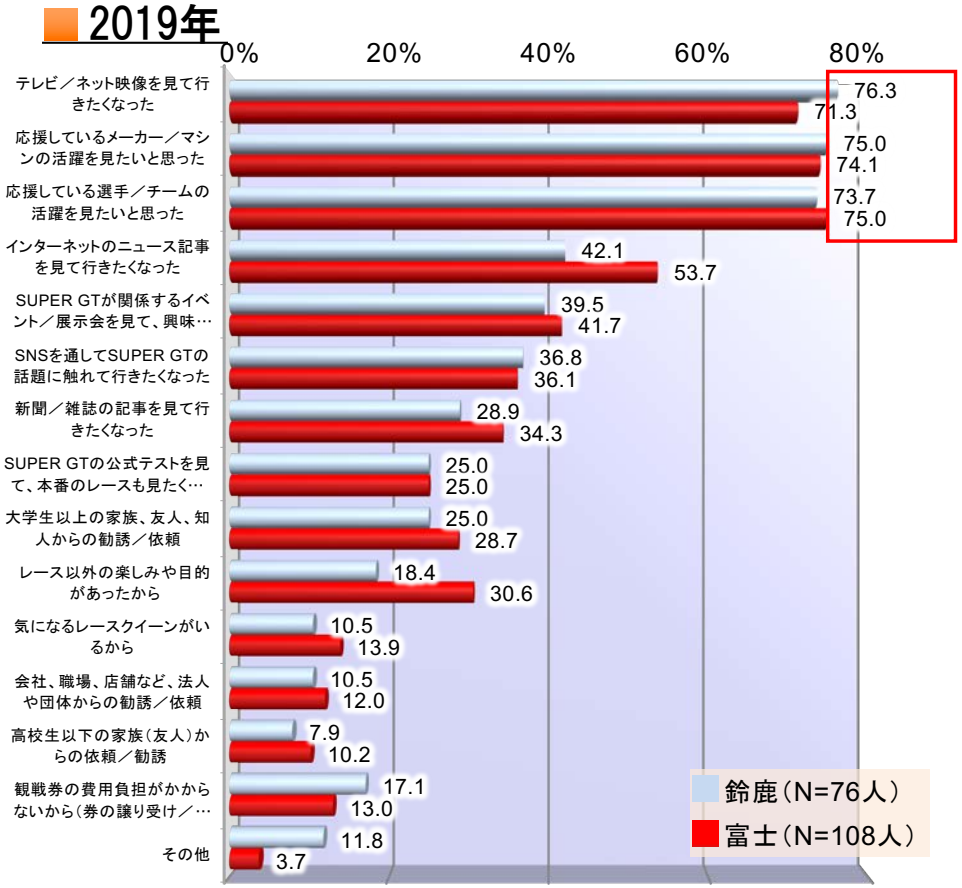
『鈴鹿』では「情報収拾もしていて関心もあった」が半数を占めた。対し『富士』では「存在は知っていたが、ほとんど知識はなかった」が半数を占め、関心度に違いがみられた。



Q-1：⑦サーキット観戦を決めたキッカケは何ですか？ ［MA］

①来場観戦経験有無で「はい（初来場）」をお選びの方

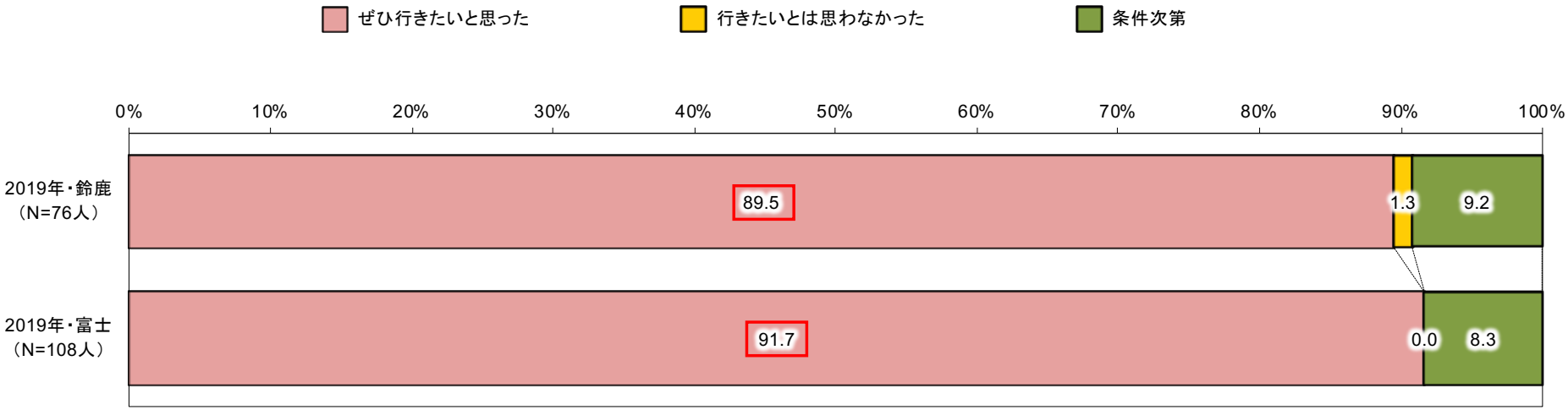
サーキット観戦のきっかけは「テレビ／ネット映像を見て行きたくなった」「応援しているメーカー／マシンの活躍を見たいと思った」「応援している選手／チームの活躍を見たいと思った」がいずれも7割半前後と高い。



Q-1：⑧今回初めてサーキットで観戦してみて、観戦券を自己／家族負担して、今後も観戦しに行きたいと思いましたか？ ［SA］

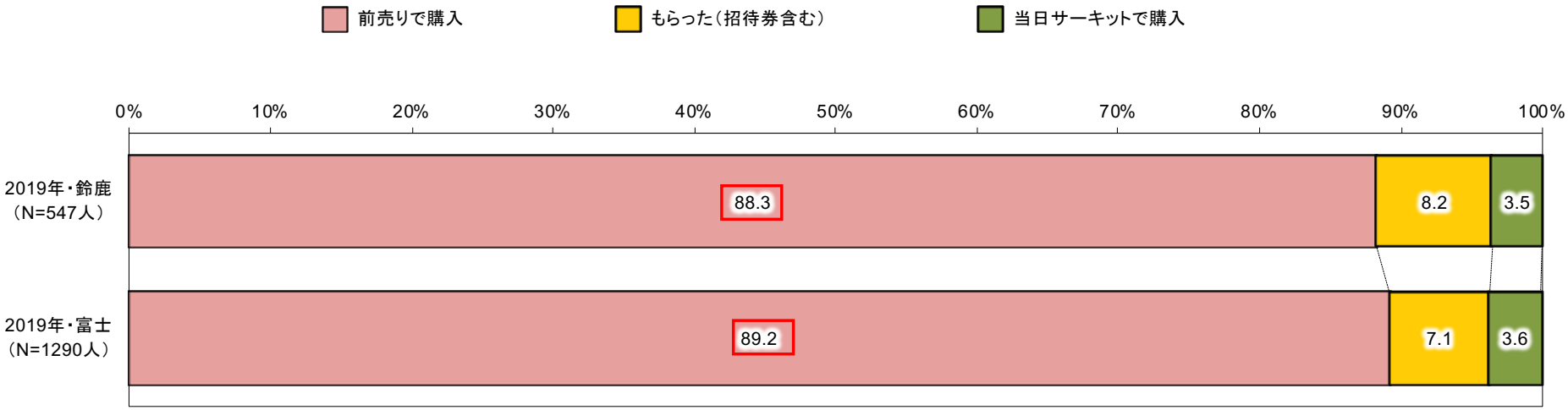
①来場観戦経験有無で「はい（初来場）」をお選びの方

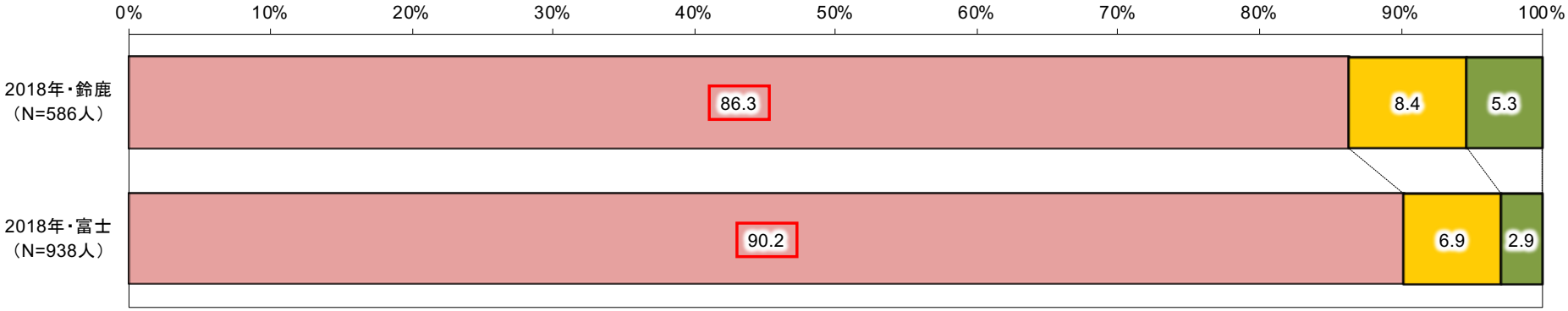
「ぜひ行きたいと思った」が両サーキットとも9割程度を占めた。



Q-1:⑦観戦券入手方法 [SA]

2018年から引き続き2019年でも、「前売りで購入」が9割前後を占めた。2018年と比べ、比率に大きな変化はみられない。



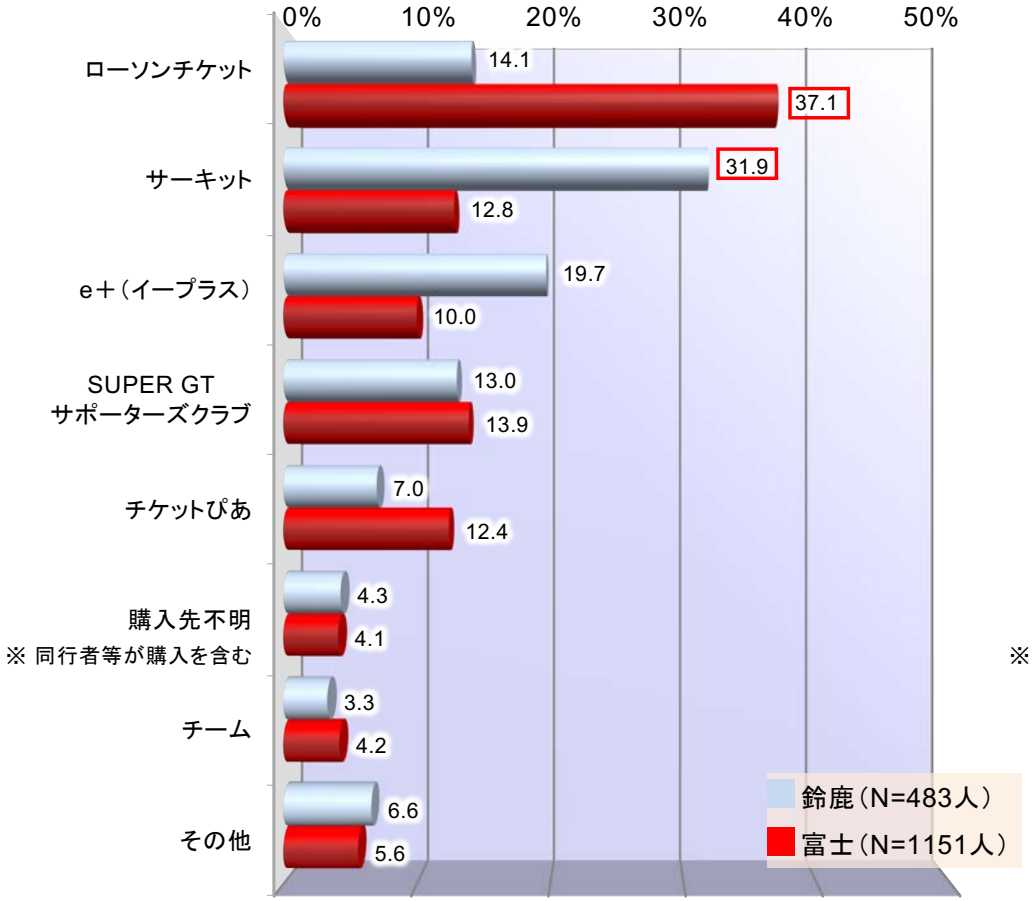


Q-1：⑦前売りチケット・パス購入先 ［SA］

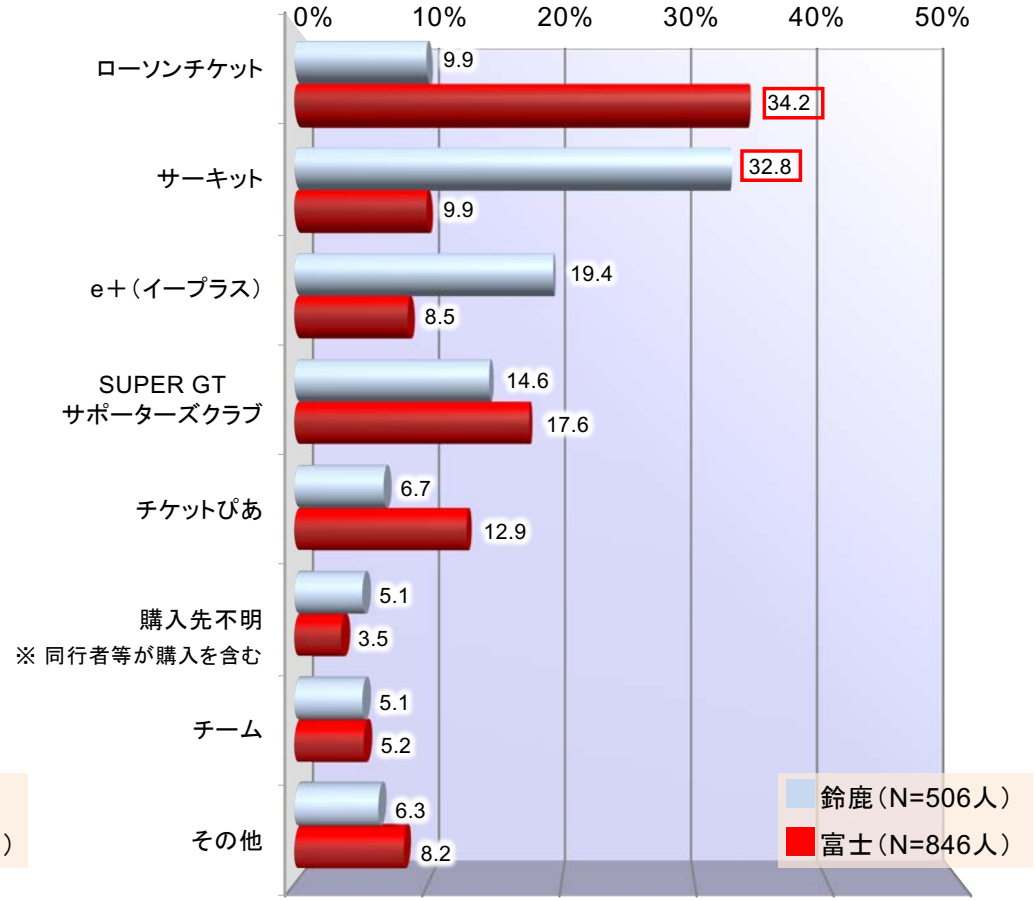
⑥観戦券入手方法で「前売り」をお選びの方

2018年から引き続き、2019年の『鈴鹿』は『富士』に比べ「サーキット」「e＋（イープラス）」の割合が高い。
対し、『富士』は『鈴鹿』に比べ「ローソンチケット」「チケットぴあ」の割合が高く、主な購入場所は異なる。

2019年



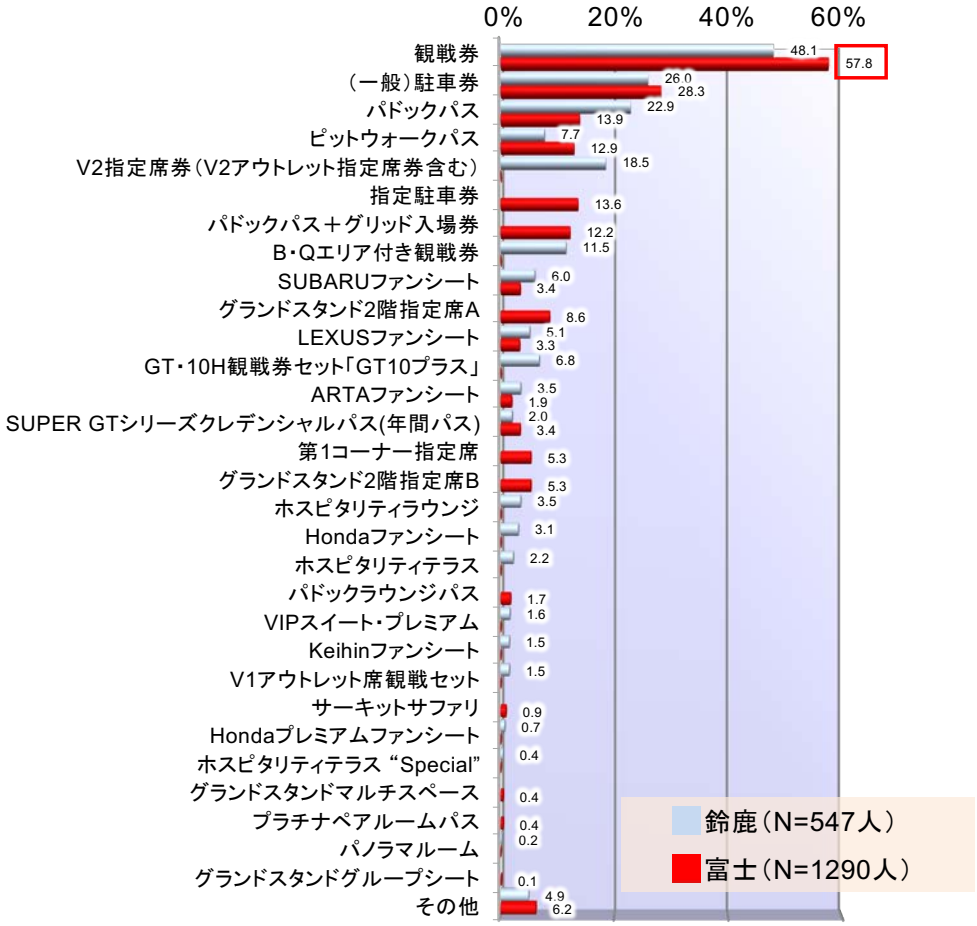
2018年



Q-1：⑧今回購入、利用したチケット・パスの種類 ［MA］

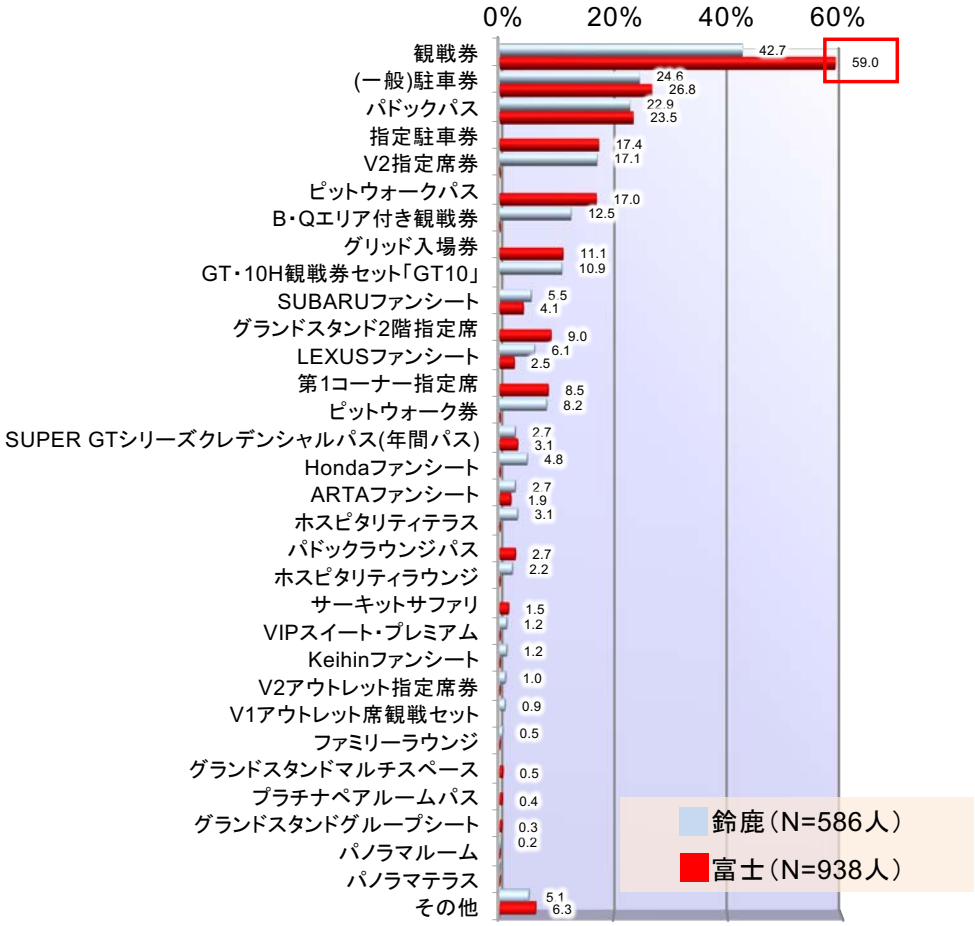
2019年の『鈴鹿』と『富士』を比較すると、「観戦券」は『富士』が『鈴鹿』を大幅に上回った。対し「パドックパス」は『富士』が『鈴鹿』を上回った。
また、2018年から依然と『富士』の「観戦券」は半数を上回り、観戦券の確保を第一と考えている様子が見られた。

2019年



※ 鈴鹿・富士の比率合計の高い順

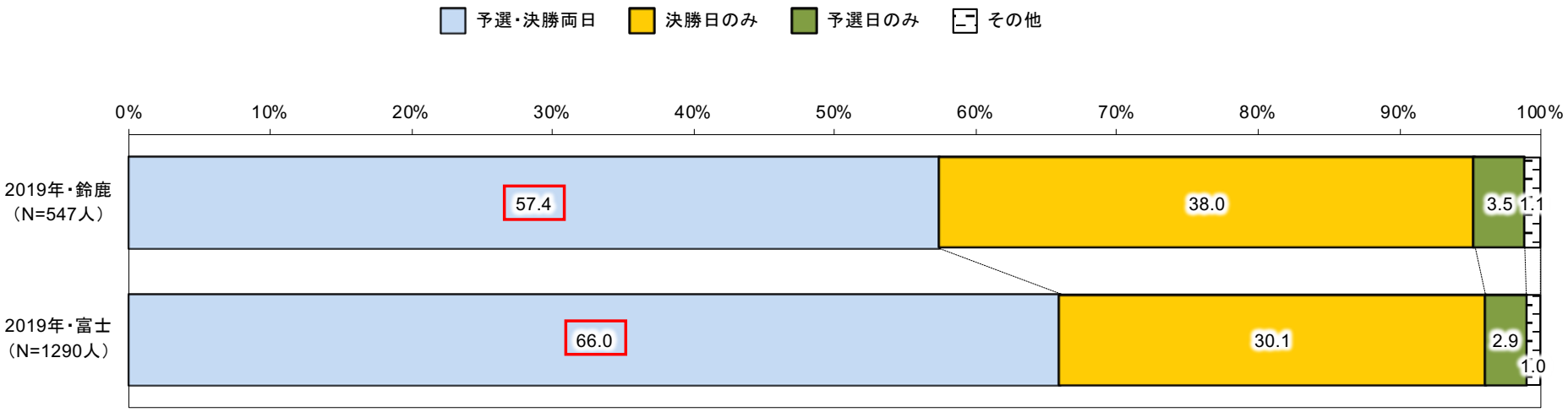
2018年

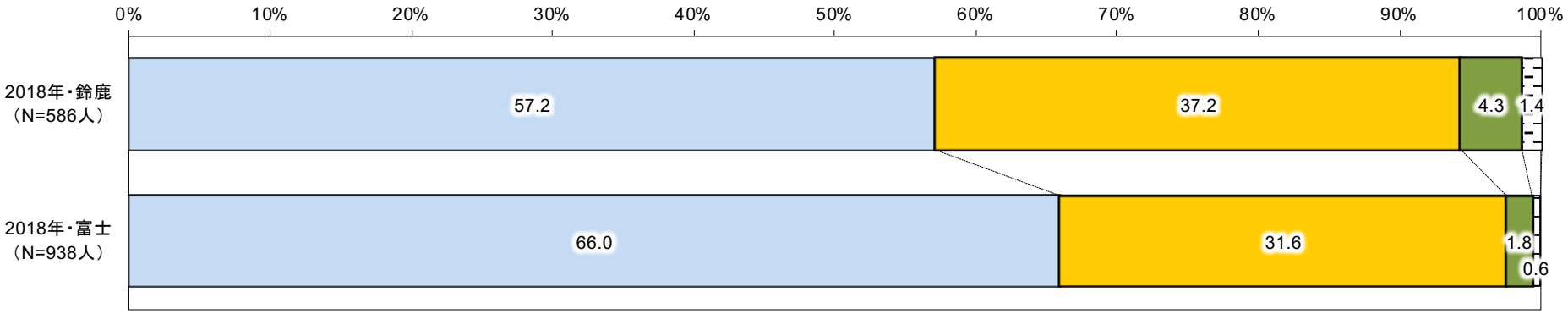


※ 鈴鹿・富士の比率合計の高い順

Q-1:⑨観戦日程 [SA]

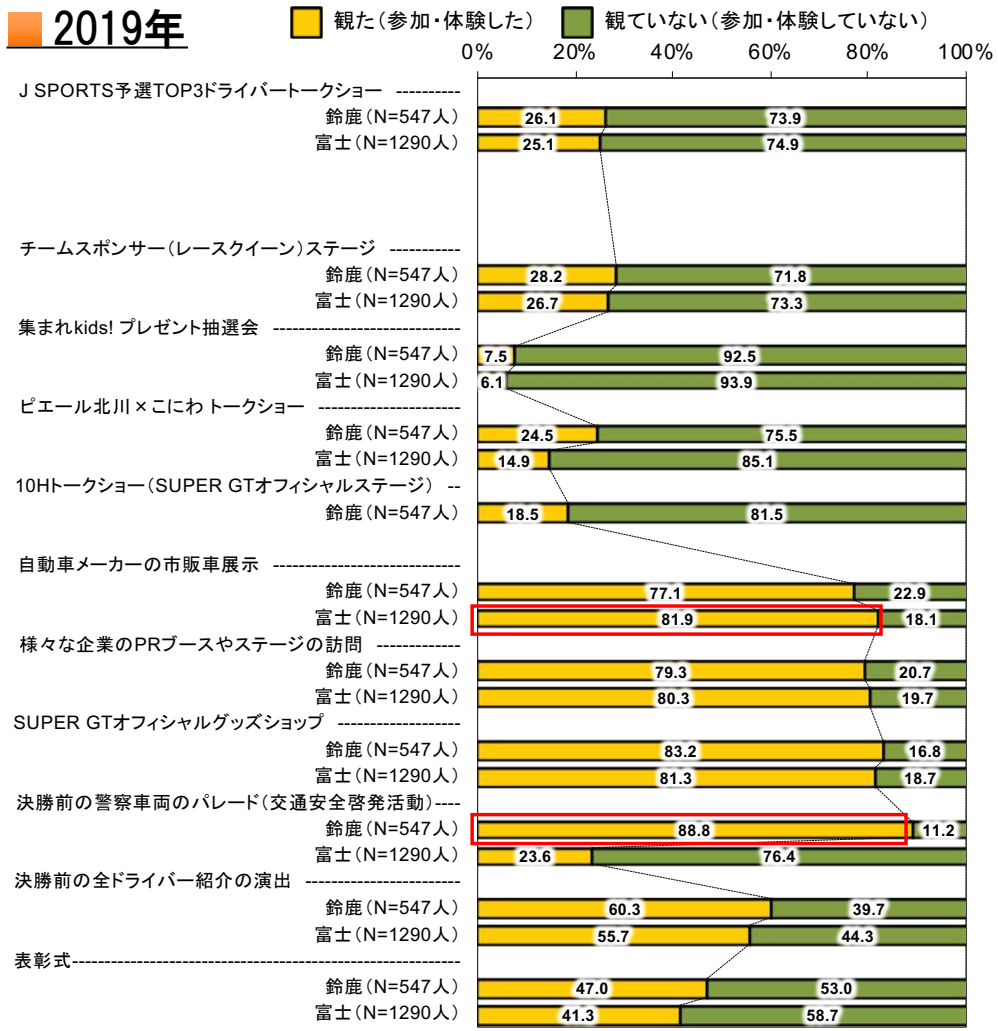
両サーキットにおいて「予選／決勝両日」観戦が半数を上回った。2018年と比べいずれも大きな変化はみられない。

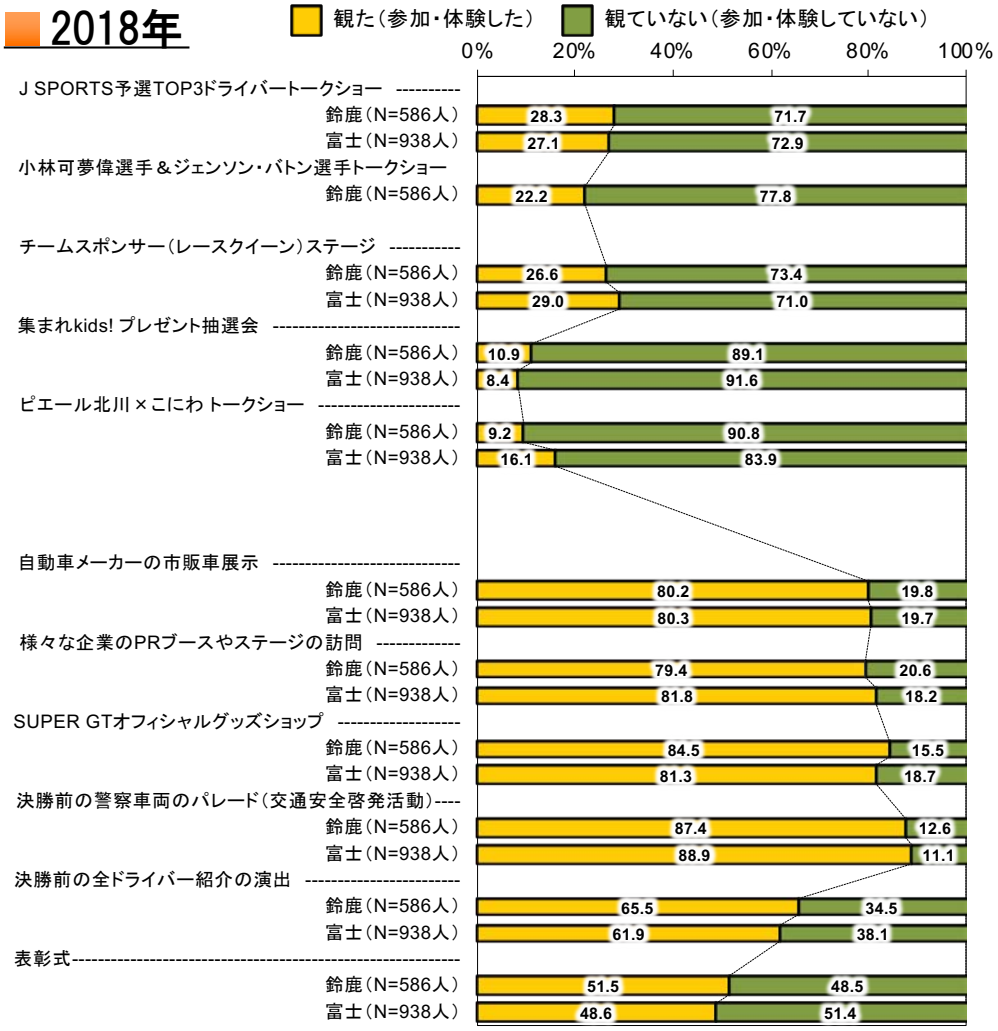




Q-1：⑩今大会で実施（出店）された以下の項目を、あなたは観ましたか（もしくは参加、体験されましたか？） [SA]

2019年の最も「観た（参加・体験した）」が高かったイベントは、『鈴鹿』が「決勝前の警察車両のパレード（交通安全啓発活動）」、
『富士』は「自動車メーカーの市販車展示」となった。

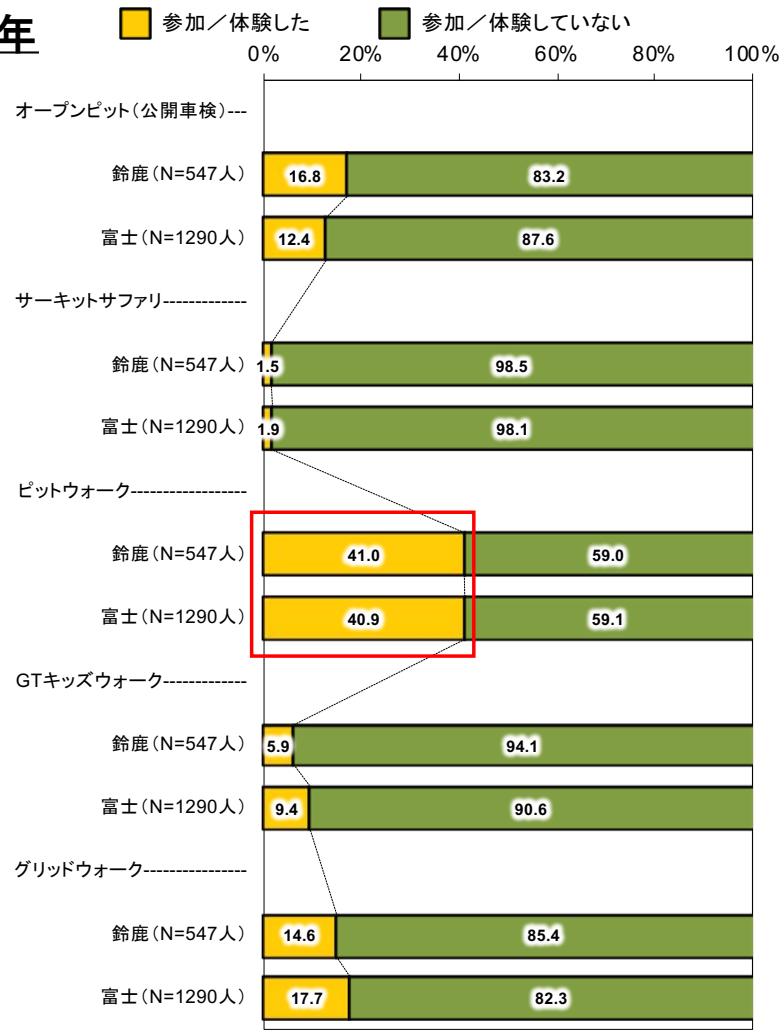




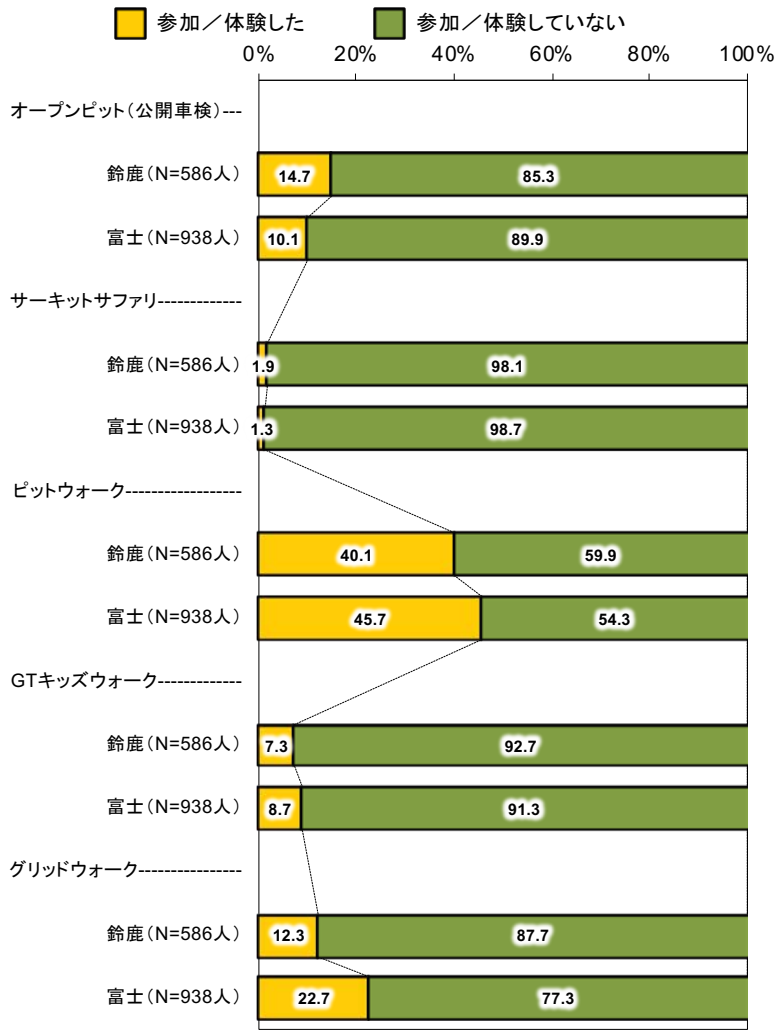
Q-1：⑪今大会で行われた以下のコンテンツを、あなたは参加／体験しましたか？ [SA]

2019年の最も「参加／体験した」が高かったコンテンツは、2018年から引き続き、両サーキットともに「ピットウォーク」となった。

2019年



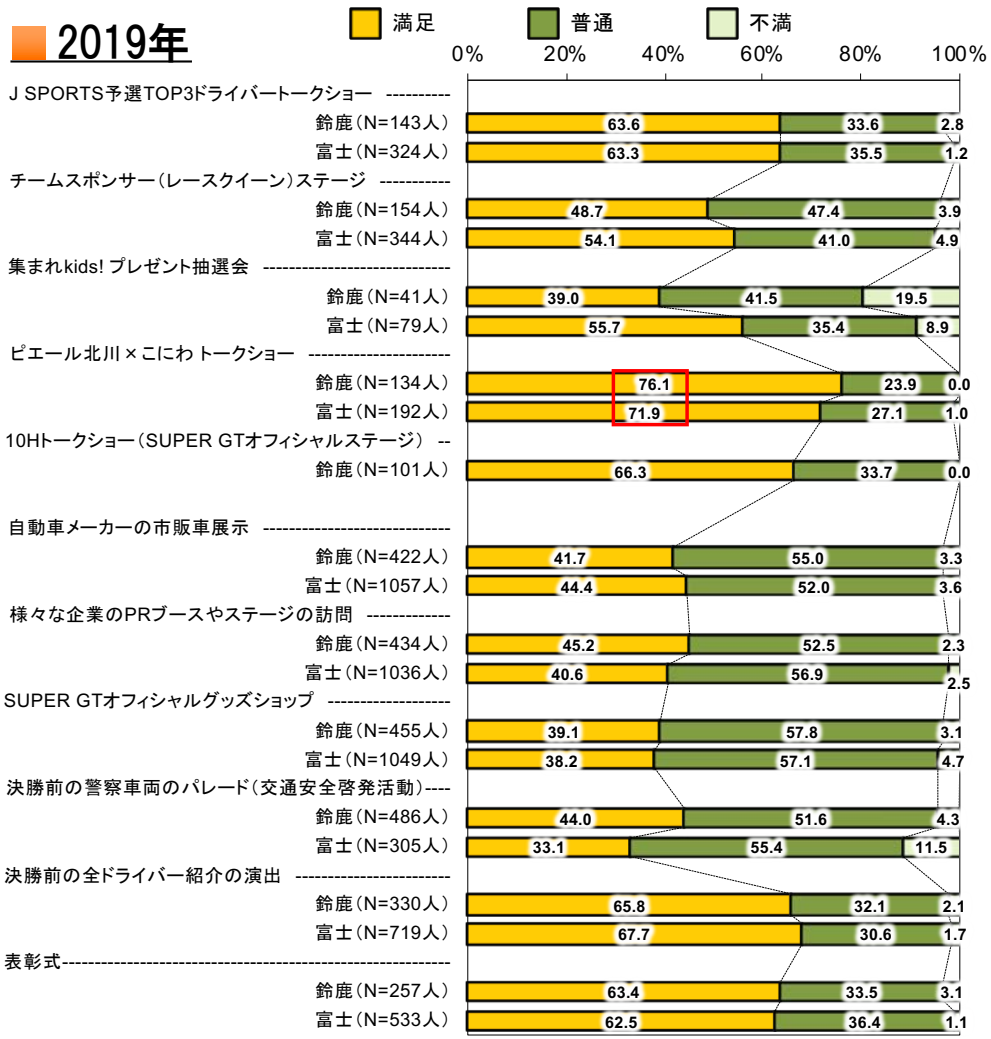
2018年

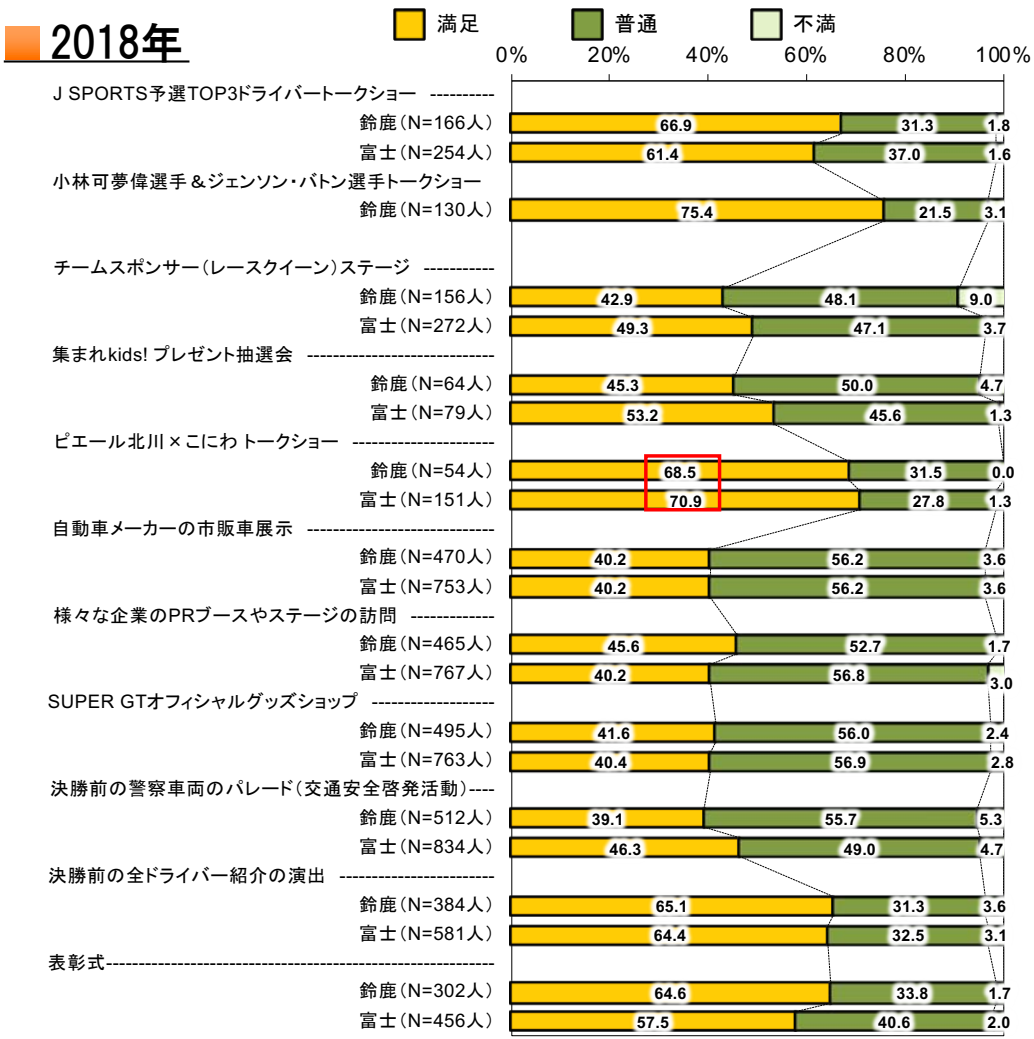


Q-2：①今大会でご覧になった（体験した）各コンテンツを評価してください《利用者ベース》 [SA]

2019年の最も「満足」が特に高かったイベントは、2018年から引き続き、両サーキットともに「ピエール北川×こにわ トークショー」となった。

※2018年と同様の質問のみ表示

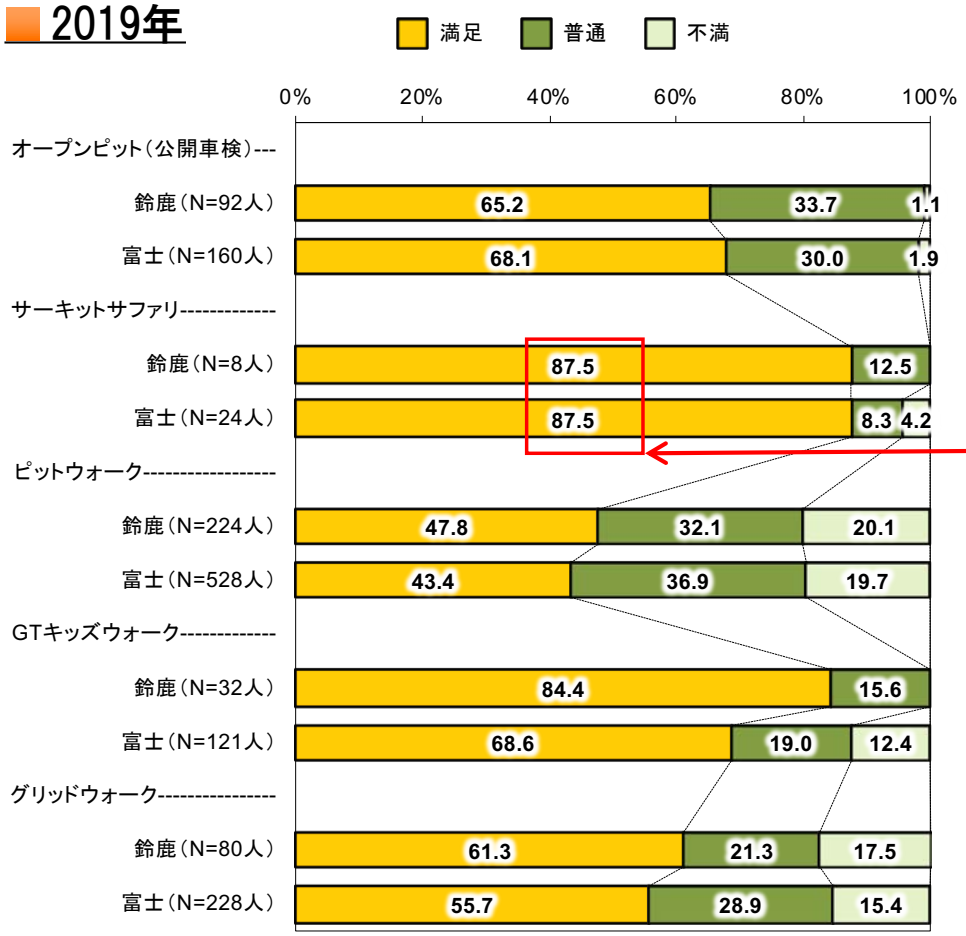




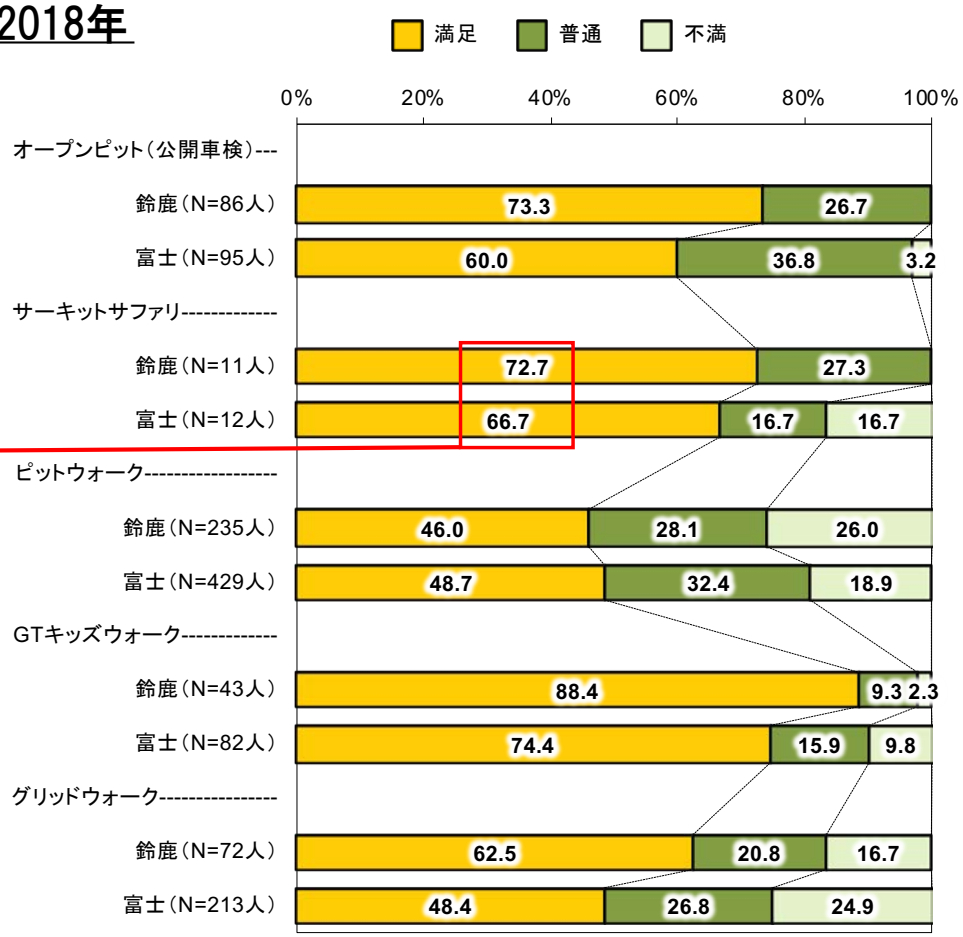
Q-2：②今大会で体験（参加）した各コンテンツを評価してください《利用者ベース》［SA］

2019年で最も「満足」が高かったコンテンツは、『鈴鹿』『富士』ともに「サーキットサファリ」となり、8割半以上を占めた。
2018年で「サーキットサファリ」は7割前後に対して満足度が上昇している。

2019年



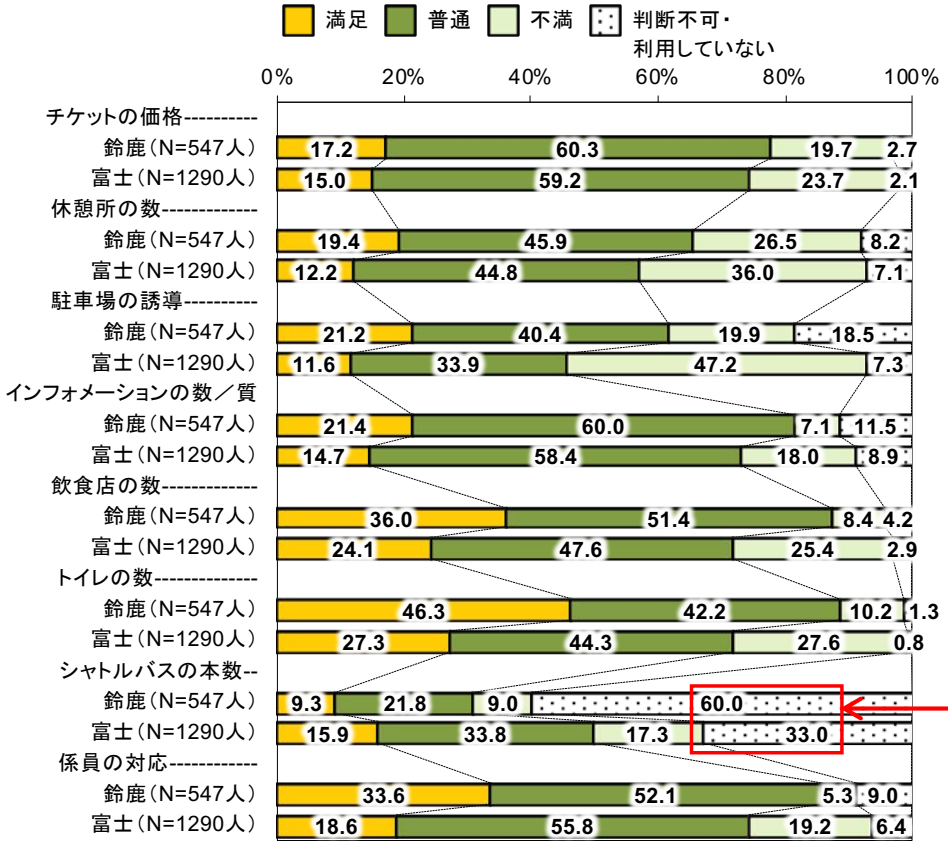
2018年



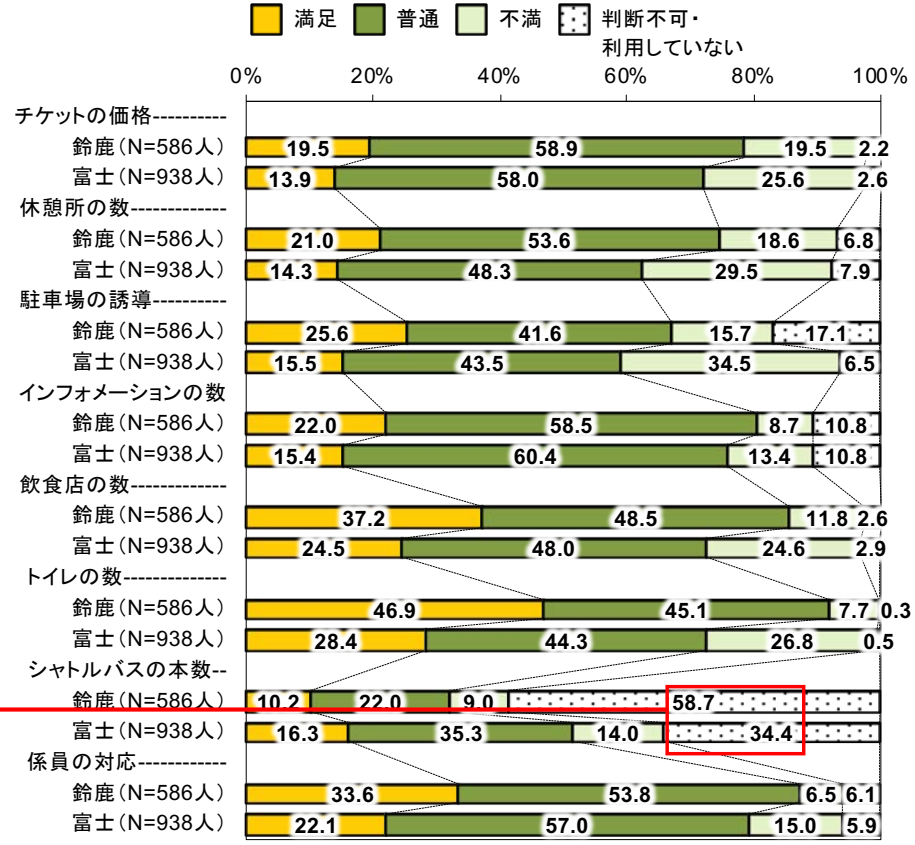
Q-3：開催サーキットのサービスや施設を評価してください ［SA］

2019年の最も「判断できない・利用していない」が高かったサービス・施設は、2018年から引き続き両サーキットともに「シャトルバスの本数」となった。

2019年



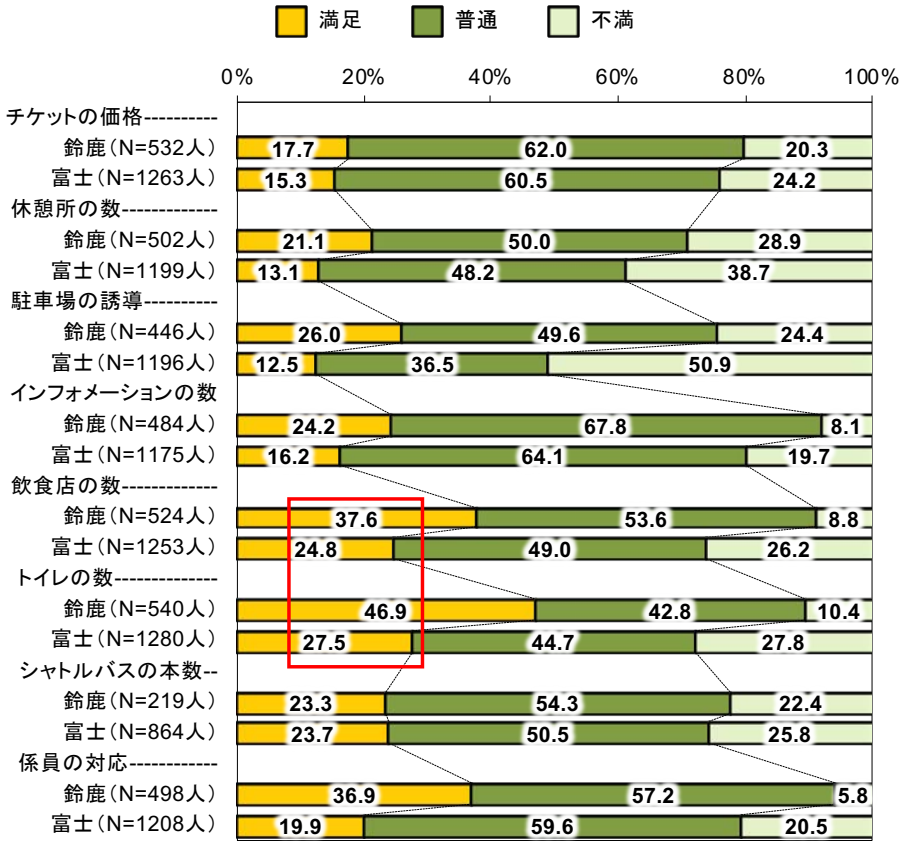
2018年



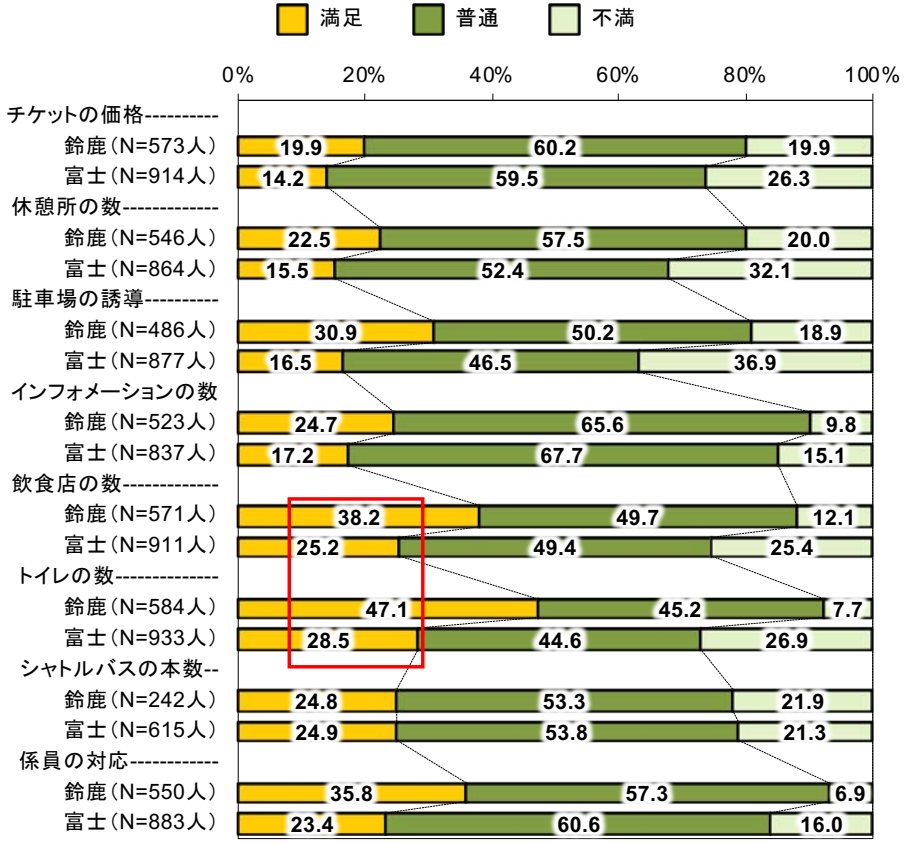
Q-3：開催サーキットのサービスや施設を評価してください《利用者ベース》 [SA]

2019年の最も「満足」が高かったサービス・施設は、2018年に引き続き両サーキットとも「トイレの数」、次いで「飲食店の数」となった。
また「トイレの数」に対する「不満」は『鈴鹿』では1割に対し、『富士』では2割半と他のサービス・施設に比べ高い。

2019年



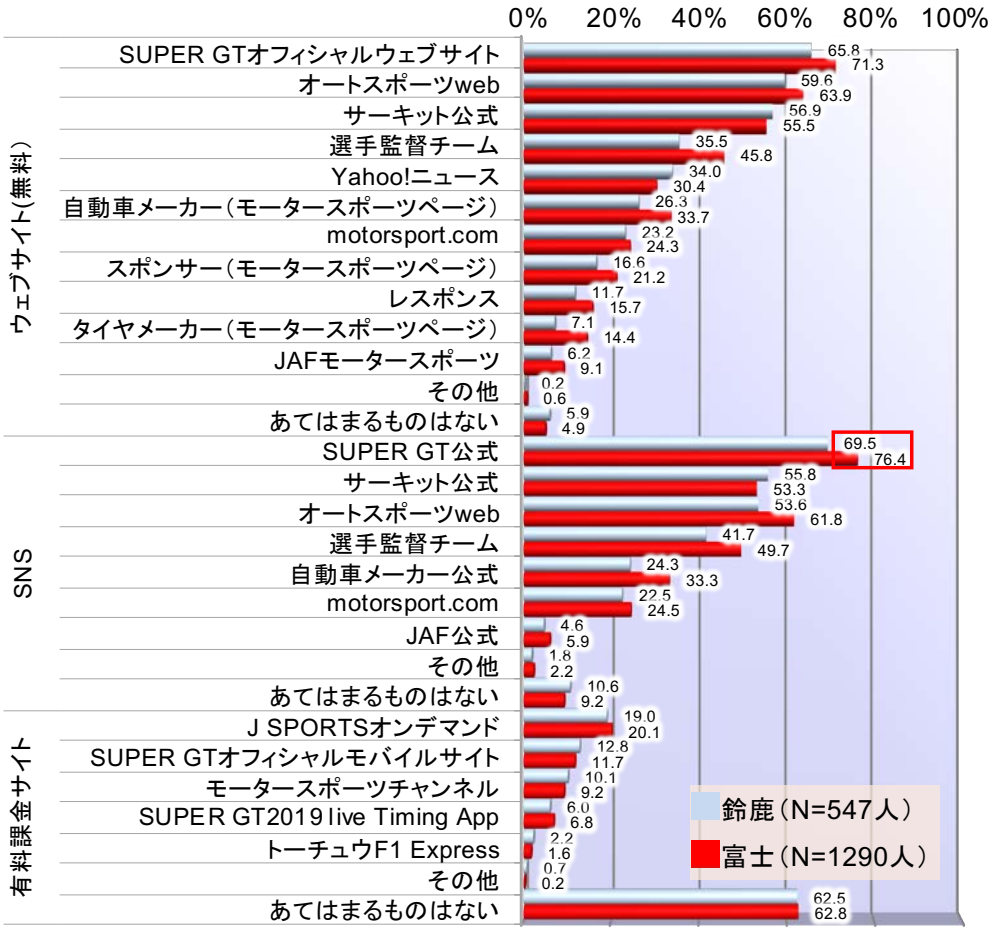
2018年



Q-4:SUPER GT の情報入手媒体種類 [MA] 1/2

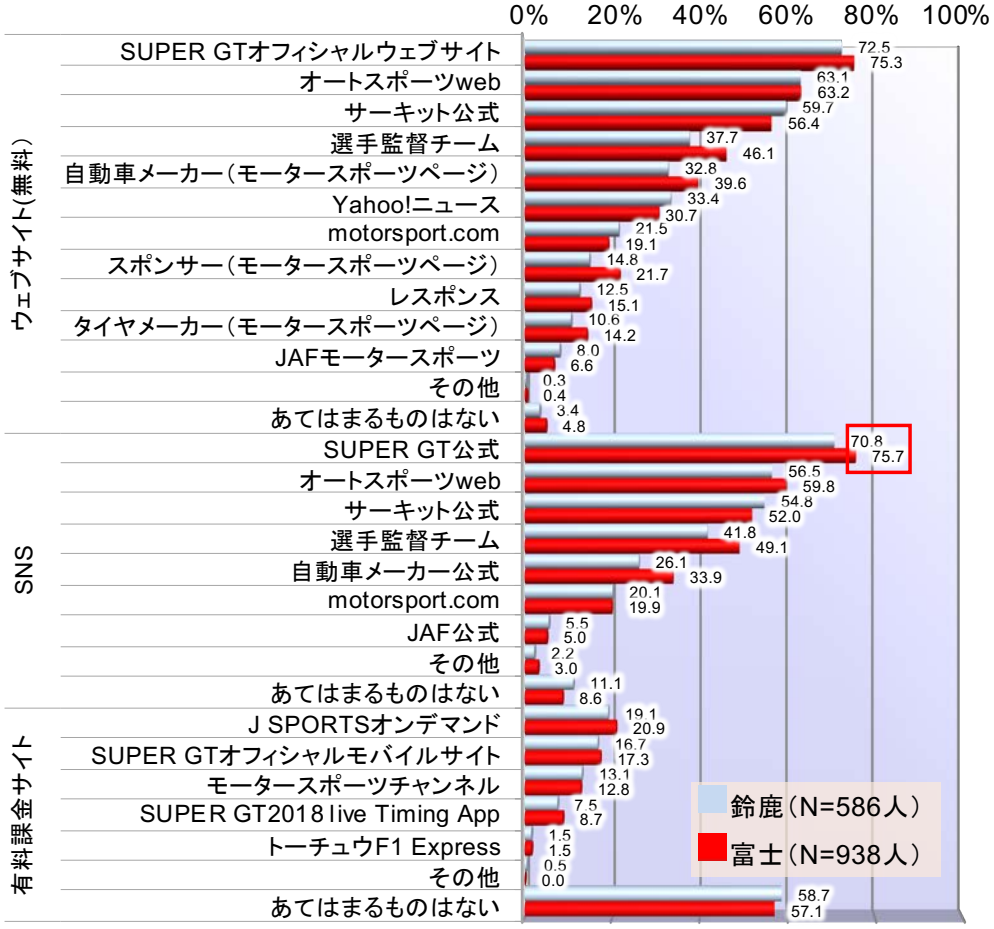
2019年の認知経路は、両サーキット共「【SNS】SUPER GT公式」が7割程度で最も高い。
2015年以降から【ウェブサイト(無料)】【SNS】の各項目が増加が目立ち、インターネットからの認知が拡大していると考えられる。

2019年



※ 鈴鹿・富士の比率合計の高い順

2018年

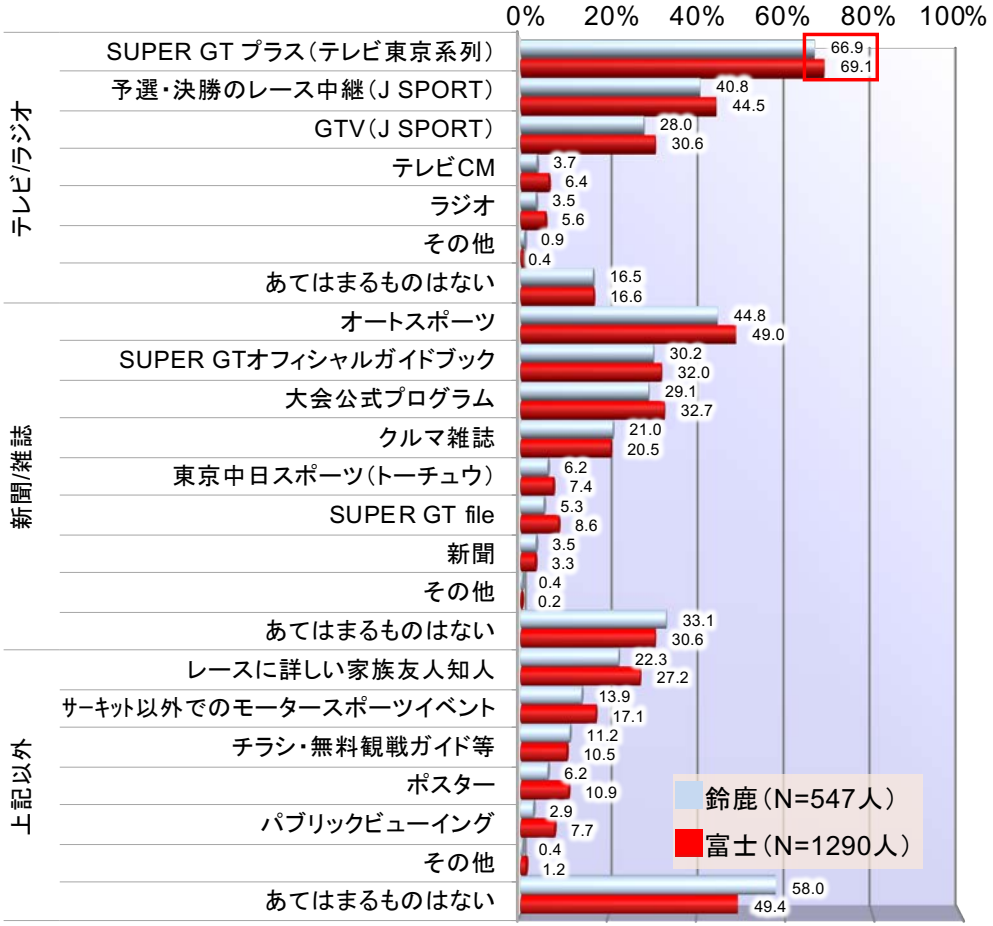


※ 鈴鹿・富士の比率合計の高い順

Q-4:SUPER GT の情報入手媒体種類 [MA] 2/2

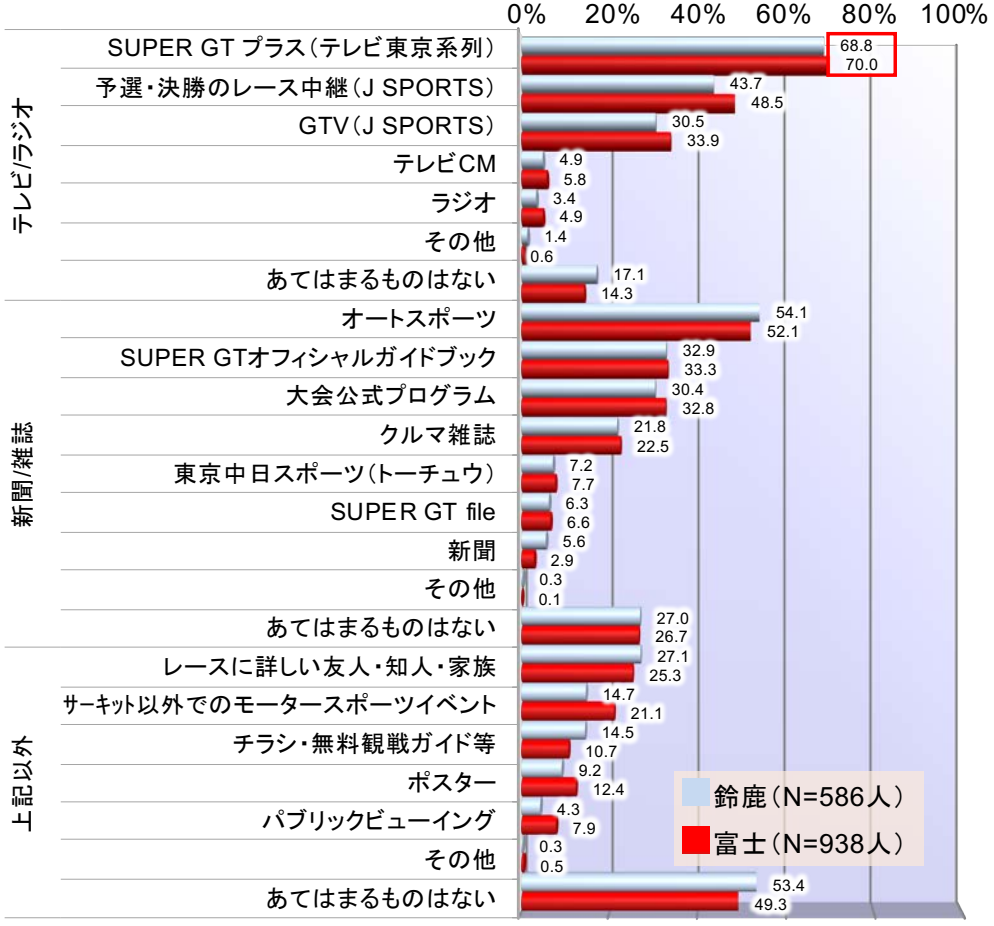
2019年で3番目に高い認知経路は両サーキットともに「【テレビ/ラジオ】SUPER GT プラス(テレビ東京系列)」で、2018年から引き続き7割程度となった。

2019年



※ 鈴鹿・富士の比率合計の高い順

2018年

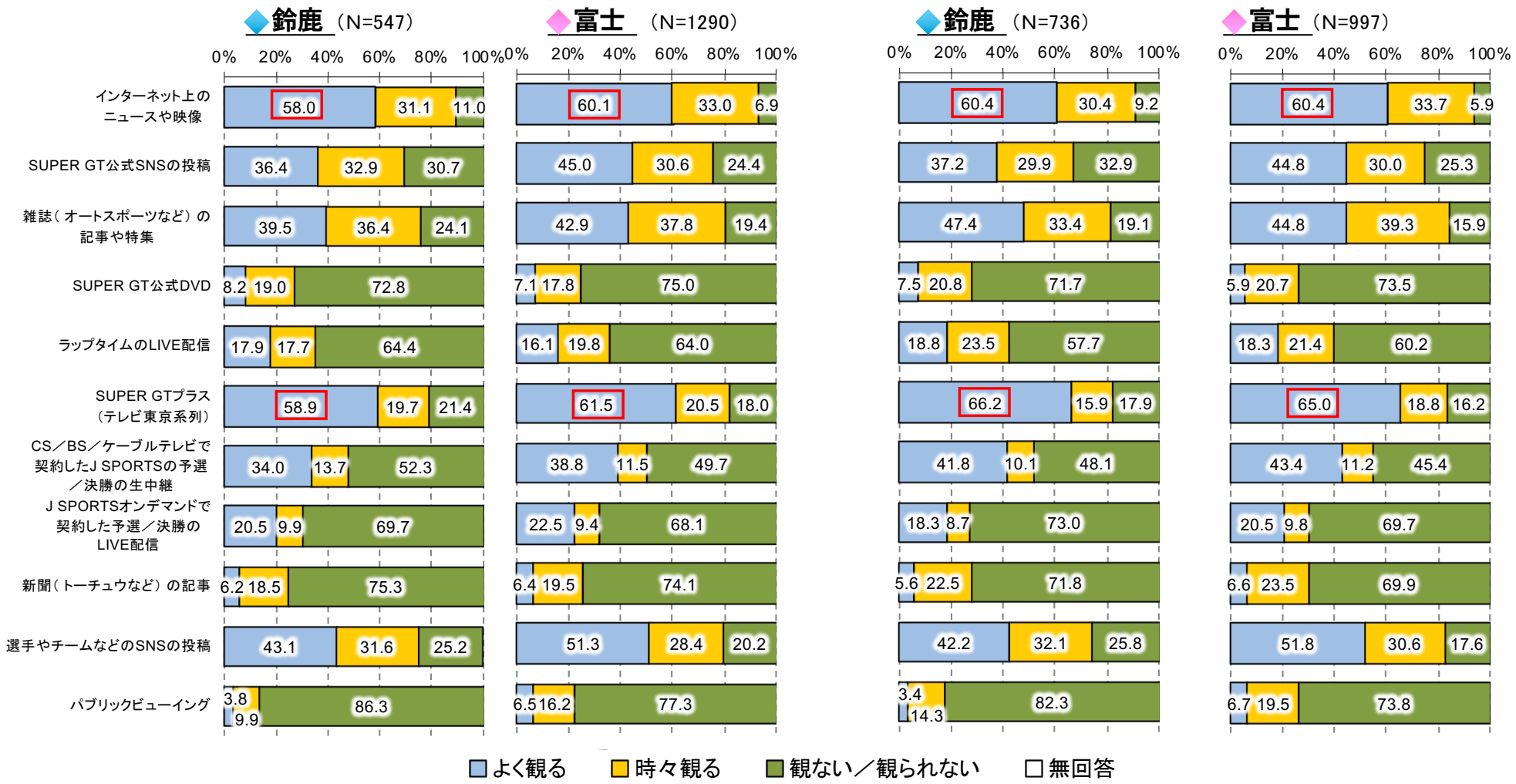


※ 鈴鹿・富士の比率合計の高い順

Q-5:コンテンツ別視聴頻度 [SA]

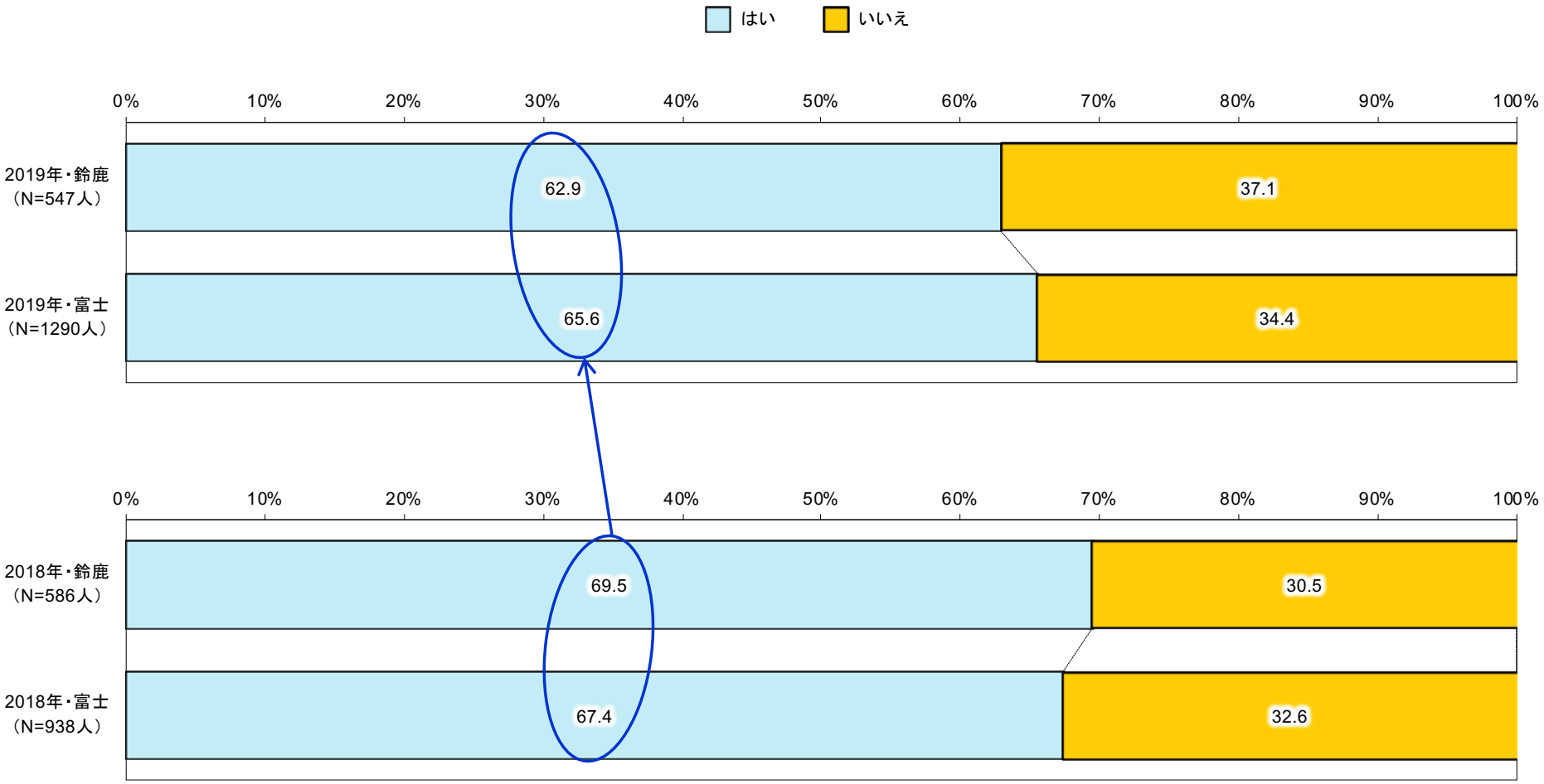
2019年で「インターネット上のニュースや映像」「SUPER GT プラス」の「よく観る」は両サーキットともに2018年から引き続き半数以上となった。

※2018年と同様の質問のみ表示



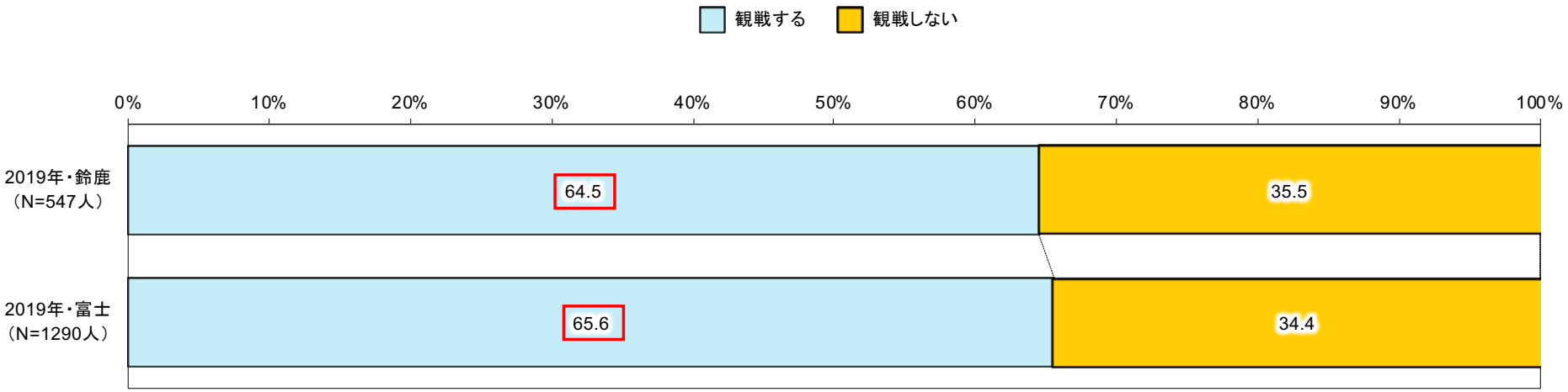
Q-6:スポンサー企業商品の購入有無 [SA]

2018年から2019年の購入経験者の比率は『鈴鹿』は6.6ポイント減。『富士』で1.8ポイント減。



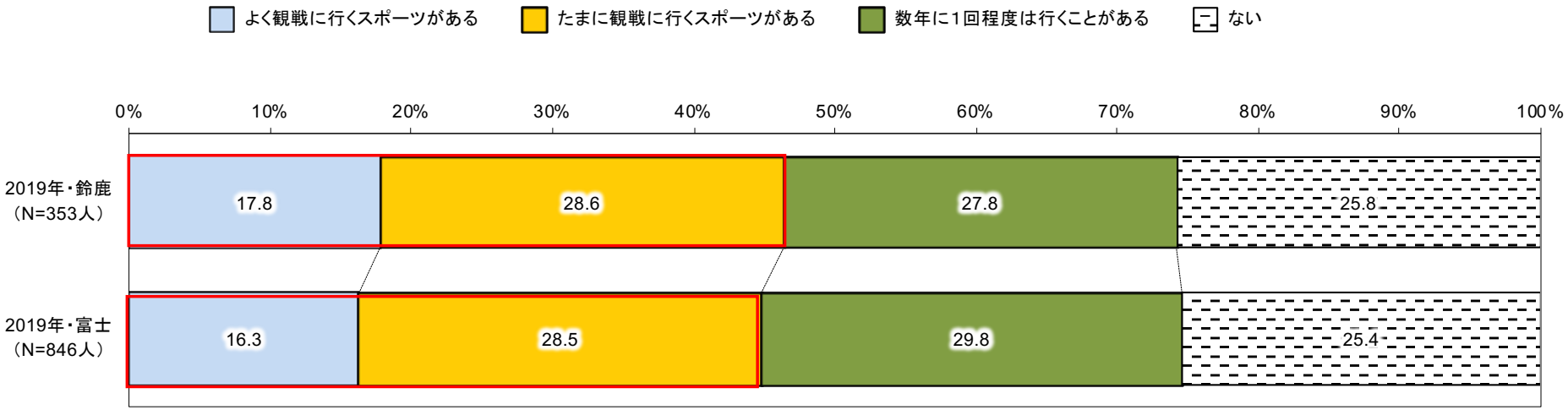
Q-7:①モータースポーツ以外のスポーツ観戦の有無(テレビ／インターネット観戦を含む) [SA]

モータースポーツ以外のスポーツ観戦の有無の比率は『鈴鹿』で64.5%、『富士』で65.6%。



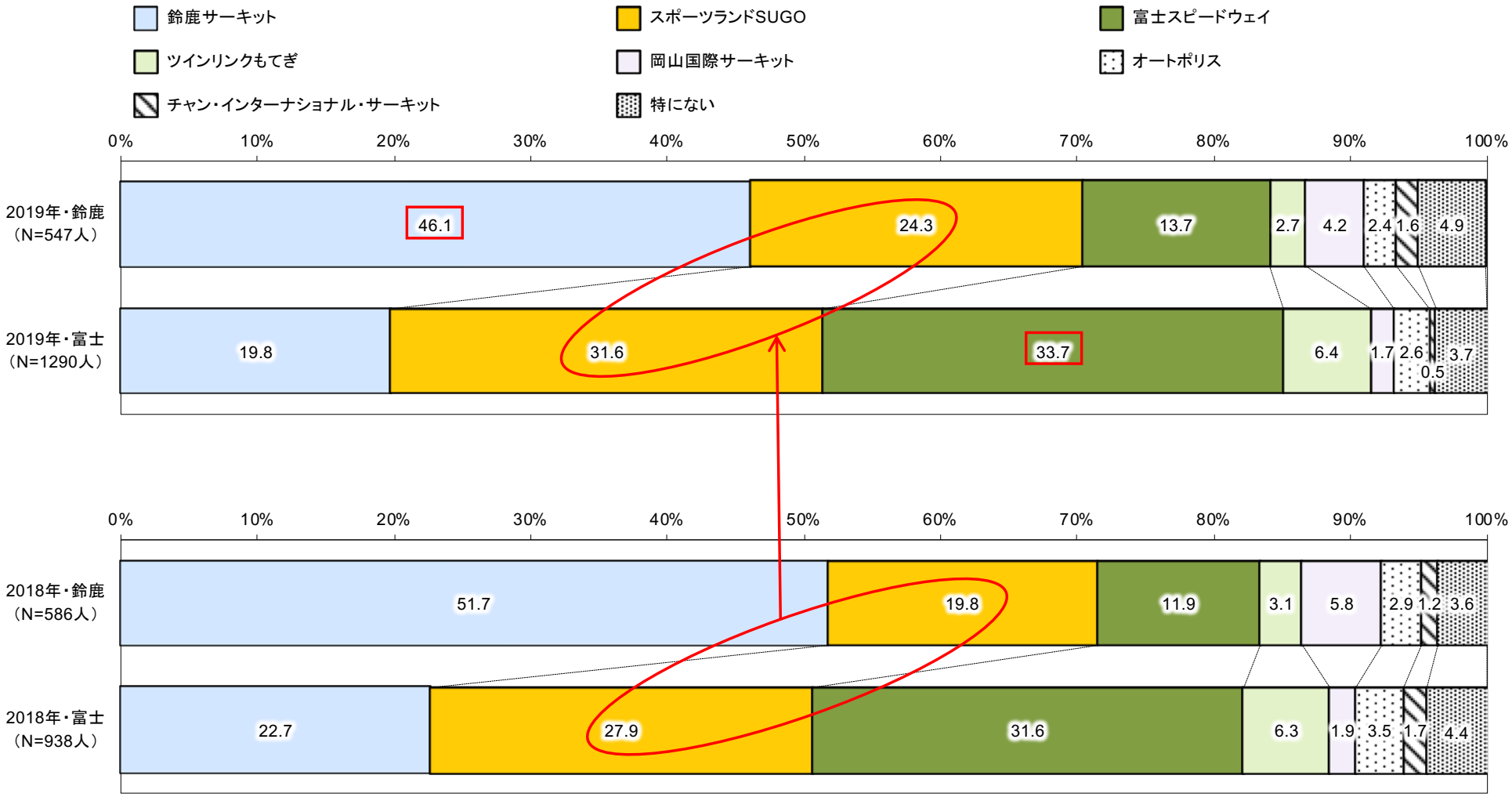
Q-7:②実際に会場に行って観戦するスポーツはありますか？ [SA]

会場での観戦経験者の比率は『鈴鹿』で46.4%、『富士』で44.8%となった。



Q-8：レース展開が面白い（面白くなる）と思うレーストラック ［SA］

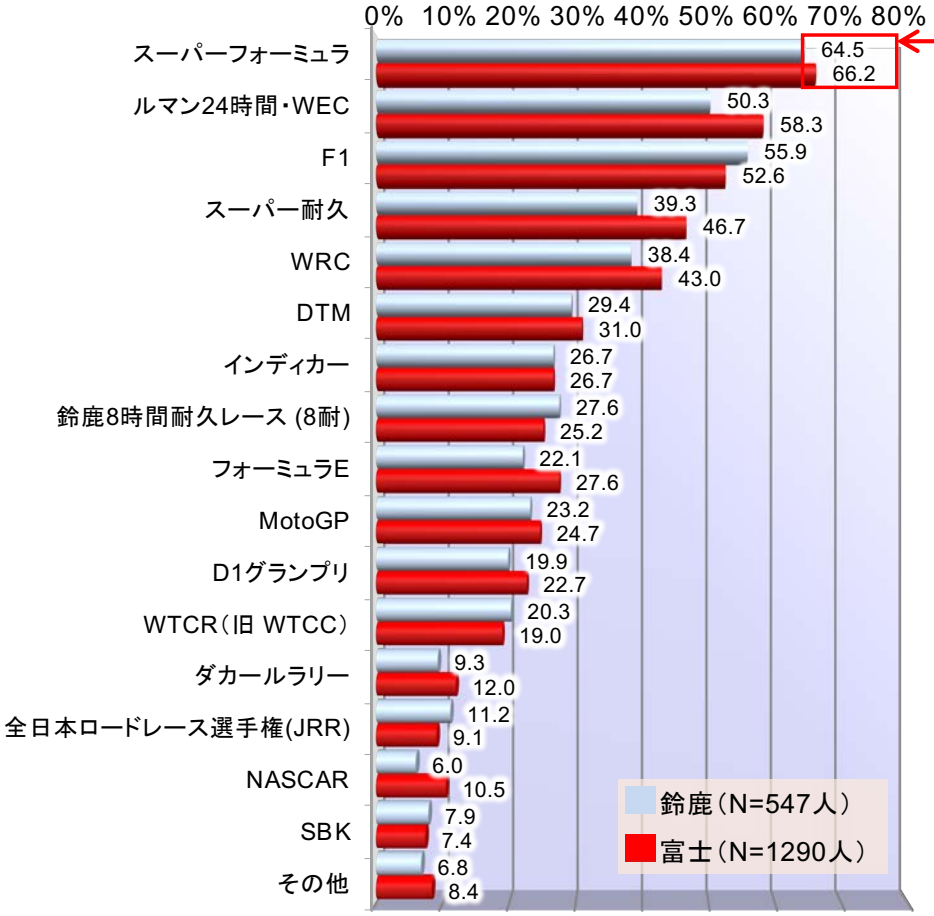
2019年をみると、『鈴鹿』は「鈴鹿サーキット」が最も高く46.1%、『富士』は「富士スピードウェイ」が最も高く33.7%となっている。
2018年と比べ、『鈴鹿』『富士』ともに「スポーツランドSUGO」の割合が増加した。



Q-9:SUPER GT以外に興味のあるレースカテゴリ [MA]

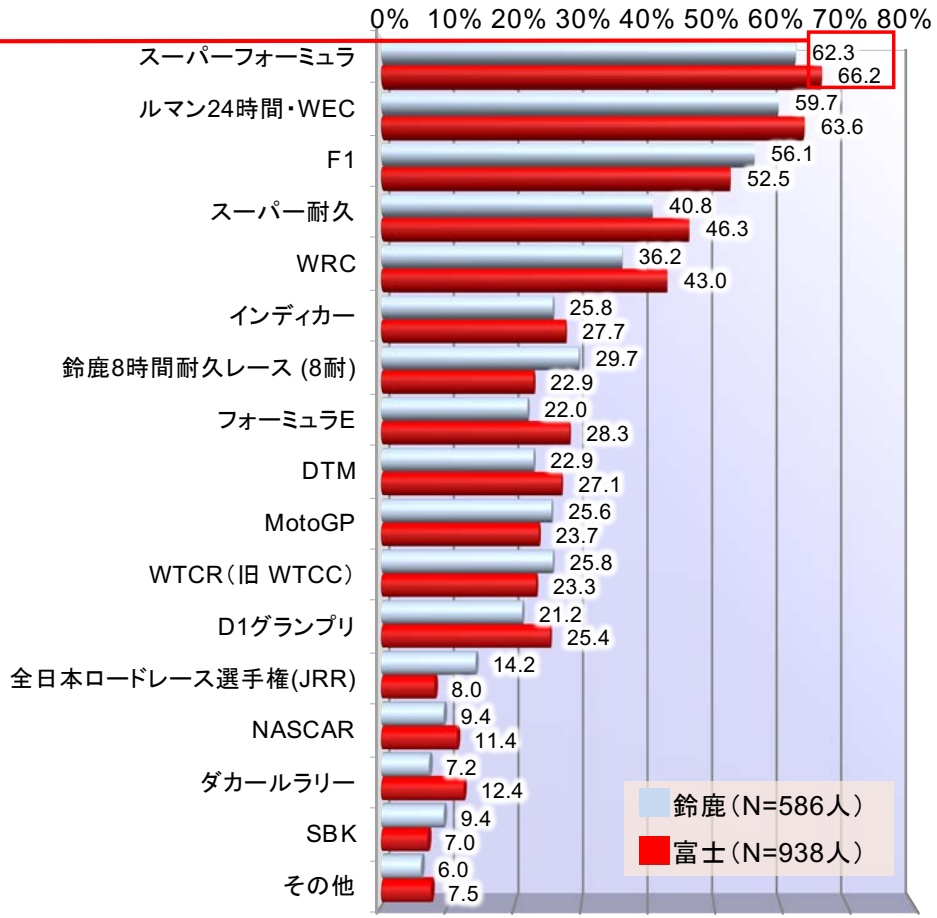
2019年は2018年から引き続き両サーキットとも「スーパーフォーミュラ」が6割以上で最も高い。

2019年



※ 鈴鹿・富士の比率合計の高い順

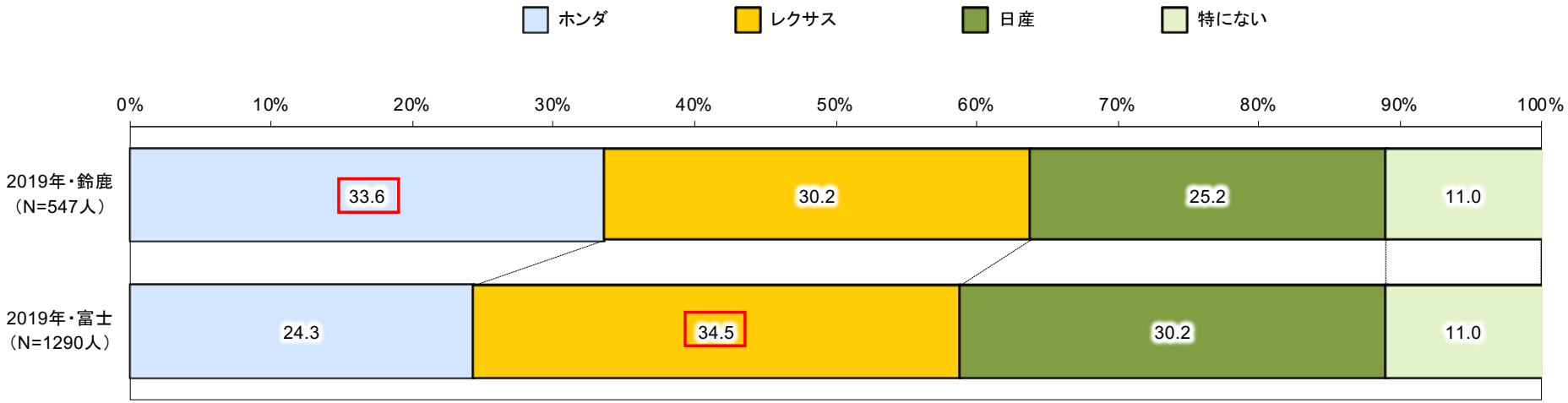
2018年

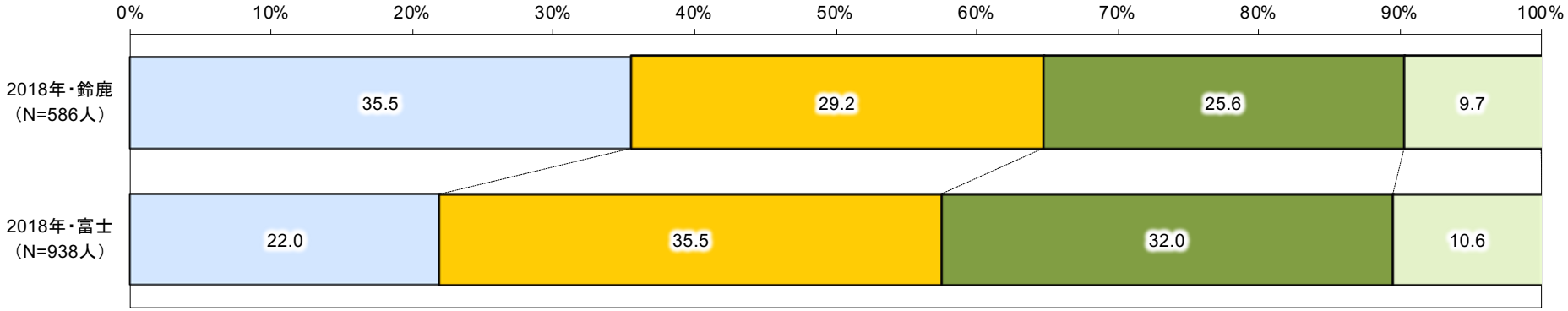


※ 2018年順

Q-10:①応援している自動車メーカー(GT500) [SA]

2019年をみると、『鈴鹿』は「ホンダ」が最も高く、『富士』は「レクサス」が最も高い。2018年と比べ、両サーキットとも大きな変化は見られない。

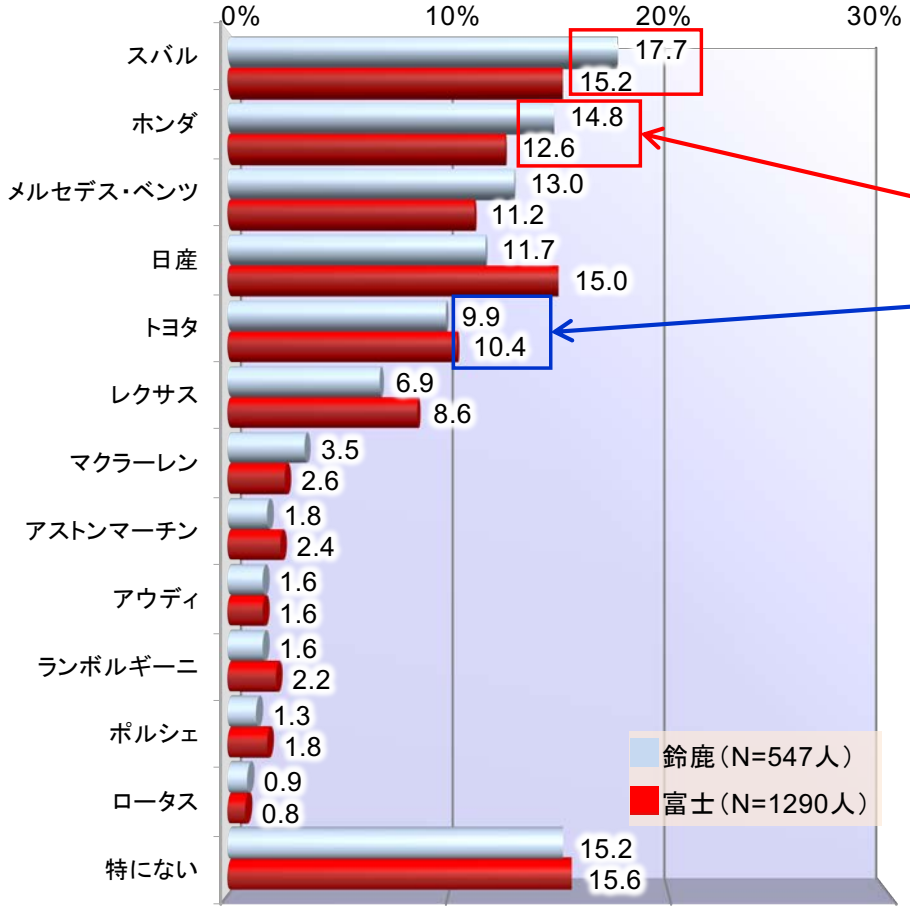




Q-10:②応援している自動車メーカー(GT300) [SA]

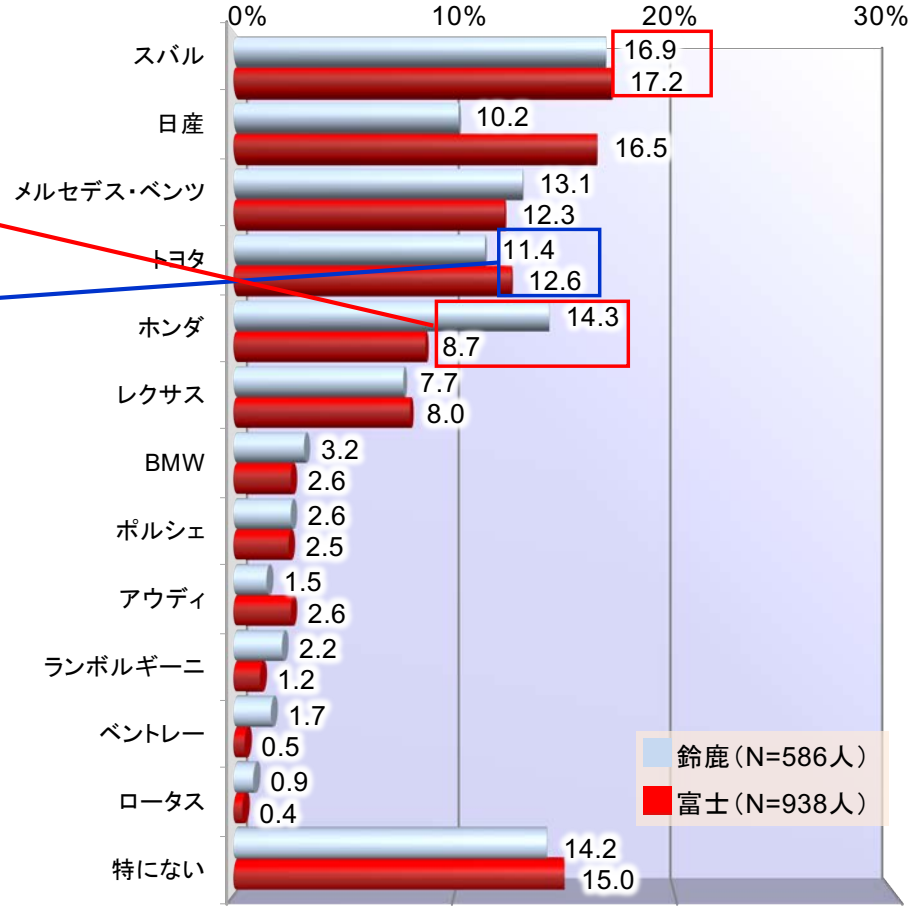
2019年は2018年から引き続き両サーキットとも「スバル」が最も高い。2018年と比べ、「トヨタ」は両サーキットで減少、対し『ホンダ』は増加した。

2019年



※ 鈴鹿・富士の比率合計の高い順

2018年

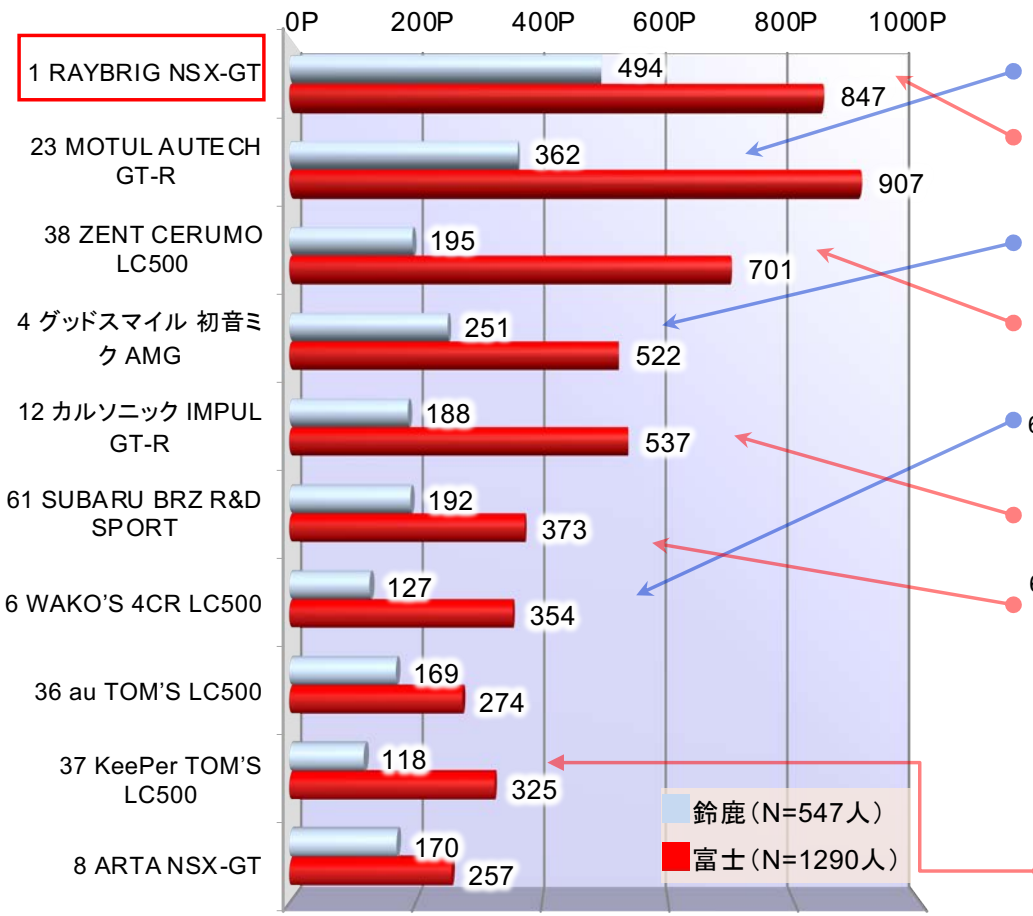


※ 鈴鹿・富士の比率合計の高い順

Q-10:③応援しているマシン [MA]

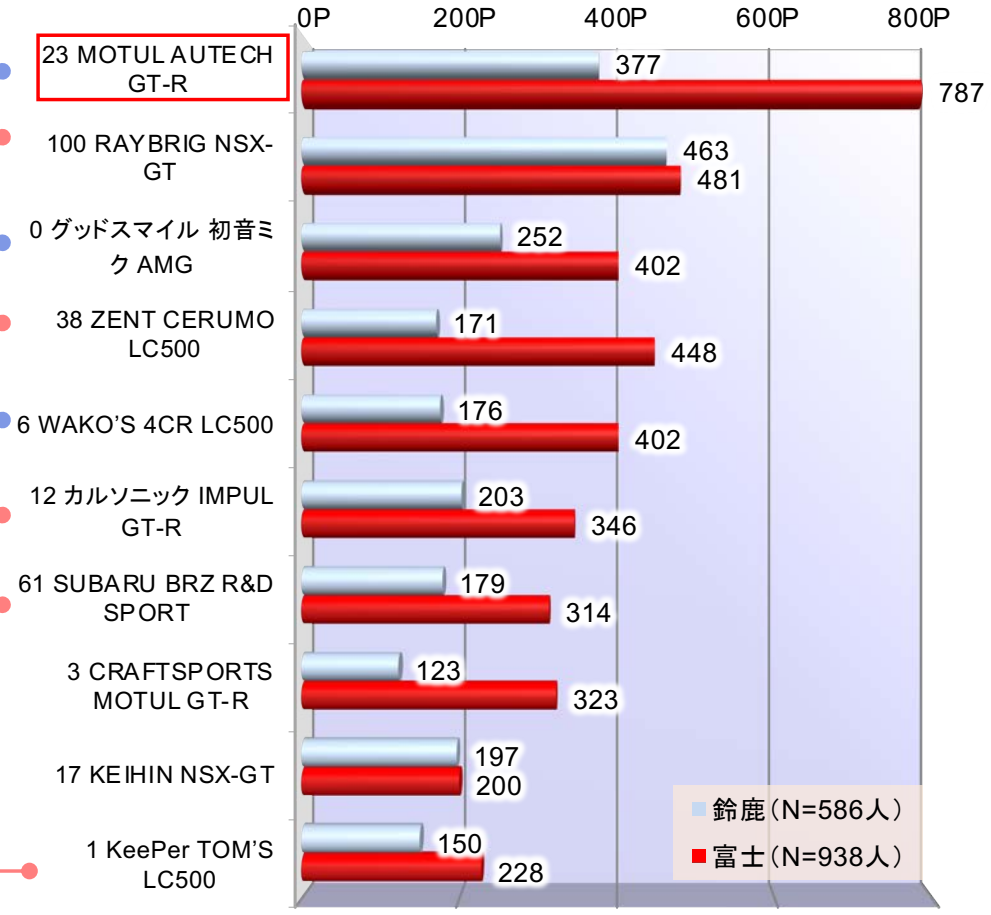
「1 RAYBRIG NSX-GT」が2019年で1位となった。各チームの順位は2位以降も変動している。

2019年(上位10チーム)



※ 1位:3ポイント 2位:2ポイント 3位1ポイントで換算し、鈴鹿・富士のポイント合計の高い順

2018年(上位10チーム)

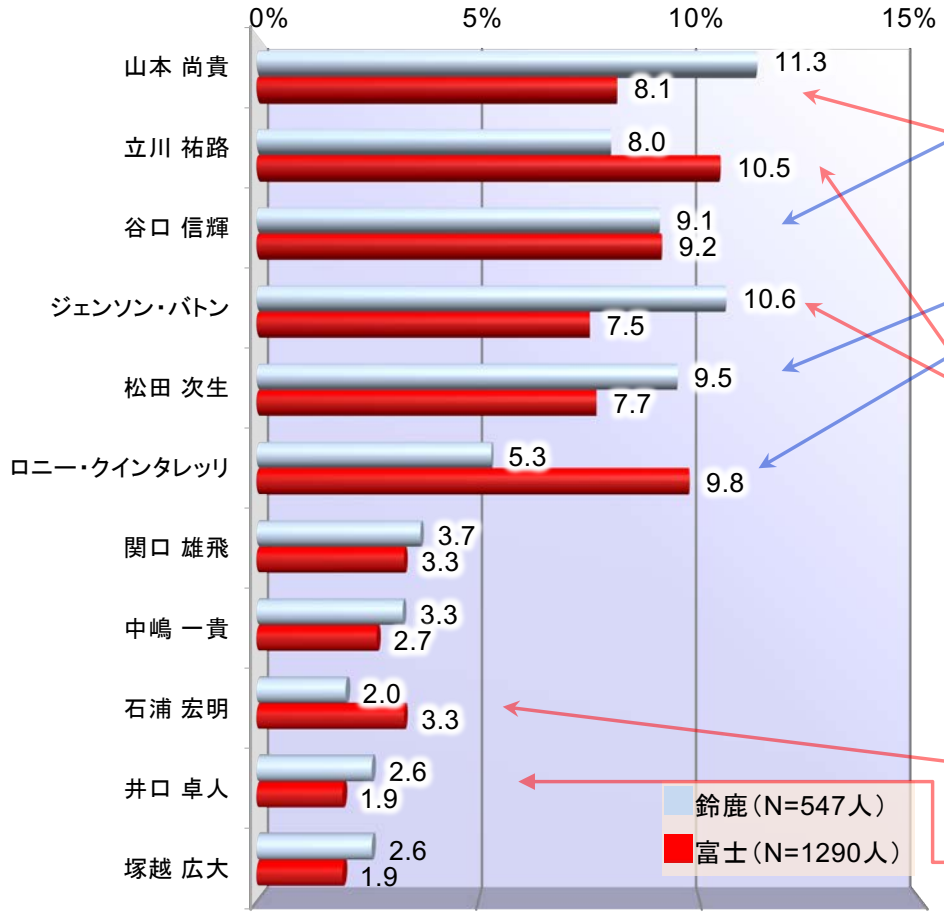


※ 1位:3ポイント 2位:2ポイント 3位1ポイントで換算し、鈴鹿・富士のポイント合計の高い順

Q-10:④好きな選手 [FA上位10位]

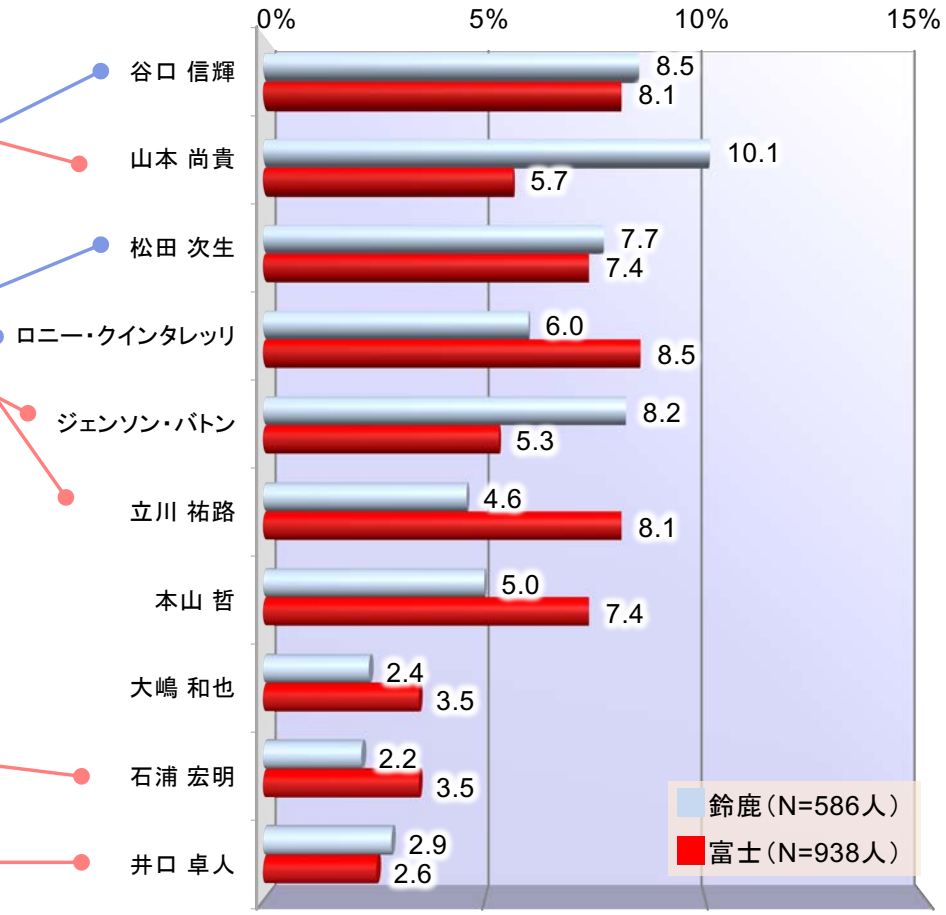
「山本 尚貴」が2019年で1位となった。『鈴鹿』の支持率が最も高い。2位の「立川 祐路」は『富士』来場者からの支持率が高い。
1位も含め入れ替わりが激しく、支持する割合は毎年大きく異なる。

2019年(上位10ドライバー)10位タイあり



※ 鈴鹿・富士の比率合計の高い順

2018年(上位10ドライバー)

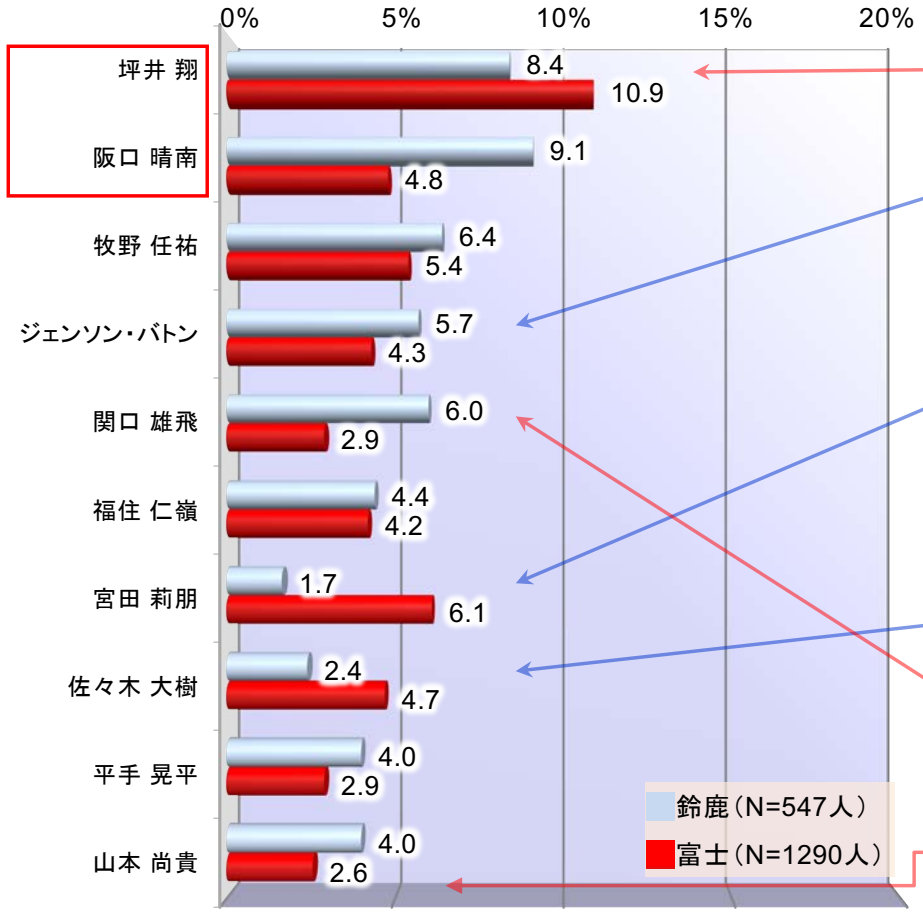


※ 鈴鹿・富士の比率合計の高い順

Q-10:⑤今後の活躍を期待している選手 [FA上位10位]

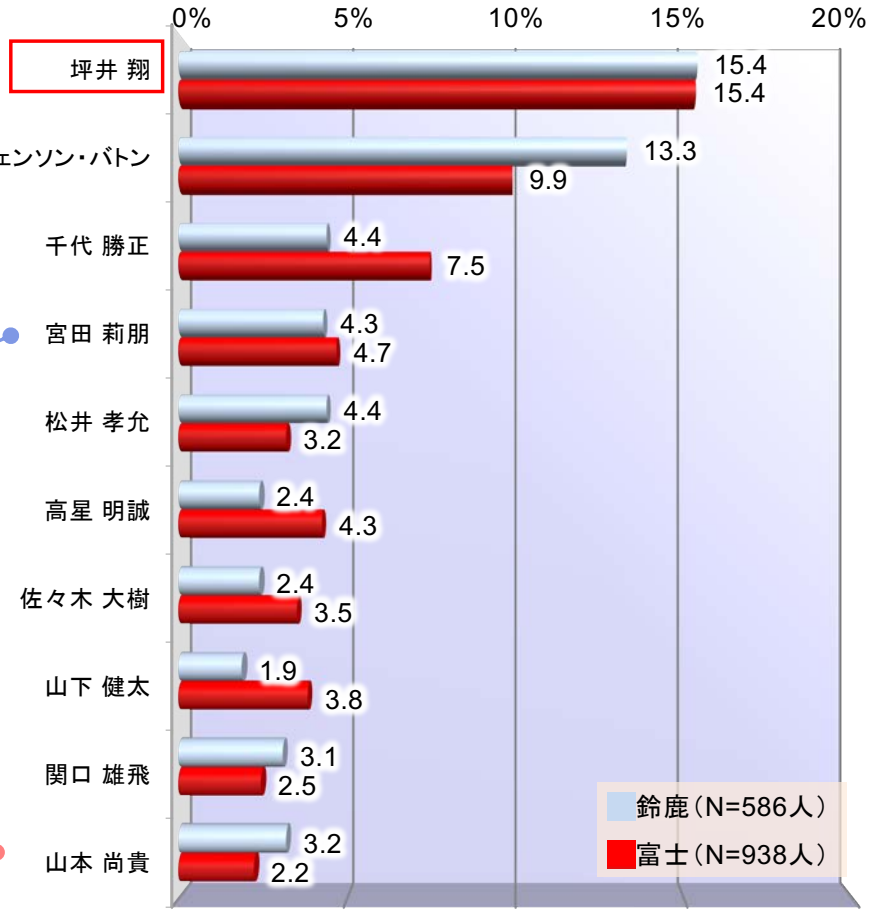
2019年は2018年から引き続き「坪井 翔」が1位となった。両サーキット来場者から高い支持を得ている。2位は「阪口 晴南」で『鈴鹿』からの支持が高い。
好きなドライバー上位陣はほぼランクインせず、好きなドライバーとは違った観点を持っていると伺える。

2019年(上位10ドライバー)



※ 鈴鹿・富士の比率合計の高い順

2018年(上位10ドライバー)

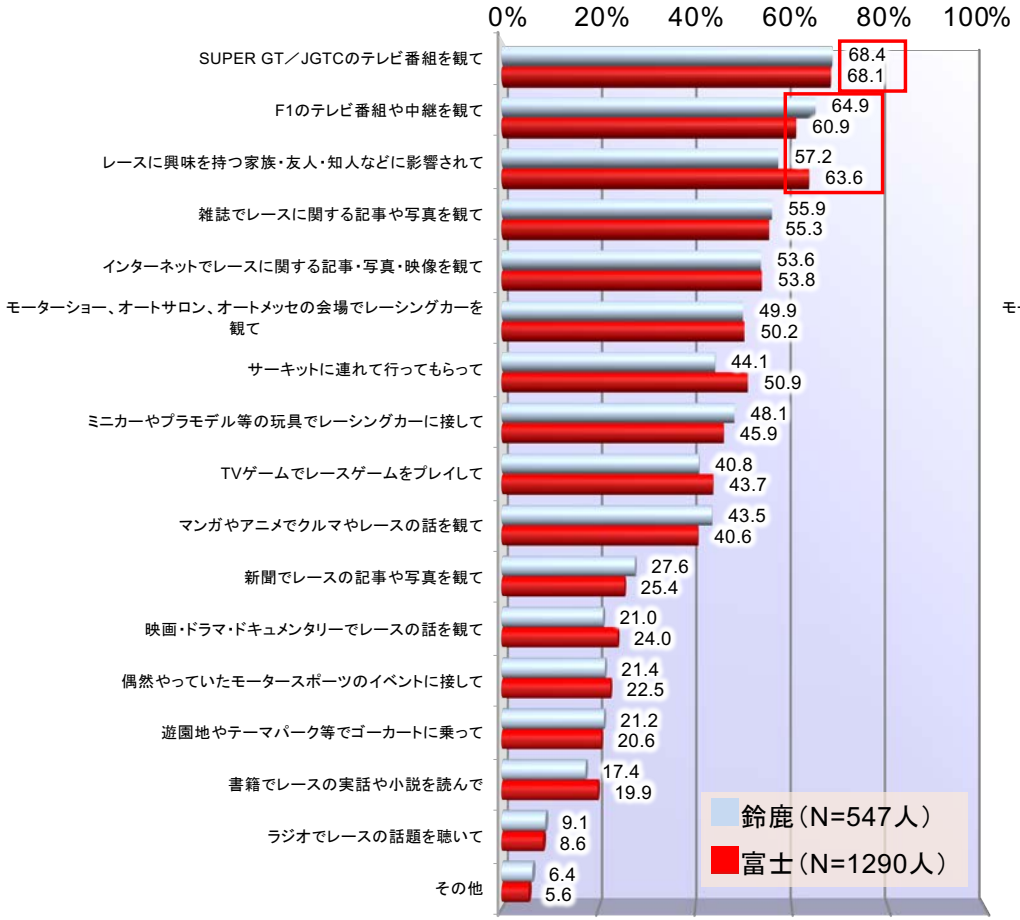


※ 鈴鹿・富士の比率合計の高い順

Q-11：興味を持った「きっかけ」［MA］

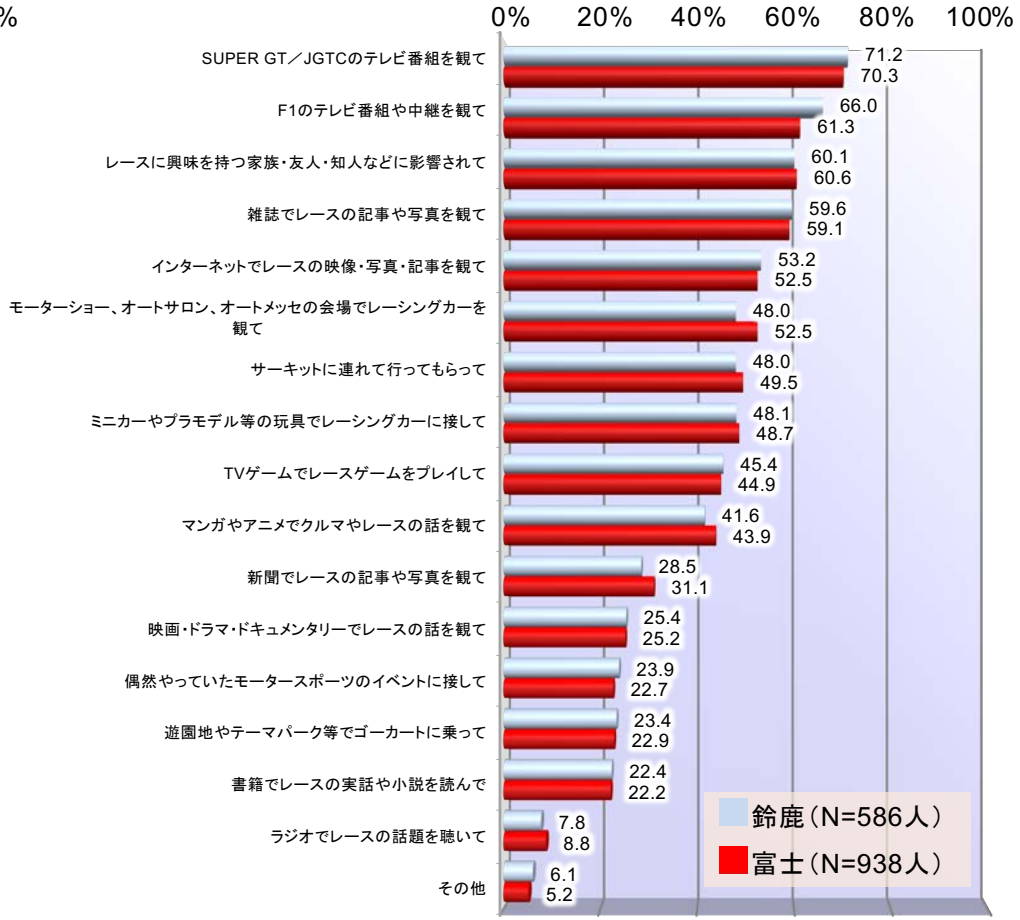
両サーキットとも「SUPER GT／JGTCのテレビ番組を観て」が7割程度で最も高い。次いで「F1のテレビ番組や中継を観て」、「レースに興味を持つ家族・友人・知人などに影響されて」が6割程度となり、2018年から大きな変化は見られない。

2019年



※ 鈴鹿・富士の比率合計の高い順

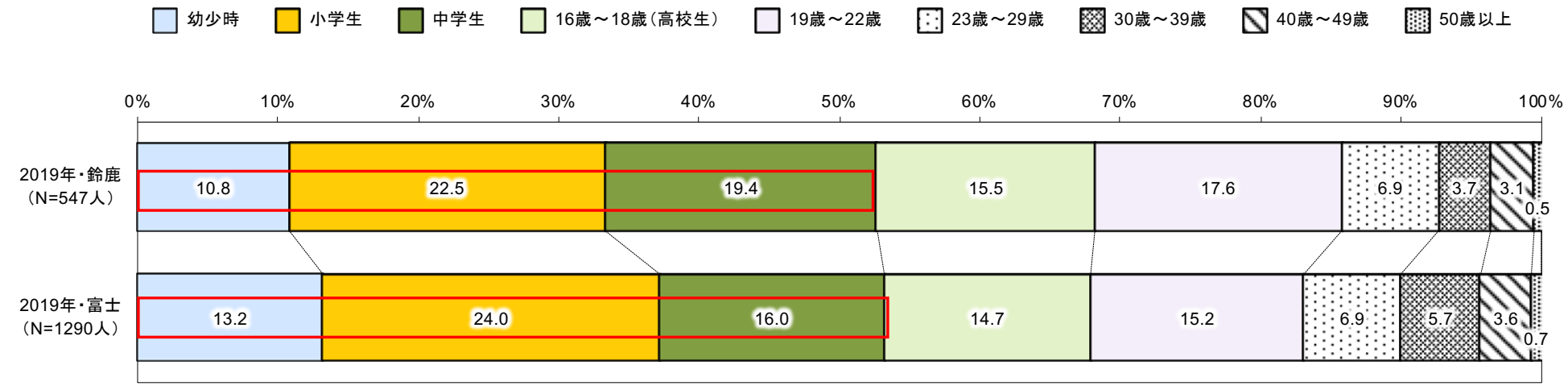
2018年

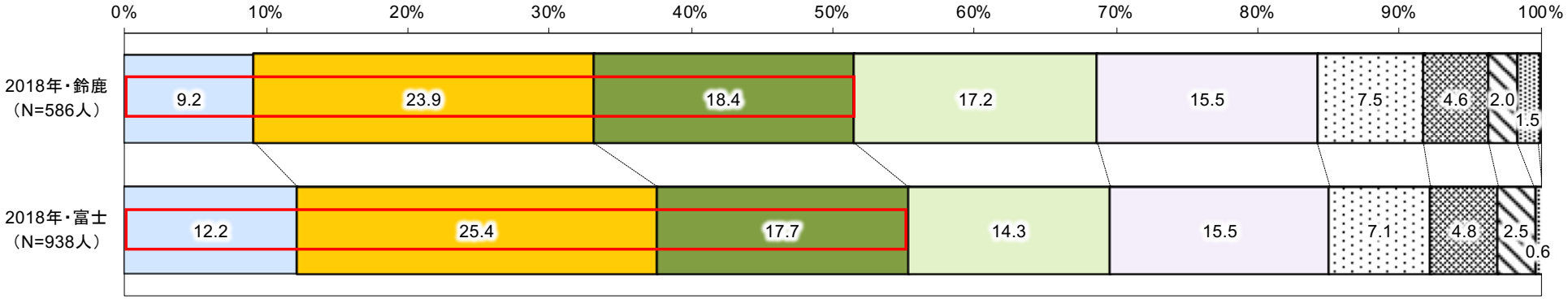


※ 鈴鹿・富士の比率合計の高い順

Q-12：モータースポーツに興味を持ち始めた年齢 ［SA］

2019年は両サーキットとも「小学生」が2割半程度で最も高い。次いで「中学生」が2割と続く。
2018年に引き続き、来場者の半数が『中学生』までに興味を示している。

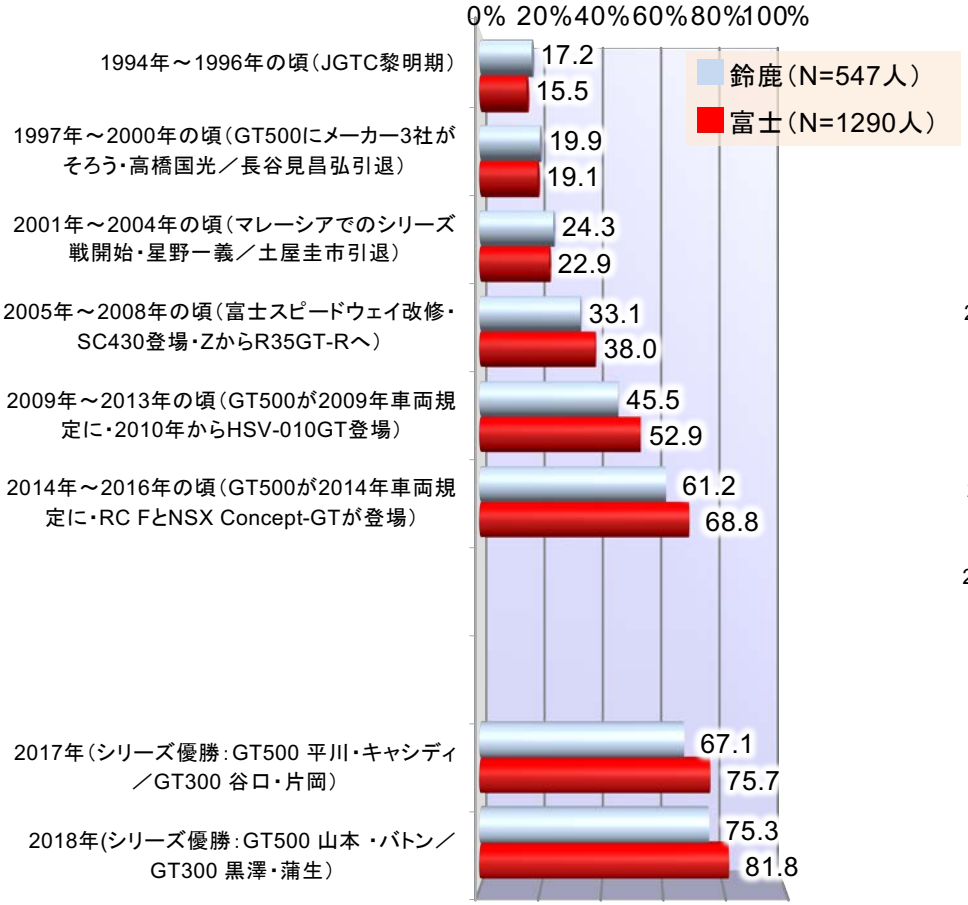




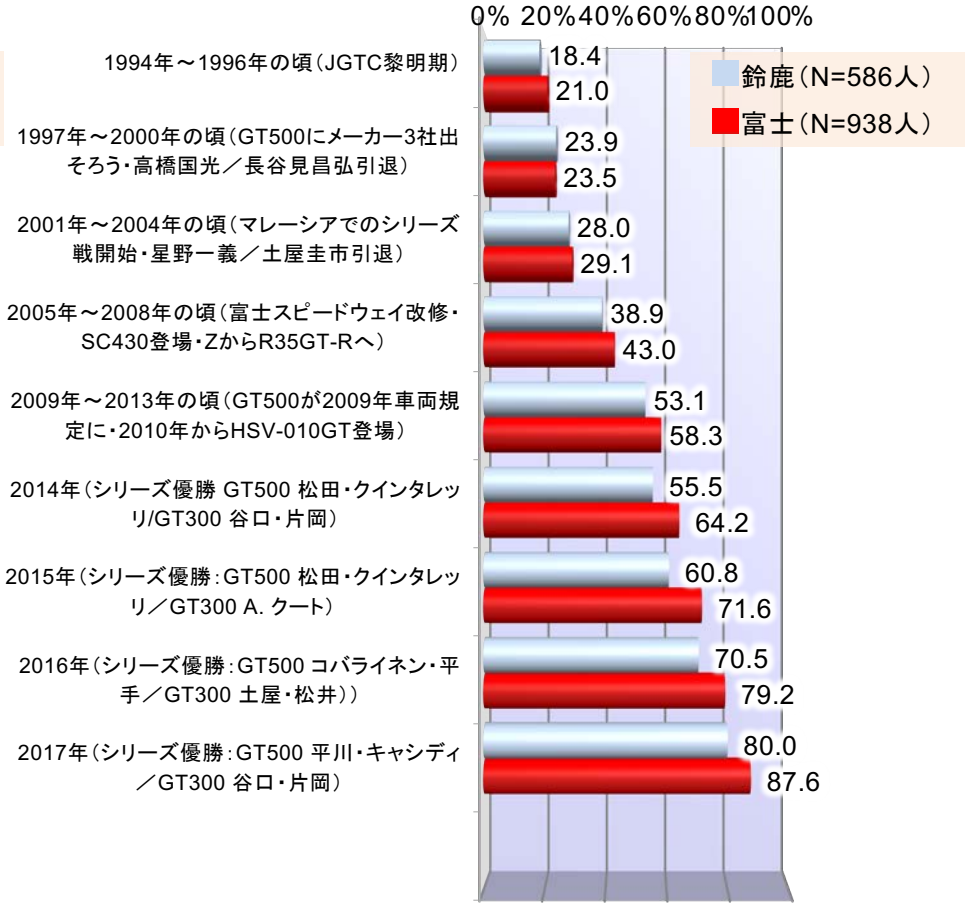
Q-13：年代別観戦歴詳細 ［MA］

2019年両サーキット来場者の観戦歴は「2009年～2013年の頃」で4割半程度に対し、「2014年～2016年の頃」の観戦者は6割近くまで増加していることがわかる。

2019年



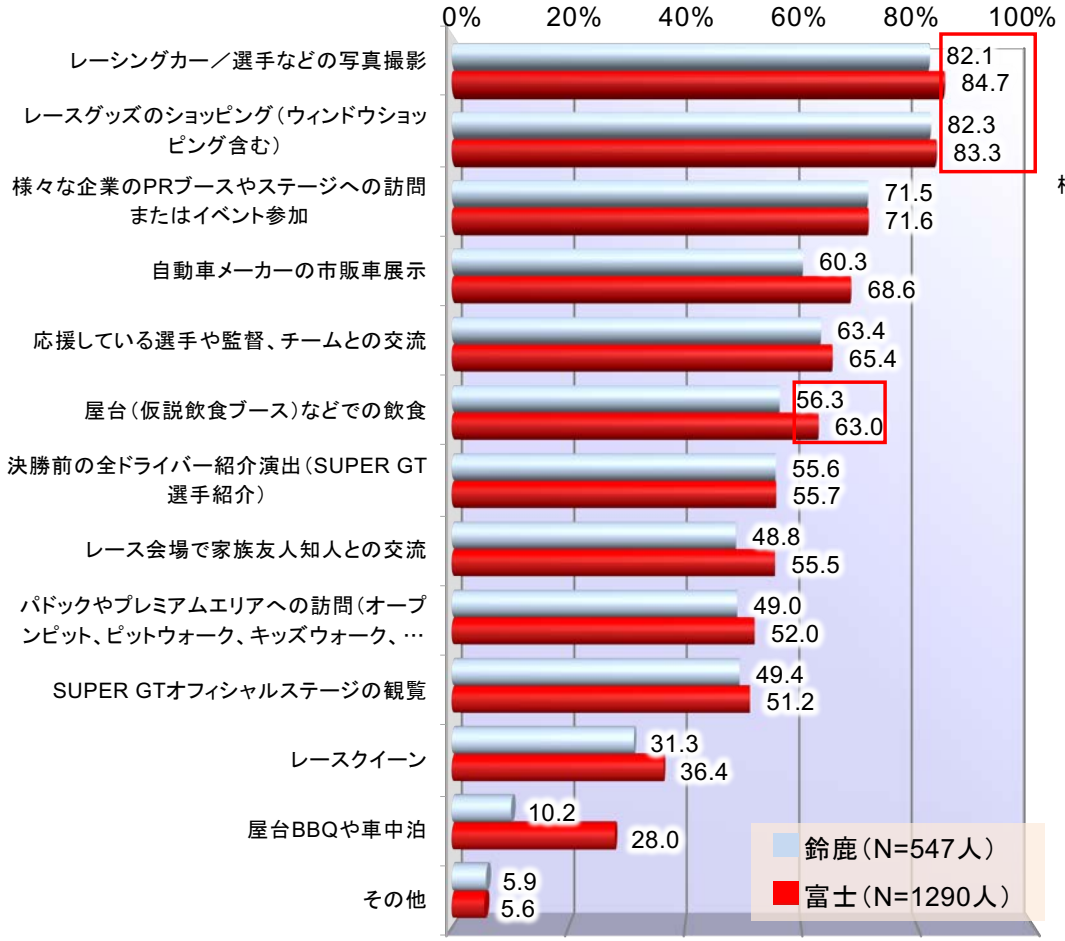
2018年



Q-14：①今回のSUPER GTに来場する前、何を楽しみにしていましたか？ [MA]

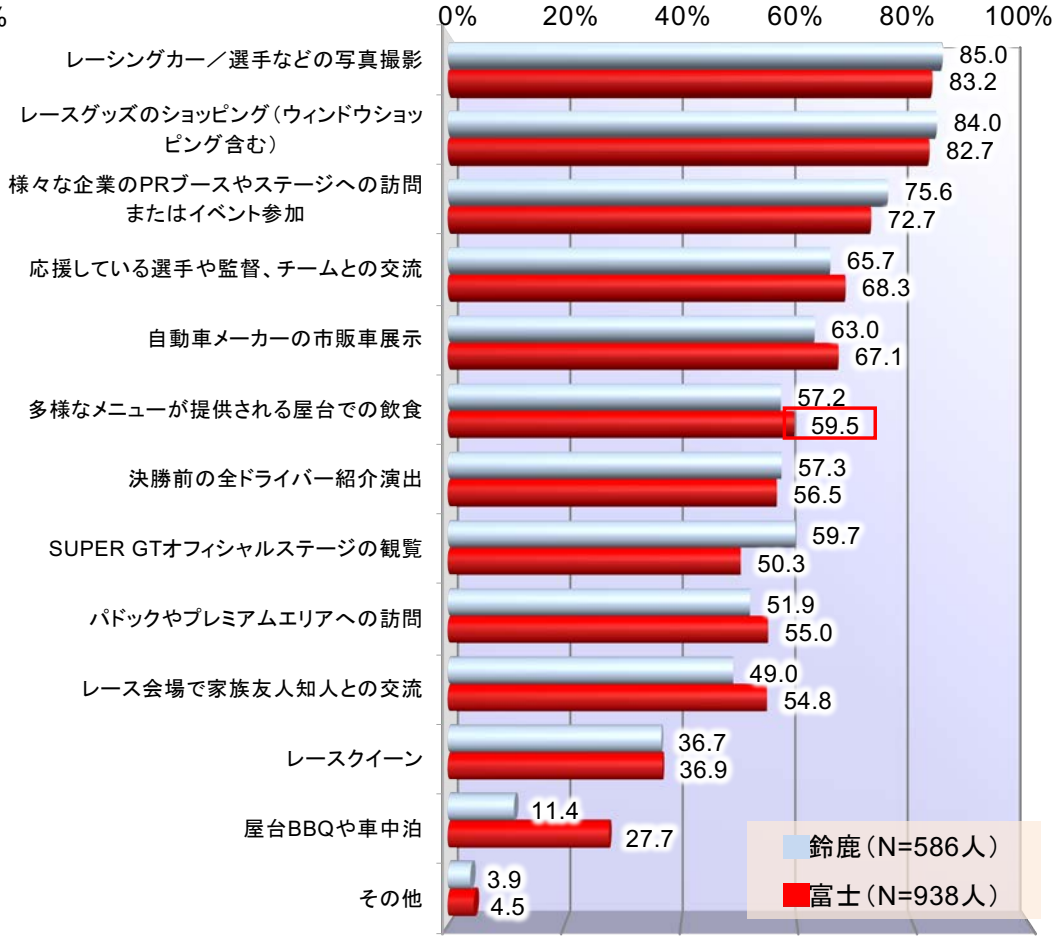
2019年の来場を決定付けた動機は両サーキットとも「レーシングカー／選手などの写真撮影」「レースグッズのショッピング（ウィンドウショッピング含む）」が8割半程度それぞれ特に高い。
両サーキットともに半数以上が「飲食」を楽しみにしているという結果が得られ、『富士』は2018年に比べて増加、6割を超えていた。

2019年



※ 鈴鹿・富士の比率合計の高い順

2018年

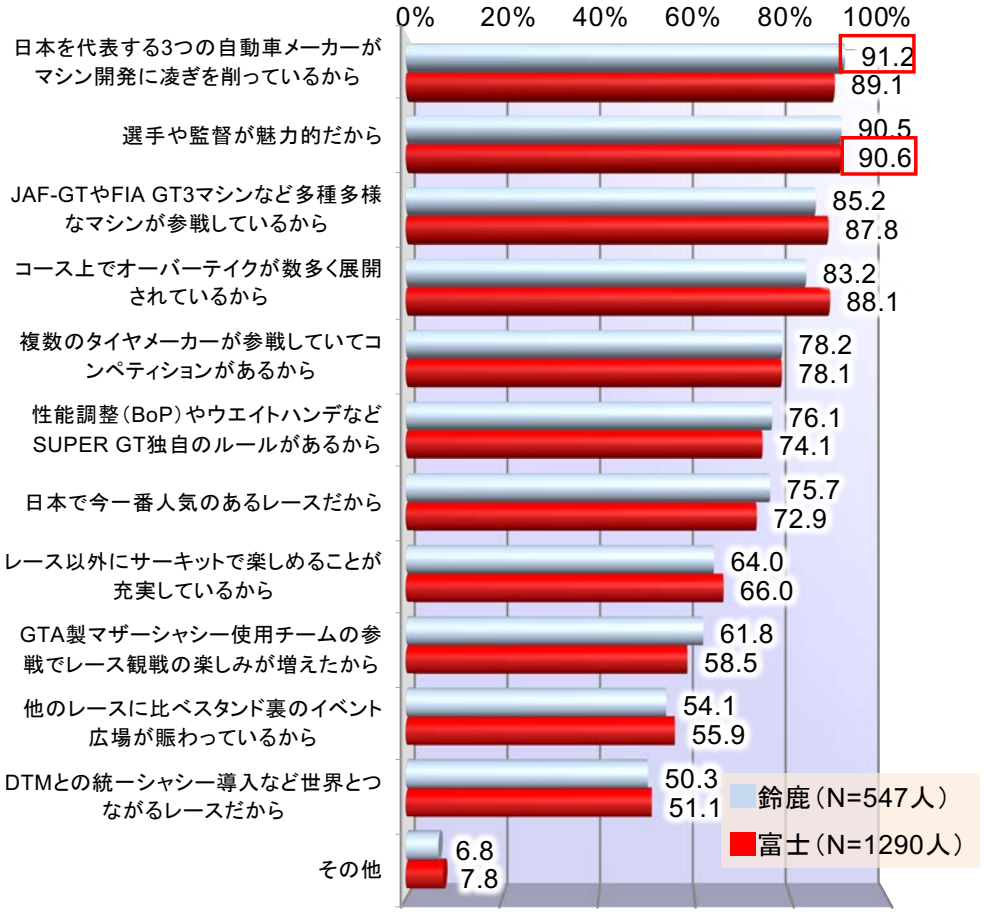


※ 鈴鹿・富士の比率合計の高い順

Q-14：②なぜ他のモータースポーツイベントではなく、SUPER GTの観戦を選んだのですか？ [MA]

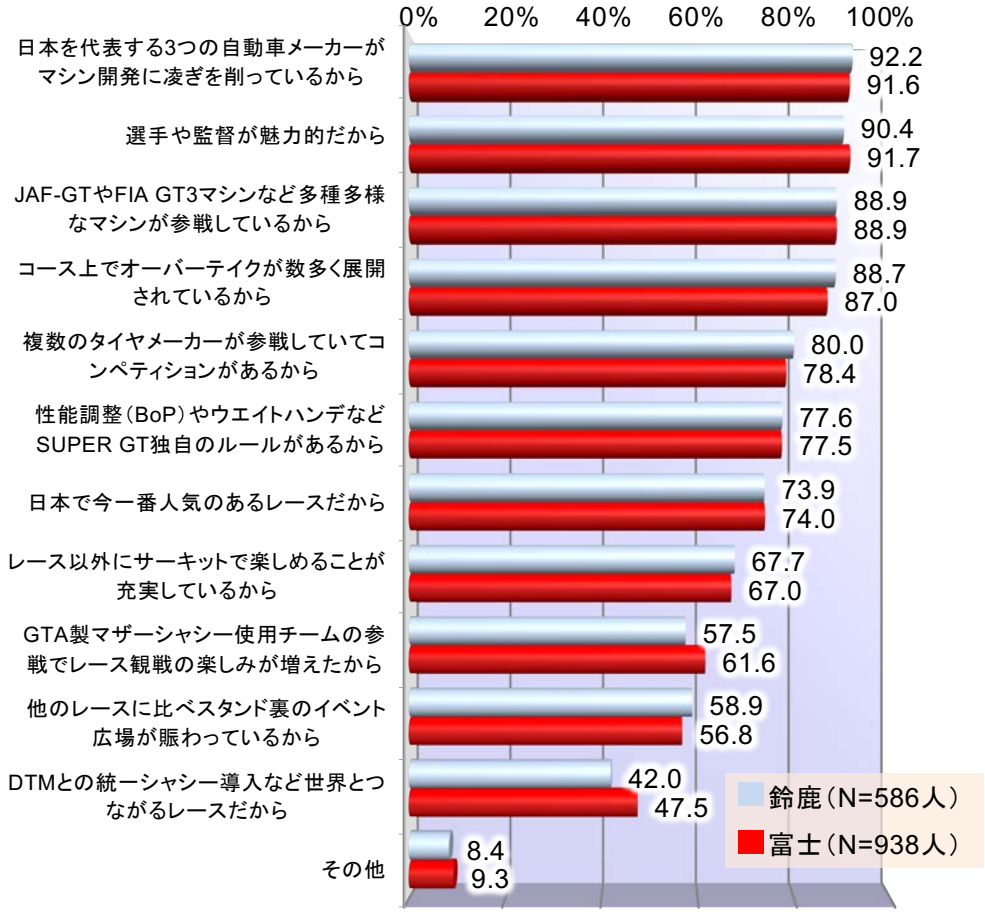
SUPER GTを選んだ理由で最も高いのは『鈴鹿』が「日本を代表する3つの自動車メーカーがマシン開発に凌ぎを削っているから」、『富士』が「選手や監督が魅力的だから」で9割程度となった。
応援しているメーカー、選手や監督が出場することや日本企業のマシン開発がSUPER GTの観戦を選んだ動機といえる。

2019年



※ 鈴鹿・富士の比率合計の高い順

2018年

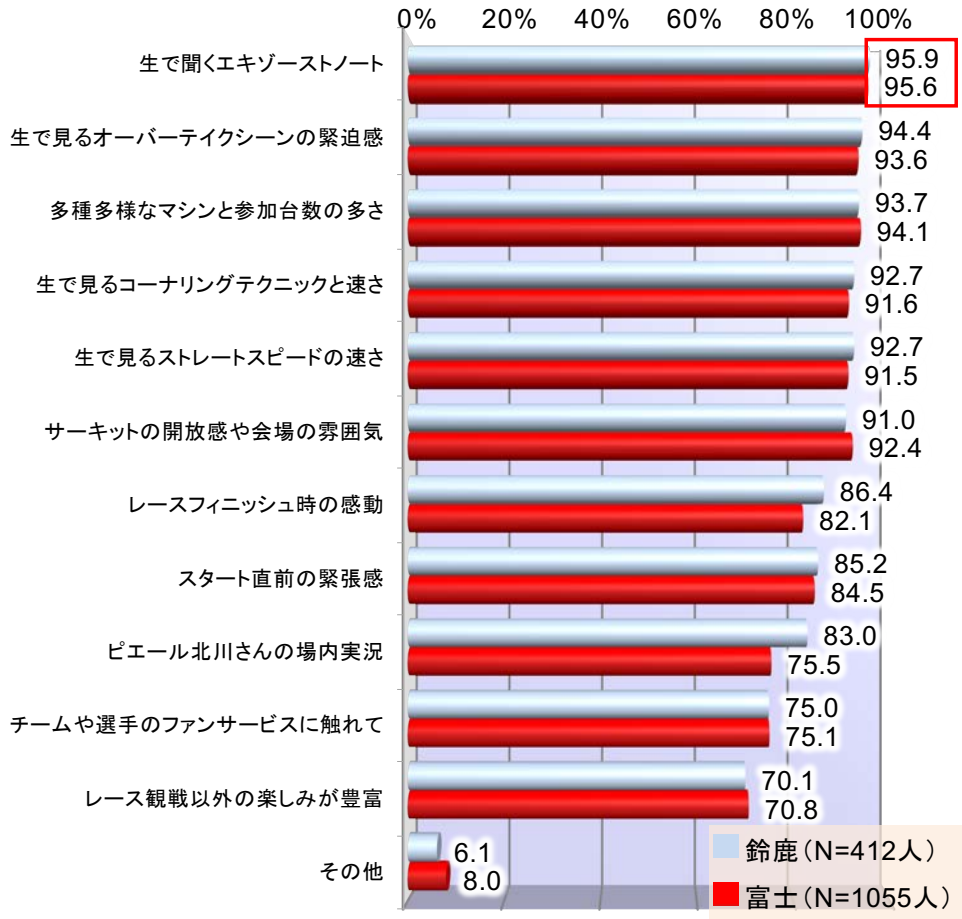


※ 2019年順

Q-14：③2年以上連続で観戦している方にお聞きします。SUPER GTのレースを、サーキットで継続的に観戦するようになった理由は何ですか？ [MA]

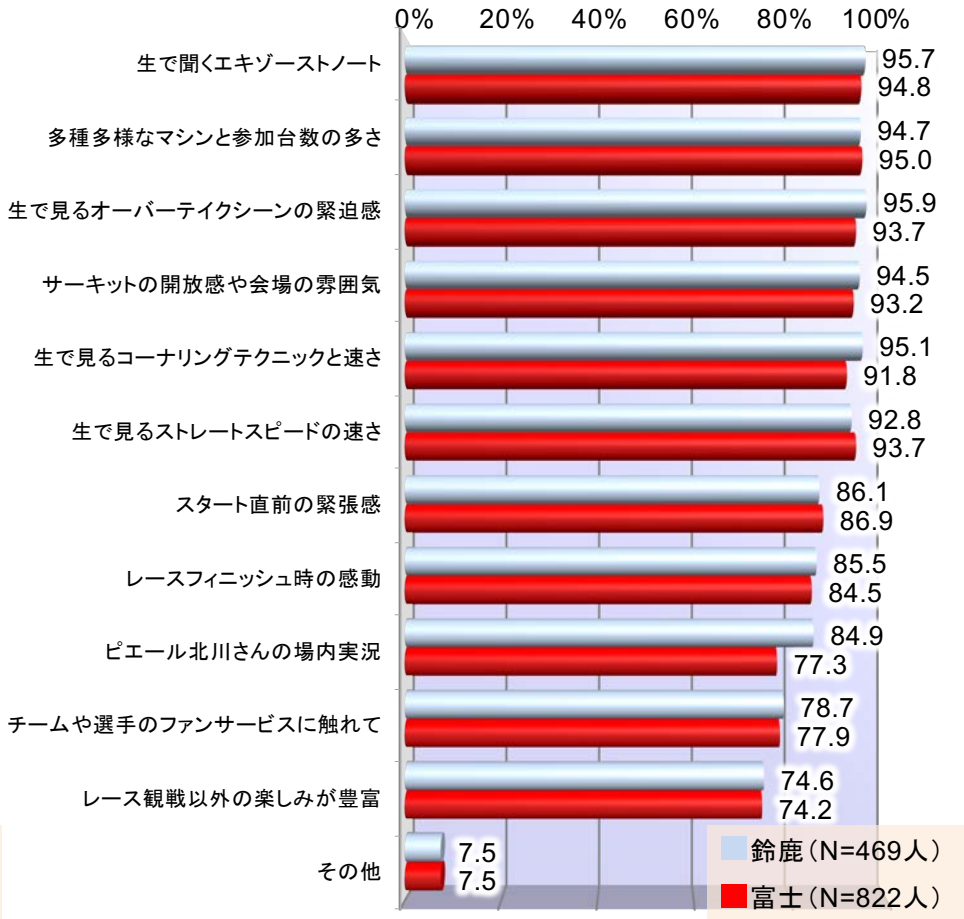
2年以上連続で観戦に来た理由で最も高いのは両サーキットとも「生で聞くエキゾーストノート」で9割半程度となった。
画面越しではわからない、自分の耳・肌で直接感じるエンジンの響きが深く印象に残ったのではと考えられる。

2019年



※ 鈴鹿・富士の比率合計の高い順

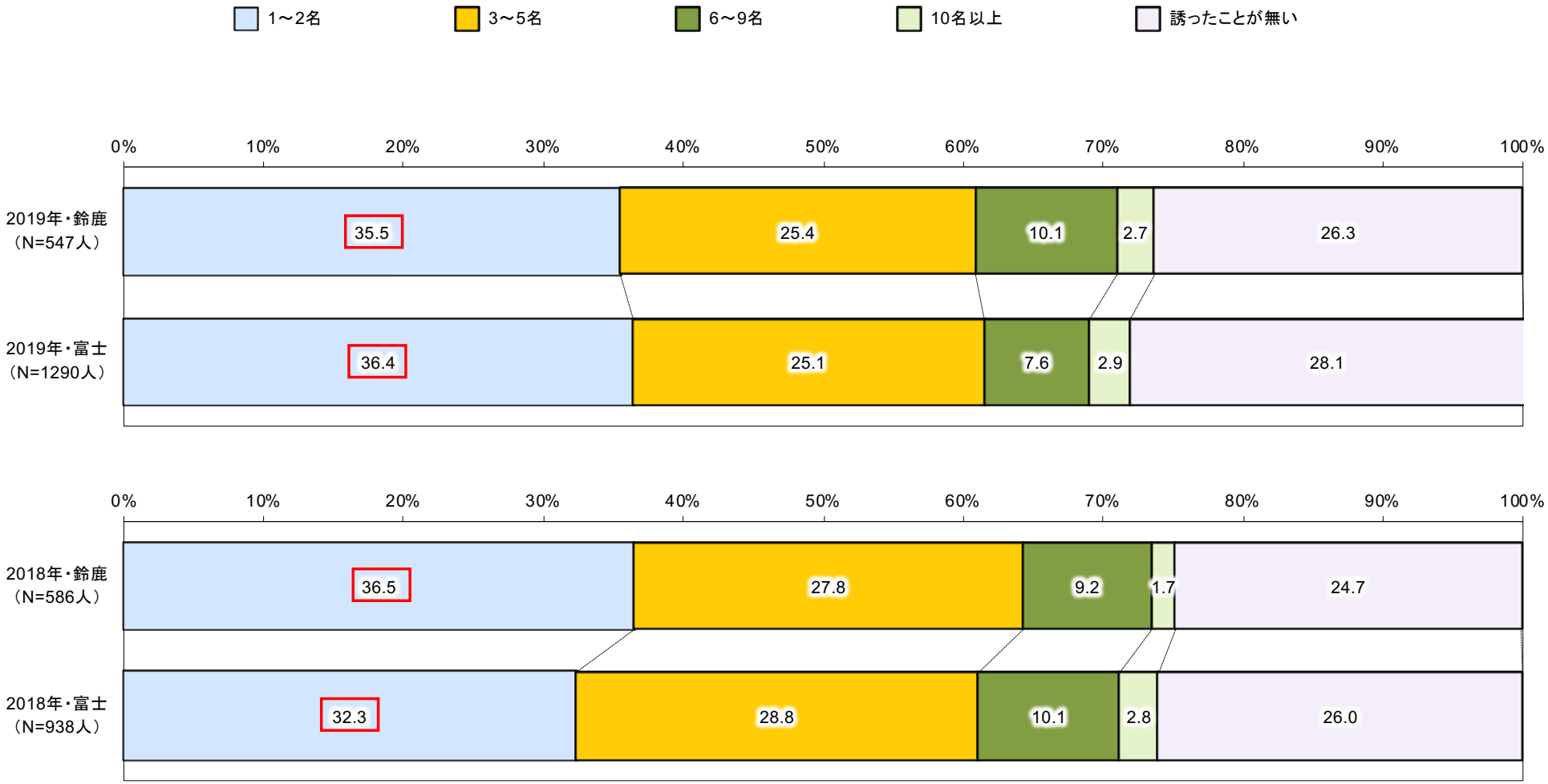
2018年



※ 2018年順

Q-15:①サーキット観戦に誘った人数 [SA]

2018年から引き続き、観戦に誘った人数は両サーキットともに「1～2名」が最も高い。 また「誘ったことが無い」は同行者人数で「同行者なし」の割合と酷似する。

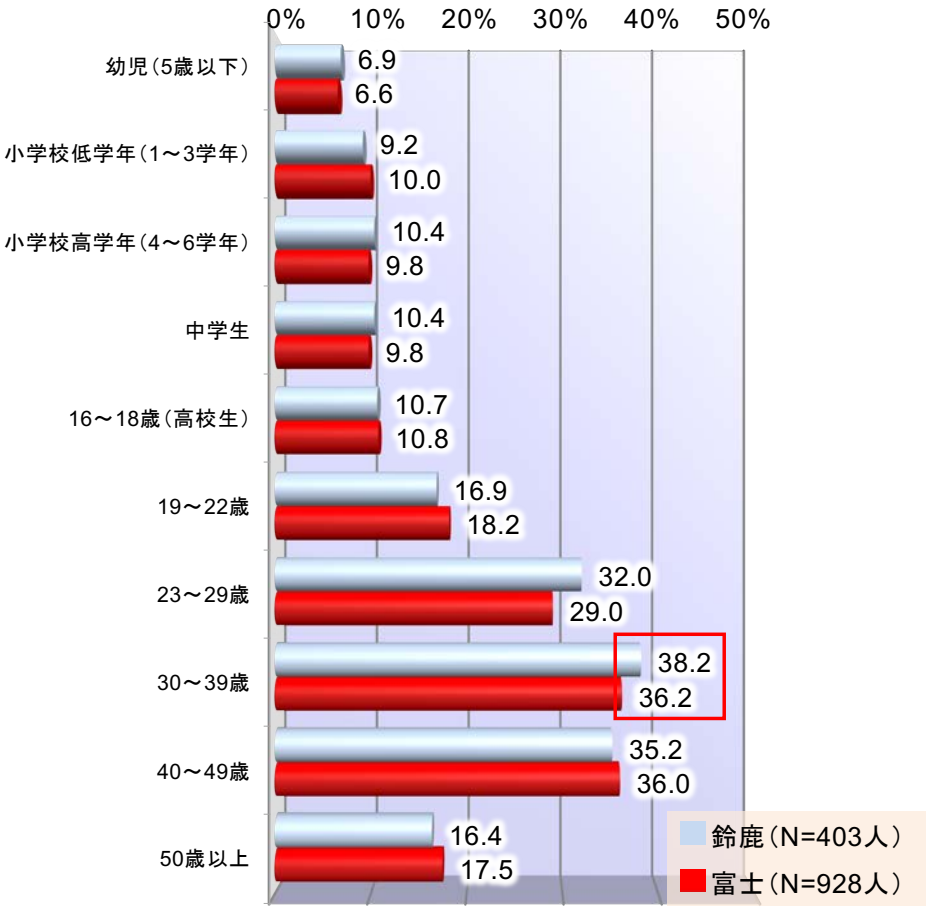


Q-15：②誘った方たちのおおよその年齢（年代） [MA]

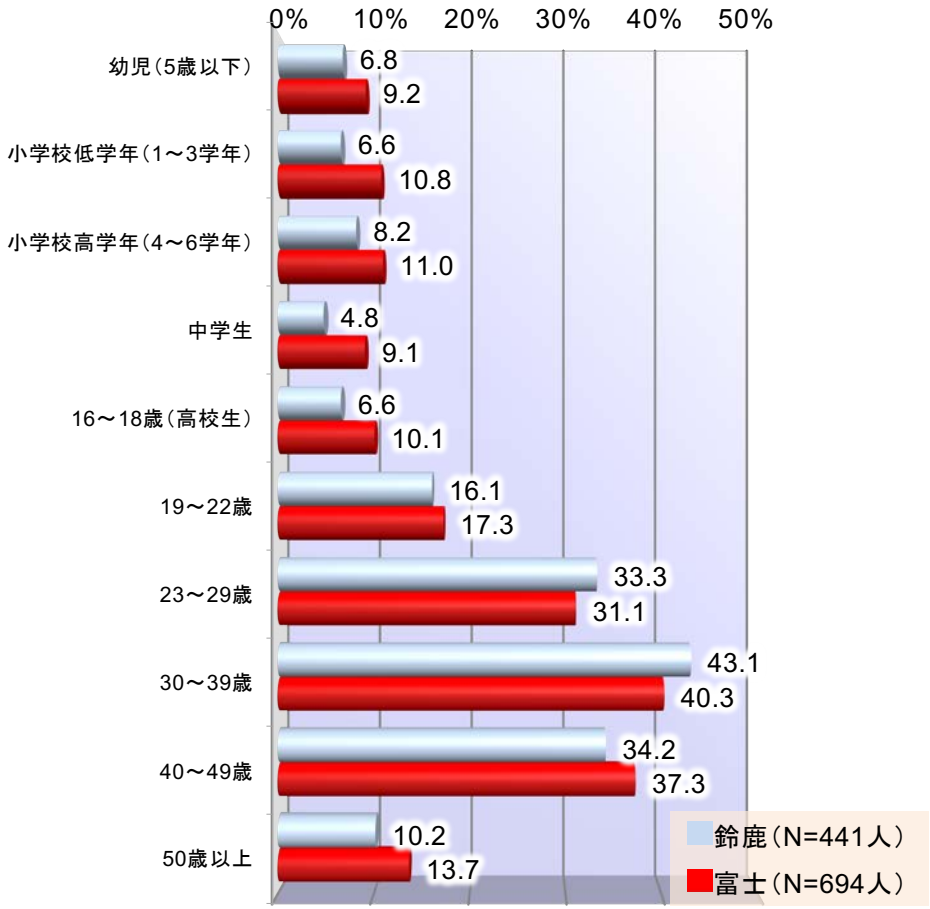
サーキットに観戦に誘った人数で「1名以上」を回答した方のみ

誘った年齢層は2018年から引き続き、両サーキットとも「30～39歳」が4割程度で最も高い。同行者の間柄で「知人・友人」が高く、同年代を誘っての来場と推測される。

2019年



2018年

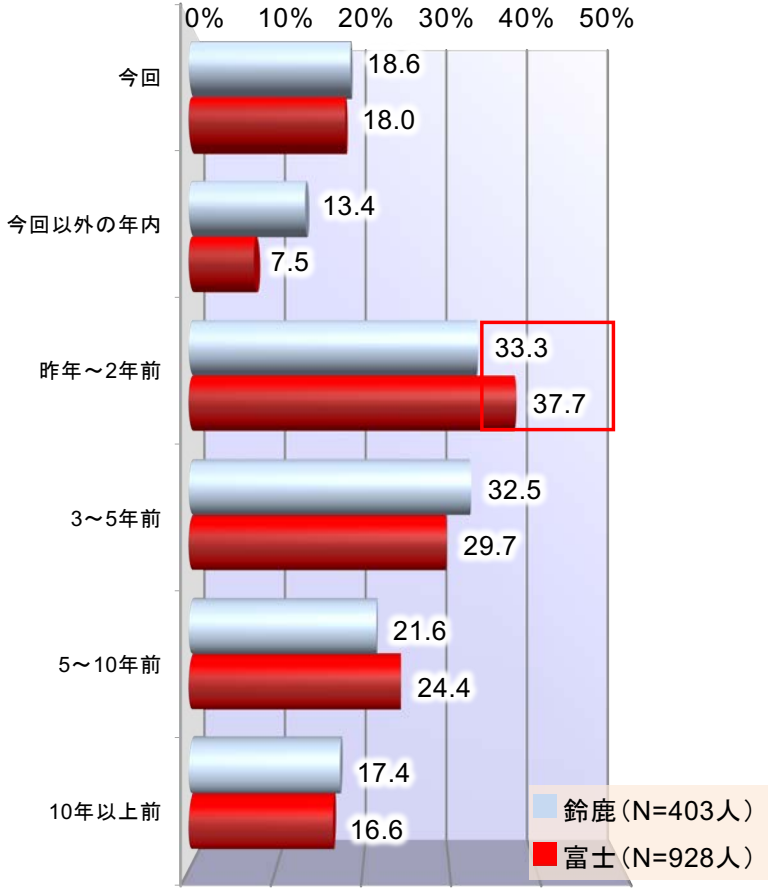


Q-15：③誘った方たちを「初回に誘った」おおよその時期 ［SA］

サーキットに観戦に誘った人数で「1名以上」を回答した方のみ

初めて誘った時期は両サーキットとも「昨年～2年前」が3割半程度で最も高い。次いで「3～5年前」が3割程度と続いている。

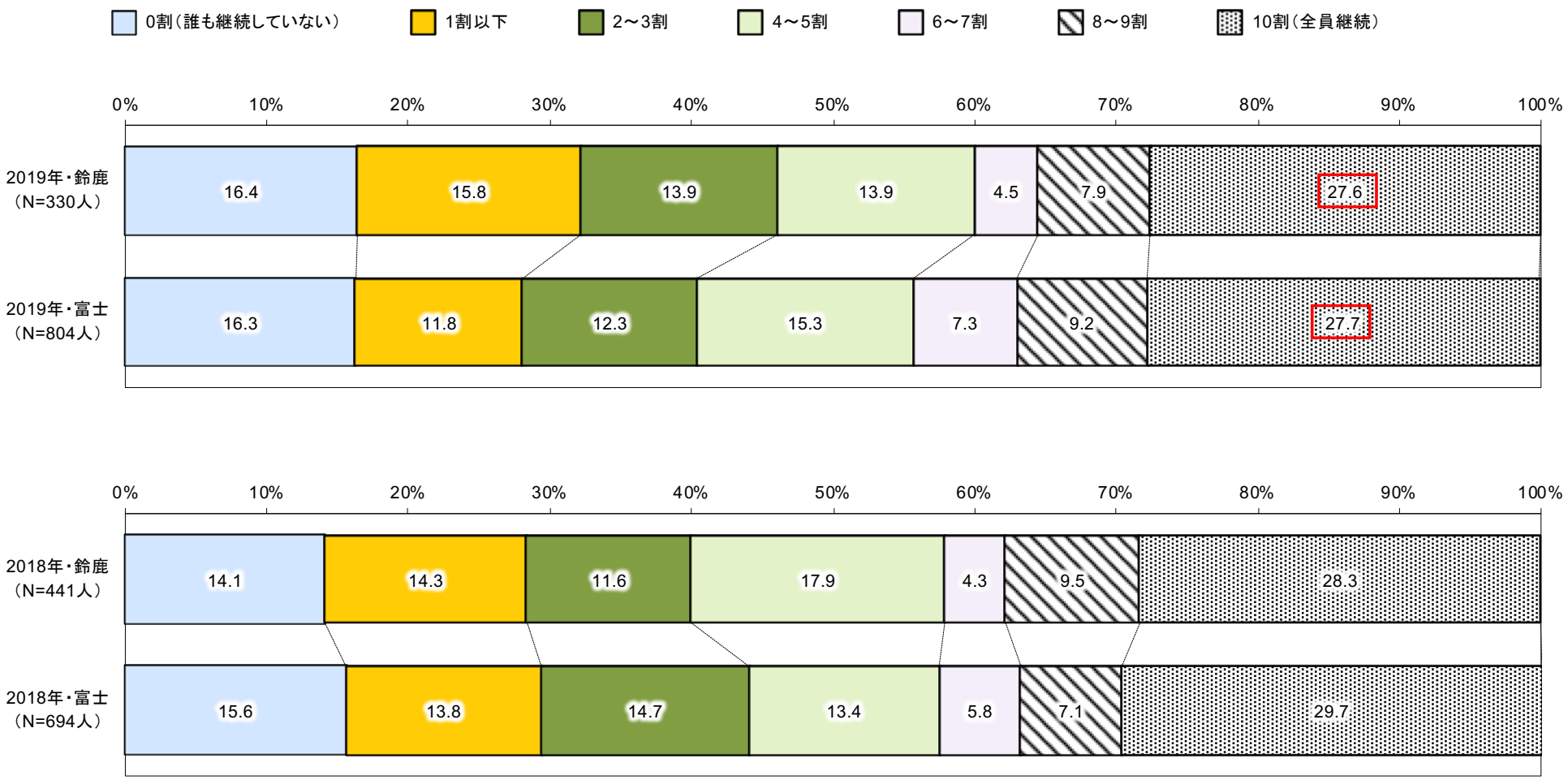
2019年



Q-15：④その中で何割くらいの方がサーキット観戦を継続していますか？ [SA]

サーキットへ「初回に誘った」おおよその時期で「今回」または「年内」を回答した方のみ

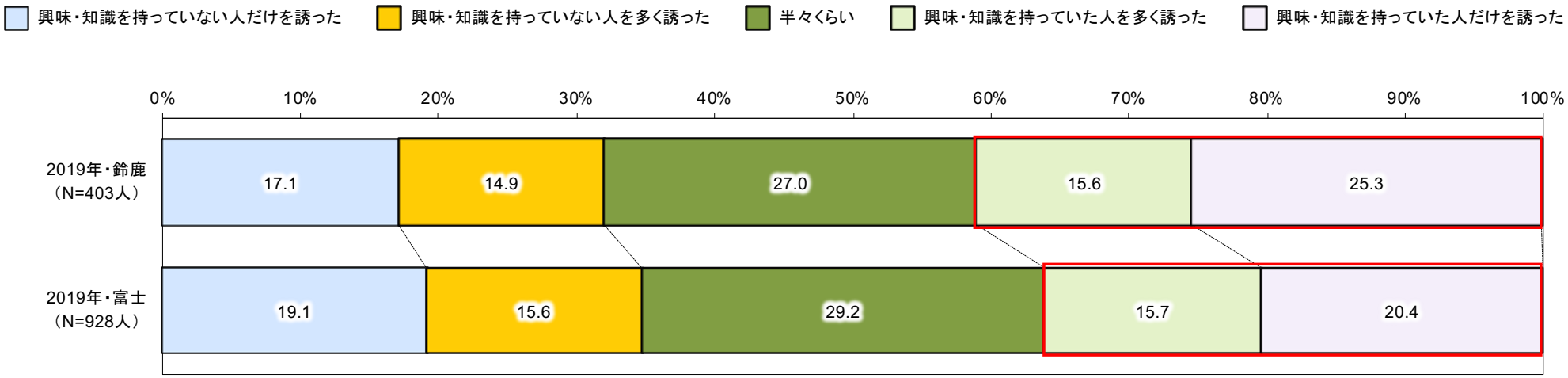
2018年から引き続き、2019年のサーキット観戦継続割合は両サーキットともに「10割」が3割近くを占めた。



Q-15：⑤初めて誘った方たちの中で、SUPER GTへの興味や知識を持っていた方の割合 [SA]

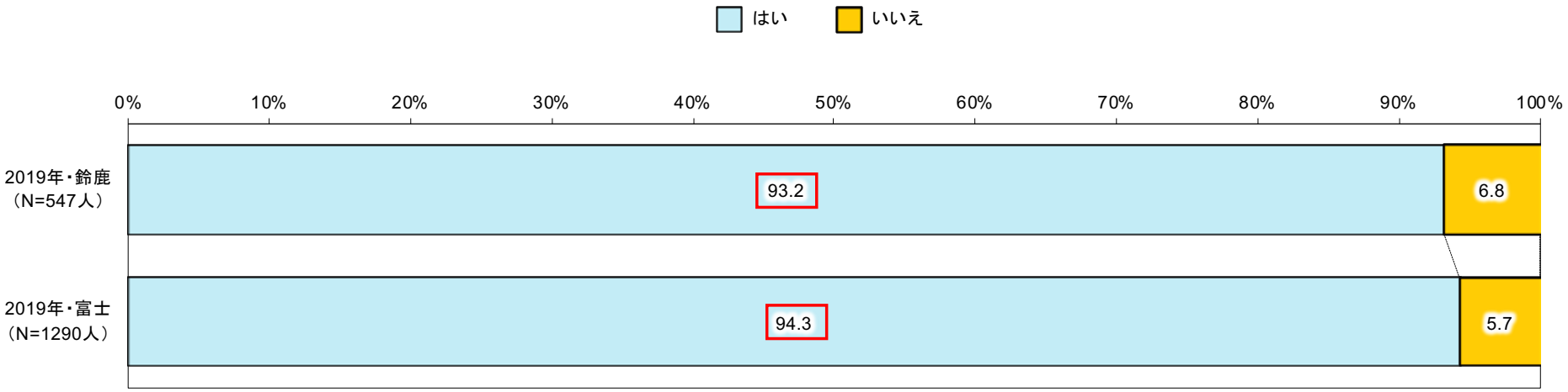
サーキットに観戦に誘った人数で「1名以上」を回答した方のみ

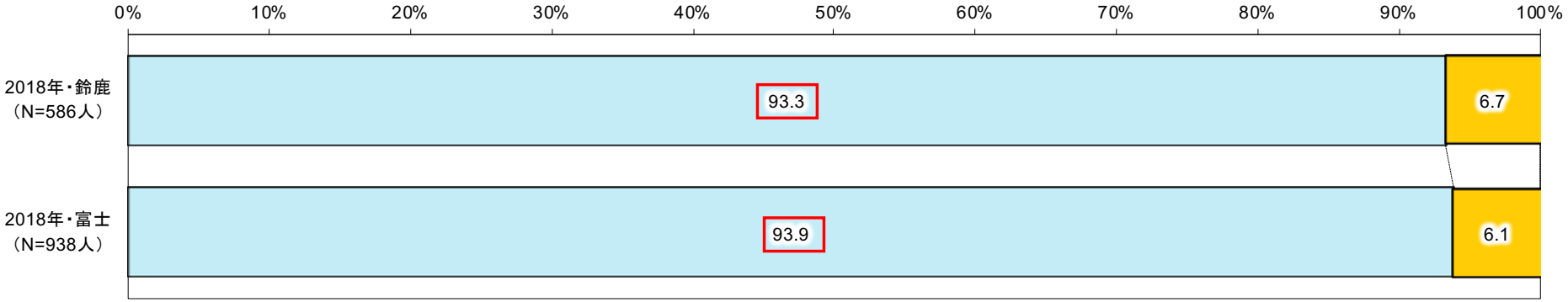
興味・知識がある人を誘う割合は『鈴鹿』で4割、『富士』で3割半程度となっている。



Q-16：①「グランツーリスモ(シリーズ)」を知っていますか？ [SA]

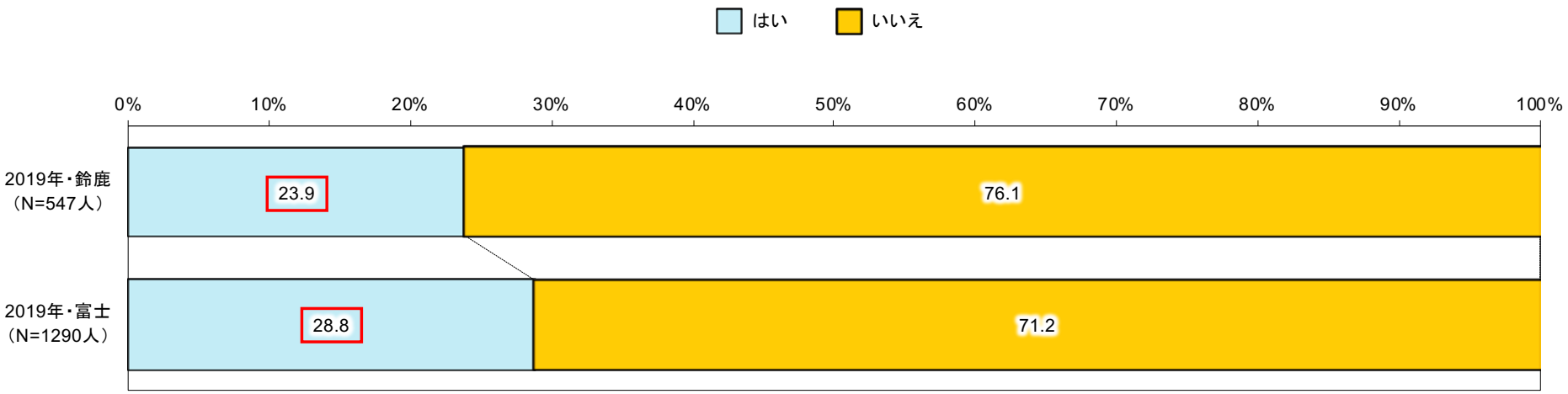
グランツーリスモシリーズの認知度は2019年で両サーキットともに9割以上を占め、2018年と同等の認知度となった。

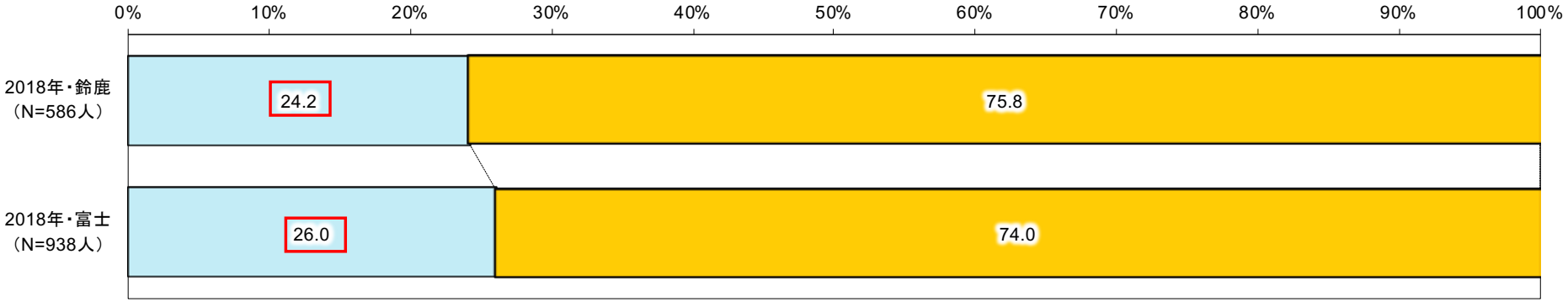




Q-16：②最新ソフト「グランツーリスモSPORT」を持っていますか？ [SA]

「グランツーリスモSPORT」の所持率は『鈴鹿』では2割半程度、『富士』では3割程度と、2018年と同等の所持率となった。

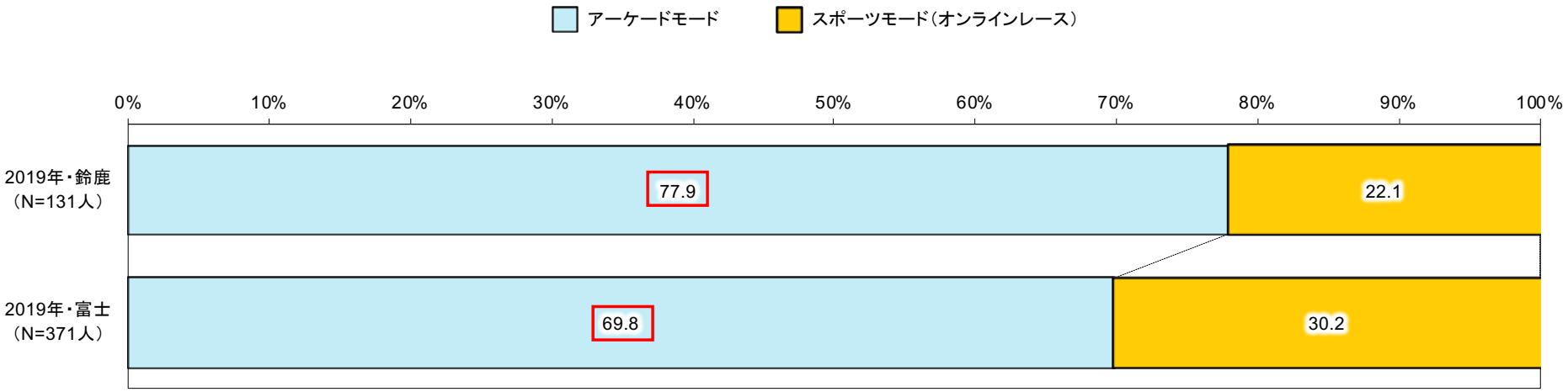


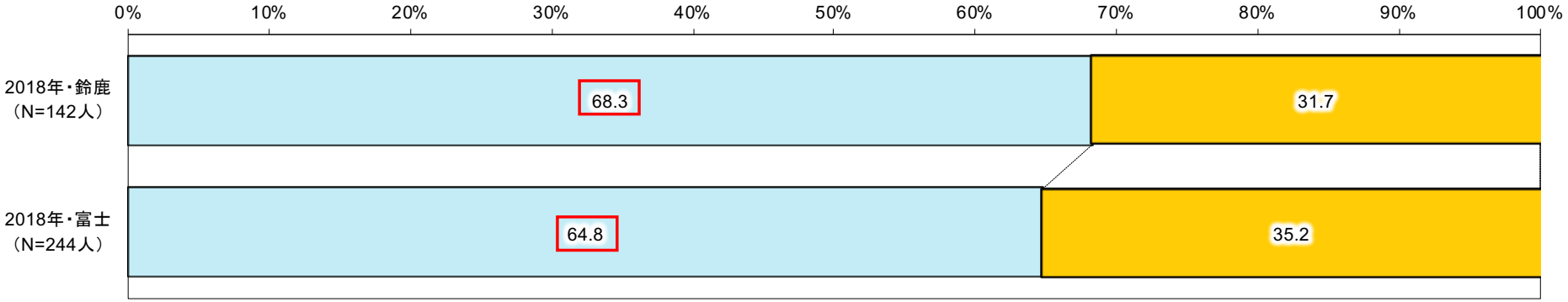


Q-15：③「グランツーリスモSPORT」で主にプレイしているモードはどちらですか？ [SA]

グランツーリスモSPORTを「はい（持っている）」と回答した方のみ

「グランツーリスモSPORT」のプレイしているモードは両サーキットともに「アーケードモード」が高く、プレイ率は2018年から増加している。

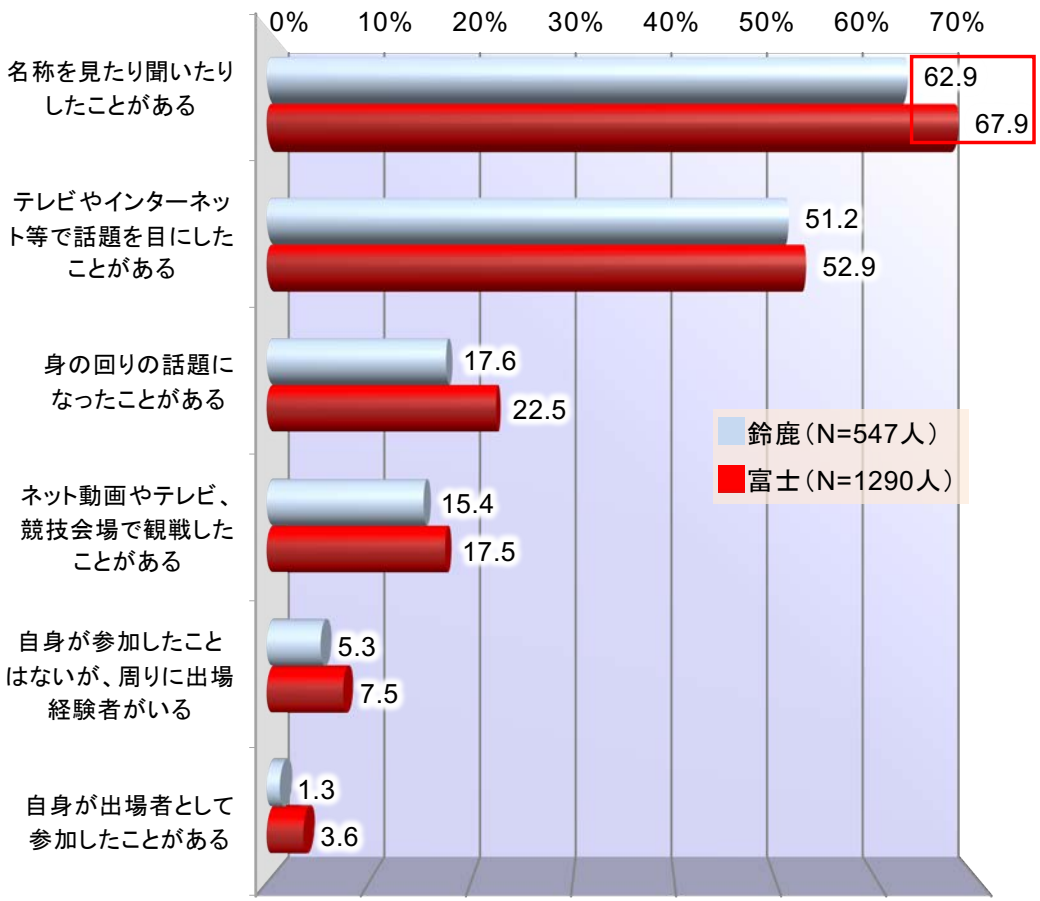
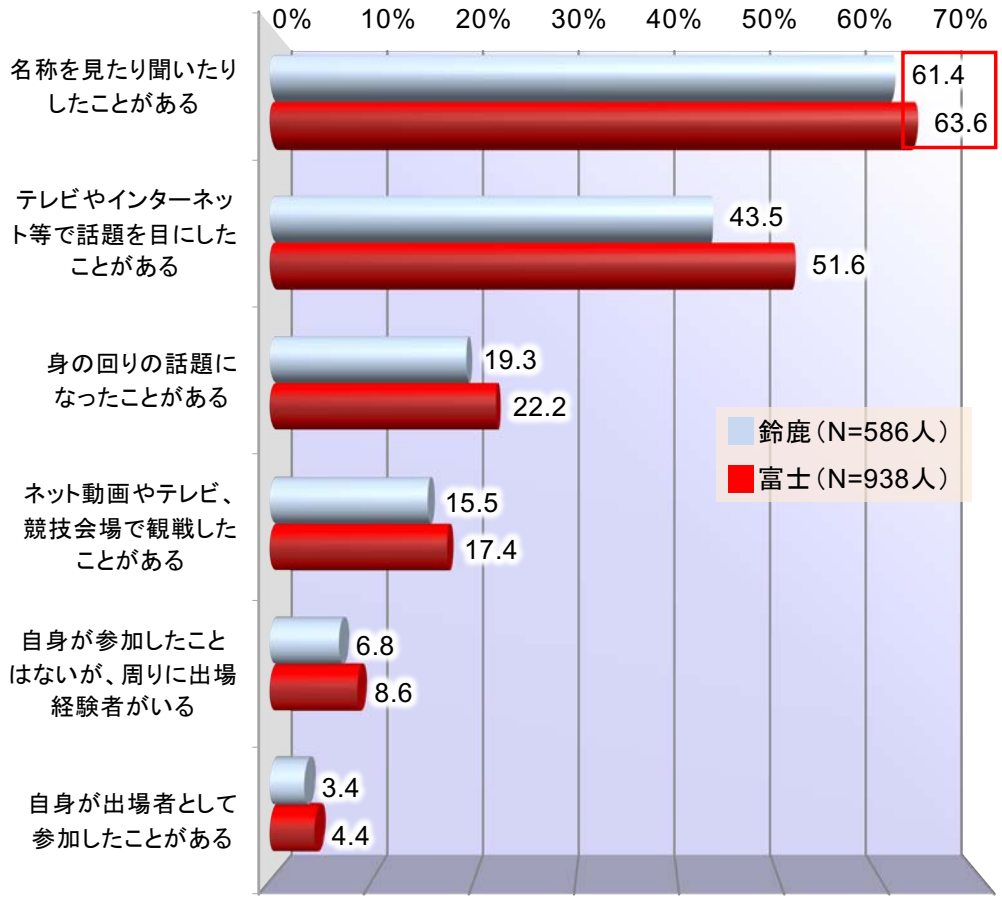




Q-15：④「グランツーリスモSPORT」のスポーツモードで行われているFIA公認の「FIAグランツーリスモチャンピオンシップ」について、以下の項目からご自身の経験をお答えください。 [MA]

グランツーリスモSPORTのFIAグランツーリスモチャンピオンシップの認知・経験は「名称を見たり聞いたりしたことがある」が両サーキットとも6割半程度で2018年から引き続き最も高い。

2019年



2018年